

(様式第 10)

筑大病医第 16-110 号
平成 28 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人筑波大学長 永田 恭介 (印)

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
氏 名	国立大学法人筑波大学長 永田 恭介

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

筑波大学附属病院

3 所在の場所

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1	電話(029)853-3900
---------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 リウマチ科 2 アレルギー科 3 腎臓内科 4 血液内科 5 感染症内科 6 内分泌・代謝・糖尿病内科 7 呼吸器内科 8 消化器内科 9 循環器内科 10 神経内科 11 腫瘍内科 12	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科 2心臓血管外科 3乳腺・内分泌外科 4消化器外科 5臓器移植外科 6形成外科 7小児外科 8頭頸部外科 9 10 11 12 13		
診療実績		

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科 2小児科 3整形外科 4脳神経外科 5皮膚科 6泌尿器科 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 15麻酔科 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名 1歯科口腔外科 2 3 4 5 6 7		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1病理診断科 2リハビリテーション科 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
41床	床	床	床	759床	800床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	588人	11.3人	599.3人	看護補助者	53人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	14人	0.2人	14.2人	理学療法士	34人	臨床検査技師	67人
薬剤師	53人	6人	59人	作業療法士	14人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	45人	2.4人	47.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	785人	25.8人	810.8人	臨床工学士	27人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	1人	その他の技術員	40人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	2人	事務職員	204人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	53人	その他の職員	21人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	42人	眼科専門医	10人
外科専門医	48人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	9人	放射線科専門医	21人
小児科専門医	28人	脳神経外科専門医	20人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	16人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	12人
産婦人科専門医	20人	救急科専門医	4人
		合 計	259人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (松村 明) 任命年月日 平成26年 4月 1日

組織リスクマネージャー歴5年 (平成16年4月1日～平成21年3月31日)
リスクマネジメント委員会委員歴7年 (平成19年4月1日～平成26年3月31日)
リスクマネジメント委員会委員長歴2年6ヶ月 (平成26年4月1日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	652.4人	8.5人	660.9人
1日当たり平均外来患者数	1635.7人	66.9人	1702.7人
1日当たり平均調剤数	1890.7剤		
必要医師数	173人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	24人		
必要(准)看護師数	413人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	766.15m ²	鉄筋コンクリート	病床数	38床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 684.49m ² [移動式の場合] 台数 0台		病床数	35床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 43.91m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	318.6m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 尿定性検査機、尿定量検査機			
細菌検査室	108.26 m ²	同上	(主な設備) 血液培養機、薬剤感受装置			
病理検査室	104.46 m ²	同上	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色機、自動封入機			
病理解剖室	54 m ²	同上	(主な設備) 解剖台			
研究室	801.76 m ²	同上	(主な設備) 机、椅子、書棚、PC			
講義室	2,4346 m ²	同上	室数	17室	収容定員	2,102人
図書室	2,7936 m ²	同上	室数	1室	蔵書数	91,728冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日	
紹介率	90.7%	逆紹介率	72.3%
算出根拠	A：紹介患者の数	18,929人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,566人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,857人	
	D：初診の患者の数	22,918人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

委員名簿の公表の有無	有・ 無
委員の選定理由の公表の有無	有・ 無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	56	ベーチェット病	81
2	筋萎縮性側索硬化症	26	57	特発性拡張型心筋症	62
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	12
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	3	60	再生不良性貧血	48
6	パーキンソン病	135	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	6
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	32
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	7
11	重症筋無力症	131	66	IgA腎症	14
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	23
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	97	68	黄色靱帯骨化症	6
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	19	69	後縦靱帯骨化症	45
15	封入体筋炎	7	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	95
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	12
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	50	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	17	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	21	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	32
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	57
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	11	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	81
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	17
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	20
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	15
34	神経線維腫症	16	89	リンパ脈管筋腫症	4
35	天疱瘡	40	90	網膜色素変性症	23
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	21
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	46	95	自己免疫性肝炎	3
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	81
42	結節性多発動脈炎	24	97	潰瘍性大腸炎	205
43	顕微鏡的多発血管炎	55	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	12	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	19	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	15	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	473	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	153	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	108	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	38	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	19	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	9	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1
113	筋ジストロフィー	0	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	1
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	1
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	1	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	3	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	3
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペロオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	6
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料	・退院支援加算(加算2)
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・特定集中治療室管理料4
・医師事務作業補助体制加算1	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・急性期看護補助体制加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護職員夜間配置加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・短期滞在手術等基本料1
・無菌治療室管理加算1	
・無菌治療室管理加算2	
・緩和ケア診療加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・精神科リエゾンチーム加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・患者サポート体制充実加算	
・感染防止対策加算1	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・総合評価加算	
・呼吸ケアチーム加算	

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・糖尿病合併症管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料1	・神経学的検査
・がん患者指導管理料2	・補聴器適合検査
・がん患者指導管理料3	・コンタクトレンズ検査料1
・外来緩和ケア管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・内服・点滴誘発試験
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・画像診断管理加算2
・糖尿病透析予防指導管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・院内トリアージ実施料	・冠動脈CT撮影加算
・外来放射線照射診療料	・心臓MRI撮影加算
・ニコチン依存症管理料	・乳房MRI撮影加算
・がん治療連携計画策定料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・外来化学療法加算1
・薬剤管理指導料	・無菌製剤処理料
・医療機器安全管理料1	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・医療機器安全管理料2	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・医療機器安全管理料(歯科)	・運動器リハビリテーション料(I)
・歯科治療総合医療管理料	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・がん患者リハビリテーション料
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・歯科口腔リハビリテーション料2
・検体検査管理加算IV	・精神科ショート・ケア「大規模なもの」
・遺伝カウンセリング加算	・精神科デイ・ケア「大規模なもの」
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・医療保護入院等診療料
・胎児心エコー法	・エタノールの局所注入(甲状腺)

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・補助人工心臓
・透析液水質確保加算2	・小児補助人工心臓
・CAD/CAM冠	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・歯科技工加算	・腹腔鏡下肝切除術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・生体部分肝移植術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体腎移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・生体腎移植術
・網膜再建術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援器を用いるもの)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・輸血管管理料1
・乳がんセンチネルリンパ節加算2	・輸血適正使用加算
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・経カテーテル大動脈弁置換術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・放射線治療専任加算
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・外来放射線治療加算
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・高エネルギー放射線治療
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・1回線量増加加算
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・強度変調放射線治療(IMRT)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週9回程度実施
剖 検 の 状 況	剖検症例数 48例 / 剖検率 13.5%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
				補	
				委	
				補	
別紙のとおり				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計225件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究費補助 別紙

番号	研究課題名	研究者代表者氏	所属診療グループ名	金額(円)	補助元又は委託先
1	好中球細胞外トラップに焦点をあてた新視点からの心筋梗塞に伴う炎症の制御	田尻 和子	循環器(内)診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
2	心筋梗塞後炎症の制御機構の解明	木村 泰三	循環器(内)診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
3	心房細動の発症におけるNampt役割の解明	許 東洙	循環器(内)診療グループ	2,730,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
4	心房細動および致死性不整脈に対する革新的な腎交感神経アブレーション治療法の確立	町野 毅	循環器(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
5	J波症候群における次世代シーケンサーを用いた包括的遺伝子解析	黒木 健志	循環器(内)診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
6	持続性心房細動における心房内異常電位の成因と機序の解明	村越 伸行	循環器(内)診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
7	マイクロRNAの発現変動を切り口とした肺動脈性肺高血圧症の理解と新治療法の探索	酒井 俊	循環器(内)診療グループ	3,380,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
8	3次元スペクトルトラッキング法による右室機能評価法の開発	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
9	難治性薬剤抵抗性高血圧に対する革新的な腎動脈交感神経アブレーション法の開発	佐藤 明	循環器(内)診療グループ	910,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
10	心筋自己抗原に対するトレランスの破綻がもたらす心筋炎の慢性化機構の解明	田尻 和子	循環器(内)診療グループ	2,000,000	委 武田科学振興財団 医学系研究奨励
11	心房細動の発症におけるNampt役割の解明	許 東洙	循環器(内)診療グループ	14,300,000	委 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)
12	紫外線加工によるMK-7フリー納豆風味食品の開発とワーファリン内服患者への適用	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	910,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
13	「冷え性」とは?～微小血管造影による血管反応の検討～	佐藤 藤夫	循環器(外)診療グループ	780,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
14	放射光微小血管造影を用いた糖尿病心臓における微小冠動脈血流の解析	坂本 裕昭	循環器(外)診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
15	肺高血圧症における放射光微小血管撮影法を用いた微小血管血流変化と血管内皮細胞障害	徳永 千穂	循環器(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
16	MDM4を標的とした新規癌治療の開発研究	山本 祥之	消化器(内)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
17	肝細胞癌に対する腫瘍融解ワクシニアウイルスJX-594と一過性免疫抑制の併用効果	長谷川 直之	消化器(内)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
18	p53変異型癌細胞におけるp73活性化を応用した新規癌治療の基礎研究	兵頭一之介	消化器(内)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
19	腫瘍融解ワクシニアウイルスの肝癌幹細胞に対する殺細胞効果の評価	安部井 誠人	消化器(内)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
20	遺伝子レスキューマウス解析による肥満肝発癌を制御する組織・細胞Nrf2の役割解明	石毛 和紀	消化器(内)診療グループ	3,510,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
21	肝細胞癌に対する腫瘍融解ワクシニアウイルスJX-594と一過性免疫抑制の併用効果	長谷川 直之	消化器(内)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
22	経口血小板増多剤による肝硬変に対する新規肝再生、線維化改善及び発癌予防法の確立	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	3,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

23	ヒト胎盤羊膜由来間葉系幹細胞のバイオバンクの創設	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	2,000,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
24	術前血小板数が膵癌患者の予後に与える影響	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	1,560,000	補 文部科学省補助金
25	iCAF:iPS由来の癌線維芽細胞による膵癌幹細胞、間質幹細胞の糖鎖標的探索	小田 竜也	消化器(外)診療グループ	5,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
26	膵がん間質消滅治療:自殺遺伝子を導入した間葉系幹細胞によるがん間質の入れ換え	小田 竜也	消化器(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
27	癌細胞とクッパー細胞の相互作用に着目した血行性肝転移メカニズムの解明	近藤 匡	消化器(外)診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
28	ナノバイオ装置を用いた新規免疫抑制薬感受性試験の開発	福永 潔	消化器(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
29	大腸癌におけるCD44variant9発現の意義と新規診断法の開発	榎本 剛史	消化器(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
30	S1P, アデノシン, トロンボポエチンを用いたNASHの線維化抑制治療の開発	久倉 勝治	消化器(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
31	血清エクソソームの機能性RNA発現解析による非B非C肝癌の新規診断法の開発	高野 恵輔	消化器(外)診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
32	可変3D画像・タッチレスインタフェースを用いた鏡視下手術ナビゲーションの開発	明石 義正	消化器(外)診療グループ	500,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
33	ローズマリーの有効成分に着目した新しい非アルコール性肝炎、肝癌治療法の開発	小川 光一	消化器(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
34	Patient dependent力覚体感型手術エミュレータ開発	大城 幸雄	消化器(外)診療グループ	900,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
35	肝類洞内皮細胞を標的としたsiRNAを用いた新規肝疾患治療薬の開発	田村 孝史	消化器(外)診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
36	CTとMRIを融合させる多元型変形可能な膵臓手術シミュレーションソフトの開発研究	大城 幸雄	消化器(外)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究 (研究領域提案型)
37	ゲノム情報に基づく難治性気道疾患のエンドタイプの解明に向けた基盤研究	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	9,360,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
38	自動車排ガスの炎症応答に関連するバイオマーカーの研究動向調査	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	810,000	委 財団法人 日本自動車研究所 受託研究
39	前向きコホートによる喘息とCOPD発症に対する危険因子の包括的解析	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
40	慢性炎症性呼吸器疾患におけるヘルパーT細胞と炎症性マクロファージのクロストーク	森島 祐子	呼吸器(内)診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
41	難治性喘息の病態解明: IL-17Fの意義	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
42	気道リモデリング形成に伴うSiglecを介した好酸球炎症制御経路障害の解明	際本 拓未	呼吸器(内)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
43	肺エアリーク定量モニタリングの臨床応用と気嚢に対する新しい治療ストラテジーの構築	酒井 光昭	呼吸器(外)診療グループ	5,070,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
44	細胞接着分子CADM1を分子標的とする小細胞肺癌の治療法の開発	菊池 慎二	呼吸器(外)診療グループ	4,160,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
45	慢性腎臓病進行例(CKD G3b~G5)の予後向上のための予後、合併症、治療に関するコホート研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	24,000,000	委 日本医療研究開発機構研究費

46	腎臓発生研究成果を臨床医療に応用するための基盤研究-腎疾患モデルと臓器再生モデル	白井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
47	肥満細胞の機能制御による血管炎治療法の探索	永井 恵	腎泌尿器(内)診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
48	慢性腎臓病進行抑制のための医薬連携システムの確立と検証	斎藤 知栄	腎泌尿器(内)診療グループ	390,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
49	転写因子異常による巣状糸球体硬化症発症機序の解明	森戸 直記	腎泌尿器(内)診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
50	慢性腎臓病(CKD)進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	44,768,000	委 日本医療研究開発機構 (腎疾患実用化研究事業)
51	多系統動物モデルを用いた尿路上皮癌の発癌進展における腫瘍微小環境の解明	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ	3,600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
52	尿路上皮癌における新規癌関連遺伝子の同定	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
53	精巣腫瘍の組織分化におけるエピジェネティクス制御の解明	河合 弘二	腎泌尿器(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
54	BCG細胞膜成分を用いた、全身投与可能な新規癌治療剤の開発	宮崎 淳	腎泌尿器(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
55	腎細胞癌の発生と肉腫様変化におけるRAC2-VAV1シグナルの役割	小島 崇宏	腎泌尿器(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
56	造精機能障害とエピジェネティクス異常の解明	市岡 大士	腎泌尿器(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
57	マウス排尿行動解析システムを用いた低活動膀胱の診断・治療薬の開発	高岡 栄一郎	腎泌尿器(外)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
58	Elovl6による脂肪酸の質的変容が起こす多臓器代謝病態と脳行動異常のメカニズム	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	16,510,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(A)
59	横紋筋融解症発症モデルマウスにおけるオートファジー異常の分子メカニズム	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
60	脂肪酸の鎖長を基軸とした疾患の制御機構と医療展開に向けた基盤構築	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	3,632,900	委 日本医療研究開発機構 AMED-CREST
61	生活習慣病におけるmicroRNAのバイオマーカーとしての意義に関する研究	鈴木 浩明	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
62	血中脂肪酸濃度を利用した新しい2型糖尿病診療の試行とその有効性の検証	矢藤 繁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
63	エネルギー代謝制御を担う核内情報処理機構の解明と生活習慣病治療への応用	矢作 直也	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	6,760,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
64	肝臓内グリコーゲンセンサーの分子同定	矢作 直也	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
65	新規エネルギー代謝センサー分子によって制御される脂質代謝経路の解明と医療応用	関谷 元博	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	4,030,000	委 日本医療研究開発機構 AMED-PRIME
66	生活習慣病予防における脂肪酸組成制御の有用性の解明と健康科学への応用	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	6,760,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
67	骨格筋におけるコレステロール不足がなぜ横紋筋融解症と突然死を引き起こしたのか?	中川 嘉	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
68	絶食時栄養制御因子CREBHが腸肝循環を介し肥満形成を抑制するメカニズム	中川 嘉	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	6,370,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

69	ヒト初代培養乳癌幹細胞における浸潤・転移能獲得の分子機構解明	坂東 裕子	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	1,040,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
70	癌免疫逃避機構の制御による新規分子標的治療の開発のための研究	井口 研子	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	1,560,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
71	自己免疫疾患に関する調査研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	22,724,000	補	厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等克服研究)
72	自己免疫疾患のイノベーション研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	30,400,000	委	厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患実用化研究)
73	関節炎における炎症性サイトカインと自己免疫応答相互の制御	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,690,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
74	間質性肺炎発症におけるヒトCD161陽性 γ δ 陽性T細胞の関与	後藤 大輔	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,430,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
75	IgG4関連疾患におけるCCL18-CCR8と疾患特異的治療標的分子の探索	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,690,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
76	自己免疫性関節炎における病原性T細胞の分化制御機構の解析	近藤 裕也	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
77	シェーグレン症候群における抗原特異的治療法の新規構築	浅島 弘充	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
78	関節リウマチにおける抗原特異的治療法の構築	廣田 智哉	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
79	エイジングに伴うエピゲノム変化に注目した造血幹細胞の前がん化機構	千葉 滋	血液診療グループ	5,590,000	補	科学研究費補助金 新学術領域研究 (研究領域提案型)
80	骨髄赤芽球造血ニッチの解明	千葉 滋	血液診療グループ	2,210,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
81	エピゲノム異常を発端とする濾胞性ヘルパーT細胞の腫瘍化機序の解明	坂田 麻実子	血液診療グループ	1,040,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
82	造血不全におけるNestin陽性造血支持細胞の機能解析	小原 直	血液診療グループ	1,560,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
83	新たな巨核球分化経路の探索と、造血幹細胞移植マウスモデルにおける応用	栗田 尚樹	血液診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
84	難治性白血病の病態解明(Notchシグナルによる白血病抑制機構の破綻)	加藤 貴康	血液診療グループ	2,340,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
85	Tet2機能低下によるエピゲノム制御異常を介したリンパ腫発症メカニズムの解明	武藤 秀治	血液診療グループ	1,170,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
86	同種骨髄移植後の新規免疫モニタリングシステムと免疫寛容メカニズムの解明	錦井 秀和	血液診療グループ	1,690,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
87	成人慢性好中球減少症の診療ガイドライン作成に向けた予後追跡調査	千葉 滋	血液診療グループ	9,139,000	委	日本医療研究開発機構 (難治性疾患実用化研究)
88	RHOA変異陰性タイプ末梢性T細胞リンパ腫の特異的ゲノム診断技術の開発	坂田 麻実子	血液診療グループ	1,154,000	委	独) 科学技術振興機構A-Step
89	末梢性T細胞リンパ腫における特異的RHOA遺伝子変異を利用した診断および標的治療の開発	千葉 滋	血液診療グループ	500,000	補	特別一産学連携推進 プロジェクト 共同研究プロジェクト
90	TET2変異を有する前がん細胞によるリンパ腫の支持環境形成メカニズム	坂田 麻実子	血液診療グループ	3,000,000	補	公益財団法人 細胞科学研究財団
91	疾患特異的遺伝子変異陰性群のゲノム解析によるT細胞リンパ腫の病態解明	坂田 麻実子	血液診療グループ	3,000,000	補	公益財団法人 内藤記念科学振興財団

92	エリスロポエチン産生細胞および骨形成におけるNotchシグナルの解析	小原 直	血液診療グループ	800,000	補 公益財団法人 日本腎臓財団
93	BPSDの症状評価法および治療法の開発と脳内基盤解明を目指した総合的研究	新井 哲明	精神神経診療グループ	8,856,000	委 日本医療研究開発機構 (認知症対策総合研究)
94	蓄積蛋白質の構造異常による認知症の分子病理診断法およびモデル動物の開発	新井 哲明	精神神経診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
95	被災関連自殺ハイリスク者の実態と心のケアのニーズ調査事業	太刀川 弘和	精神神経診療グループ	800,000	補 茨城県保健福祉部 平成27年度 茨城県自殺防止対策モデル事業
96	大学生の自殺予防を目的とするメンタルヘルスセラシー教育手法の開発	太刀川 弘和	精神神経診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
97	脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現 脳の健康プログラム	根本 清貴	精神神経診療グループ	14,960,000	委 国立研究開発法人 科学技術振興機構 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)
98	大学生における精神科治療と学業転帰—自殺予防の観点から—	石井 映美	精神神経診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
99	タンパク質-RNA相互作用が及ぼす神経変性疾患の病態機序の解明	東 晋二	精神神経診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
100	皮膚筋炎におけるB細胞と自己抗体の病態関与メカニズムの解明	藤本 学	皮膚診療グループ	6,630,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
101	皮膚疾患における制御性B細胞を用いた治療法の開発	藤本 学	皮膚診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
102	皮膚苔癬反応におけるランゲルハンス細胞によるCD8 ⁺ T細胞抑制機構の解明	沖山 奈緒子	皮膚診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
103	ROR γ t発現がCD4 ⁺ T細胞の誘導に及ぼす影響の研究	藤澤 康弘	皮膚診療グループ	910,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
104	移植片対宿主病(GVHD)様皮膚粘膜疾患モデルを用いた苔癬反応における表皮角化細胞アポトーシス機構の解明と治療法開発	沖山 奈緒子	皮膚診療グループ	500,000	補 一般財団法人 リディアオリー記念 ビアス皮膚科学振興財団
105	小児におけるB型肝炎の水平感染の実態把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	須磨崎 亮	小児(内)診療グループ	34,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 (肝炎等克服政策研究)
106	高性能の新規RNAベクターによる血友病遺伝子治療の開発	須磨崎 亮	小児(内)診療グループ	22,499,000	委 日本医療研究開発機構 再生医療実用化研究事業
107	新規高性能ベクターを生体イメージングで評価し血友病遺伝子治療に応用するための研究	福島 敬	小児(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
108	小児の手指巧緻性機能障害に関する治療法の開発-磁気センサによる定量評価	大戸 達之	小児(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
109	新しい心磁図指標を用いた小児の早期再分極症例の突然死リスク評価に関する研究	加藤 愛章	小児(内)診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
110	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症2型患者のiPS細胞由来肝細胞を用いた治療薬の探索	今川 和生	小児(内)診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
111	早期に発症する遺伝性不整脈の遺伝子型と臨床的表現型の関連の検討及び治療法の確立	堀米 仁志	小児(内)診療グループ	3,380,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
112	陽子線照射をうけた小児がん患者における予後調査	福島 紘子	小児(内)診療グループ	1,000,000	補 NPO法人 ハートリンクワーキングプロジェクト
113	ロボットスーツ HAL(Hybrid Assistive Limb)の小児臨床応用 ~運動障害児の歩行獲得へのアシスト~	大戸 達之	小児(内)診療グループ	1,500,000	補 財団法人母子保健協会
114	エリスロポエチンの先天性横隔膜ヘルニアにおける肺高血圧への有用性の検討	高安 肇	小児(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)

115	自家臍帯幹細胞シート移植による先天性横隔膜ヘルニアにける低形成肺の再生	新開 統子	小児(外)診療グループ	700,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
116	再生医療的アプローチを用いた新しい横隔膜修復術の開発	瓜田 泰久	小児(外)診療グループ	712,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
117	Umbilical Cord Wharton's Jelly Stem Cellsシートによる先天性横隔膜ヘルニア低形成肺の再生に関する研究	新開 統子	小児(外)診療グループ	1,000,000	委 公益財団法人 川野小児医学奨学財団
118	パターン化アルギン酸カルシウム上での並列化筋管細胞包埋コラーゲンゲルシート作成	萩原 幸輝	小児(外)診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
119	末梢神経再生技術の形成外科領域への導入	関堂 充	形成診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
120	形成外科手術に対する研究助成	関堂 充	形成診療グループ	500,000	委 医療法人竜仁会
121	「形成外科手術に関する研究」に対する研究	関堂 充	形成診療グループ	500,000	委 社会医療法人社団光仁会 総合守谷第一病院
122	「切断指再接合後の未分画へパリン投与による有用性と適正投与量に関する前向き試験」に対する研究助成	関堂 充	形成診療グループ	500,000	委 医療法人社団 真馨会 新東京病院
123	形成外科手術に対する研究助成(DGS04213)	関堂 充	形成診療グループ	500,000	委 医療法人竜仁会
124	「形成外科手術に関する研究」に対する研究	関堂 充	形成診療グループ	100,000	委 医療法人この実会 嶋崎病院
125	成人におけるジフェニルアルシン酸等に係る健康影響に関する臨床研究	石井 一弘	脳神経(内)診療グループ	4,947,250	委 環境省 平成27年度「ジフェニルアルシン酸等に係る健康影響に関する調査研究」
126	モデル動物を用いたジフェニルアルシン酸(DPAA)の生体影響	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	15,522,840	委 環境省 平成27年度「ジフェニルアルシン酸等に係る健康影響に関する調査研究」
127	認知症患者のバランス障害に対する前庭刺激効果の解明および臨床応用	中馬越 清隆	脳神経(内)診療グループ	3,800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
128	ナノ粒子薬物送達システムによる、アルツハイマー病の酸化ストレス消去療法の開発	富所 康志	脳神経(内)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
129	経口免疫寛容の誘導による外来遺伝子発現法の検討	石井 亜紀子	脳神経(内)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
130	多機能レーザー内視鏡治療機器を用いた超低侵襲内視鏡手術	阿久津 博義	脳神経(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
131	神経血管ワイアリング分子を標的とした脳腫瘍の血管新生抑制療法	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	5,980,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
132	血管新生因子アンチセンスホモロジーボックス由来ペプチドによる脳梗塞の血管新生療法	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
133	頭頸部血管形成術後再狭窄に対するナノ粒子を用いた診断・治療についての基礎的研究	鶴田 和太郎	脳神経(外)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
134	病院併設BNCTにむけた血液・組織内ホウ素分析手法の最適化	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
135	ホウ素中性子線療法用のナノカーボンホウ素キャリアーの開発	松村 明	脳神経(外)診療グループ	230,000	補 産業技術総合研究所と筑波大学の合わせ技ファンド事業
136	病院内加速器中性子捕捉療法確立のための基礎的・臨床的研究	松村 明	脳神経(外)診療グループ	4,290,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
137	不活化ウイルス粒子による脳腫瘍幹細胞を標的とした新規核酸医薬療法の開発	松田 真秀	脳神経(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)

138	TEMPO-RNPによる脳梗塞再開通療法後における再灌流障害と出血性脳梗塞の予防	丸島 愛樹	脳神経(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
139	中性アミノ酸ブローディングによる中性子捕捉療法(BNCT)の確立	山本 哲哉	脳神経(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
140	グリオーマ幹細胞に対する免疫チェックポイント阻害薬とワクチン療法の併用	石川 栄一	脳神経(外)診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
141	徐放性DDSと未分化細胞を用いた脳虚血に対する再生医療の基礎的研究	鶴嶋 英夫	脳神経(外)診療グループ	2,600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
142	脳血管障害による片麻痺の歩行・下肢体幹運動機能改善効果を得るための新たな医療機器、下肢着型ロボットスーツHALに関する医師主導治験	鶴嶋 英夫	脳神経(外)診療グループ	60,000,000	委 日本医療研究開発機構 AMED
143	入院患者および接続医療機器の異常検出技術とその医療従事者への伝達方法	鶴嶋 英夫	脳神経(外)診療グループ	2,000,000	補 産業技術総合研究所と筑波大学の合わせ技ファンド事業
144	ニューロコミュニケーターの病室内利用の可能性の検討	増田 洋亮	脳神経(外)診療グループ	2,000,000	補 産業技術総合研究所と筑波大学の合わせ技ファンド事業
145	末梢神経欠損間隙の新治療法:末梢神経両断端緩徐伸長法の実用化に向けて	原 友紀	整形診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
146	革新的医療機器開発:骨粗鬆症高齢者でも弛まない骨固定材料・成長因子含有アパタイトコーティングネジ	山崎 正志	整形診療グループ	3,000,000	補 特別一産学連携推進 プロジェクト マッチングファンドプロジェクト
147	ドップラー補償光学型および偏光感受型光干渉断層計による三次元光バイオプシーの開発	大鹿 哲郎	眼診療グループ	2,600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
148	加齢黄斑変性症における異常凝集蛋白質の同定および新規治療薬・光線力学療法の開発	加治 優一	眼診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
149	組織シーラントによる新しい網膜剥離手術手技の開発とヒトへの臨床応用	岡本 史樹	眼診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
150	On/Off機能を備えた近赤外蛍光プローブによる網膜低酸素イメージングの開発	福田 慎一	眼診療グループ	780,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
151	婦人科がんの系統的、総合的周術期VTE予防法の確立およびVTE発症機序の解明	佐藤 豊実	婦人・周産期診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
152	子宮頸癌におけるHPV型別の病態解析:新たな疾患概念の確立を目指して	松本 光司	婦人・周産期診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
153	妊娠・授乳期における医療用医薬品の使用上の注意の在り方に関する研究	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	2,700,000	委 厚生労働科学研究費補助金 (医薬品等規制調和・ 評価研究)
154	母児間免疫寛容に注目した絨毛膜羊膜炎を伴う早産の予防戦略	小畠 真奈	婦人・周産期診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
155	次世代シーケンサーによるHPV準種解析:子宮頸部発癌との関連について	小貫 麻美子	婦人・周産期診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
156	婦人科悪性腫瘍におけるTFの発現と過凝固状態についての研究	櫻井 学	婦人・周産期診療グループ	780,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
157	蝸牛発生、機能維持、蝸牛障害におけるセラミド、スフィンゴ脂質の影響の検討	田淵 経司	耳鼻咽喉診療グループ	700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
158	疼痛による扁桃体抑制性神経回路可塑性機構の解明	山本 純偉	麻酔診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
159	Neurogenesisに焦点をあてた術後の認知機能障害の発症機序と予防法の解明	山下 創一郎	麻酔診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
160	蘇生後症候群へのスタチンの多面効果:水溶性と脂溶性の比較	中山 慎	麻酔診療グループ	910,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)

161	口腔がん関連microRNAの総合的機能解析と新規治療法の探索	武川 寛樹	歯・口腔診療グループ	8,710,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
162	Nrf2は菌周病菌による自然免疫活性を制御し、肥満性肝疾患の発症と進展を予防する	鬼澤 浩司郎	歯・口腔診療グループ	4,290,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
163	Nrf2-p62ダブルブロックアウトを用いたオートファジー異常による肝発癌の解析	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	6,240,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
164	海馬の疼痛記憶形成異常仮説による舌痛症モデル動物の構築と解析	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
165	閉経女性のエストロゲン欠乏によるサルコペニア肥満のリスク増大とNrf2の抑止効果	山縣 憲司	歯・口腔診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
166	microRNAを切り口とした口腔癌発癌メカニズムの解明	内田 文彦	歯・口腔診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
167	想定外のストレス下での精神・自律神経系の恒常性維持機構の解明	松崎 一葉	保健衛生外来診療グループ	21,320,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究 (研究領域提案型)
168	メコン川流域国における急速なモータリゼーションから子どもの命と健康を守る	市川 政雄	保健衛生外来診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
169	ハイパーニック効果を応用したストレス関連障害の治療効果の研究	森田 展彰	保健衛生外来診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
170	依存物質再使用リスク測定の潜在的指標を用いた改良および治療応用	大谷 保和	保健衛生外来診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
171	敗血症超急性期モデル動物に対するTEMPO-RNPを用いた抗酸化ストレス療法	下條 信威	救急・集中治療診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
172	TEMPO-RNPによる脳梗塞再開通療法後における再灌流障害と出血性脳梗塞の予防	丸島 愛樹	救急・集中治療診療グループ	900,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
173	Comprehensive Assessment of Prevalence and Trends of Gestational Diabetes Mellitus among Bangladeshi Rural Women: A multidisciplinary investigation from basic epidemiology to genetic screening	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
174	血管内皮増殖因子VEGF系を基軸とする、敗血症性多臓器不全の治療戦略の研究	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
175	Exploration of the role of environmental chemical (arsenic) in the development of diabetes and the related metabolic disorders for South Asian Countries	河野 了	救急・集中治療診療グループ	6,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
176	近赤外線分光法を用いた心肺脳蘇生の新しい評価方法ー簡易で非侵襲でリアルタイムにー	小山 泰明	救急・集中治療診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
177	粒子線治療の有用性の検証に関する多施設共同研究	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	29,000,000	委 日本医療研究開発機構
178	加速器型治療装置によるホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の医師主導治験	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	44,655,000	委 日本医療研究開発機構
179	次世代型マルチ粒子線治療の臨床応用のための基盤研究	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	6,890,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
180	等価線量をシミュレーションで評価する次世代型BNCT用治療計画システムの開発	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
181	腫瘍追跡情報をフィードバックする呼吸コーチング法の開発	照沼 利之	放射線腫瘍科診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
182	BNCTにおける生体内線量分布計測システムのための基盤技術の研究開発	安岡 聖	放射線腫瘍科診療グループ	520,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)

183	放射線と免疫療法を融合したロコ・システミックがん治療法の開発	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
184	難治性頭頸部癌酸素中性子捕捉療法と併用療法上乗せ効果の研究	粟飯原 輝人	放射線腫瘍科診療グループ	2,340,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
185	本邦初の99Mo/99mTc国産化を目指した99Mo/99mTcジェネレータ開発	福光 延吉	放射線腫瘍科診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
186	病院併設型中性子捕捉療法を用いた難治性癌克服の研究	福光 延吉	放射線腫瘍科診療グループ	3,770,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
187	小児腫瘍に対する陽子線治療後の晩期有害事象予測プログラムの作成	水本 斉志	放射線腫瘍科診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
188	機能画像情報を利用した非アルコール性脂肪性肝疾患の非侵襲的病態評価法の確立	磯辺 智範	放射線腫瘍科診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
189	次世代がん治療:BNCT用治療計画システムの開発による起業挑戦研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	5,414,000	委 独) 科学技術振興機構A-Step
190	次世代粒子線治療研究拠点の形成	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	5,000,000	補 プレ戦略イニシアチブ (研究拠点提案型)
191	医療用及び産業工業用加速器中性子源開発のための共同研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	890,000	補 産学連携推進プロジェクト 共同研究プロジェクト
192	ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)によるがん治療機器の開発・実証事業	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	108,000,000	委 財) 脳神経疾患研究所
193	医療用加速器中性子源の産業利用への応用に関する研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	11,797,500	委 独) 科学技術振興機構A-Step
194	治療用高エネルギーX線を利用した体内線量リアルタイムモニタリングシステムの開発	武居 秀行	放射線腫瘍科診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
195	温熱療法の陽子線治療に対する増感効果の基礎的検討	斎藤 高	放射線腫瘍科診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
196	多角的なMRI評価を用いたスポーツアスリートの筋コンディショニングの試み	岡本 嘉一	放射線診断・IVR診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
197	大学生におけるアルコール使用障害のスクリーニングに関する研究	吉本 尚	総合診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
198	地域枠医学生の医師不足地域での従事意思についての全国調査	高屋敷 明由美	総合診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
199	大教室で1日のできるチーム医療教育プログラムパッケージの開発と教育効果の検証	前野 貴美	総合診療グループ	900,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
200	我が国における地域枠制度の実態・効果および地域枠学生のキャリア形成に関する調査・研究	前野 哲博	総合診療グループ	12,000,000	委 文部科学省 平成27年度 大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業
201	住民をまきこんだ多職種連携教育を基盤とした緩和ケアボランティア養成プログラムの開発—参加型アクションリサーチ—	春田 淳志	総合診療グループ	200,000	委 日本プライマリ・ケア連合学会 日本プライマリ・ケア連合学会若手チーム研究
202	非がん疾患の終末期医療の実態に関する調査事業	濱野 淳	総合診療グループ	1,000,000	委 公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団
203	革新的がん診断・治療・創薬開発のための基礎探索研究拠点の構築	野口 雅之	病理診断診療グループ	18,200,000	補 文部科学省H27年度概算要求 特別経費
204	血管保護因子DDAH2に注目した肺腺癌間質形成の分子機構の解明	野口 雅之	病理診断診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
205	SFN, IGBP1に着目した肺腺癌発生の分子基盤の解明	野口 雅之	病理診断診療グループ	2,340,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

206	患者由来XGマウスを用いたIGBP1関連miRNAの肺癌治療における機序の検討	坂下 信悟	病理診断診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
207	大腸発癌過程においてHNF4a(P1)発現が消失するメカニズムの解明に向けた研究	菅野 雅人	病理診断診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
208	初期浸潤肺腺がん凍結組織培養を利用した肺腺がんの悪性化分子機構の解明	竹内 朋代	病理診断診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
209	結合蛋白に着目したStratifinによる肺腺癌初期悪性化の分子メカニズム解明	柴 綾	病理診断診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
210	肺腺癌の悪性化に関わるECT2の検討	村田 佳彦	病理診断診療グループ	600,000	補 科学研究補助金 奨励研究
211	セルフフリーDNAを用いた乳癌の予後予測法の開発	野口 恵美子	遺伝診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
212	エクソーム解析による小児喘息発症の個別化医療と創薬のための分子標的遺伝子の探索	野口 恵美子	遺伝診療グループ	2,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
213	悪性中皮腫における薬剤耐性の克服と分子標的治療の開発	関根 郁夫	腫瘍内科診療グループ	400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
214	心筋ナトリウムチャネル関連遺伝子解析に基づく抗不整脈薬の個別投与設計法の構築	土岐 浩介	薬剤部	910,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
215	がん患者の栄養摂取状況の改善を目指した口腔粘膜炎症痛治療アルゴリズムの構築	百 賢二	薬剤部	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
216	免疫抑制薬とアゾール系抗真菌薬の薬物相互作用に関する検討	大畑 瞳	薬剤部	500,000	補 科学研究費補助金 奨励研究
217	ダビガトランの出血リスクにおよぼすP-糖蛋白阻害剤の併用および腎機能の影響	横田 裕之	薬剤部	500,000	補 科学研究費補助金 奨励研究
218	膜型人工肺の不感蒸泄量の測定と血液性状変化観察のための牛血液を用いた実験研究	古垣 達也	医療機器管理センター	500,000	補 科学研究費補助金 奨励研究
219	患者等からAggressionをうけた病院職員へのピアによる初動対応	平井 理心	医事課	400,000	補 科学研究費補助金 奨励研究
220	サルコペニア肥満の予防に向けた3次元加速度訓練による筋-肝臓リハビリテーション	丸山 剛	リハビリテーション部	600,000	補 科学研究費補助金 奨励研究
221	高度周産期医療施設勤務助産師のワークエンゲージメント向上プログラムの開発	小泉 仁子	看護部	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
222	出産による心的外傷後ストレス症状測定尺度日本語版の開発研究	杉本 敬子	看護部	1,040,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
223	「育児ストレス」軽減に向けた認知行動療法プログラムの開発	山海 千保子	看護部	780,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
224	表面加工玄米、7分づき米および白米の継続摂食による体重減少効果の検討	橋本 幸一	T-CReDO	44,054,000	補 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構「機能性を持つ農林水産物・食品プロジェクト」経費
225	Novel adjuvant method of malignant brain tumor diagnosis and therapy with targeted nanoparticles made of high-Z elements	ザボロク アレクサンドル	国際連携推進室	1,690,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)

計225件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4	別紙のとおり			
5				
6				
7				
8				
9				
～				
70				
～				

計257件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3	別紙のとおり			
4				
5				
～				

計442件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

No	著者	所属部署	題名	雑誌名	備考
1	Tokunaga C	循環器(内)診療グループ	Intractable Electrical Storm After Coronary Artery Bypass Grafting Originating in Abnormal Purkinje Fibers.	J Card Surg. 2016 Jan;31(1):74-7. doi: 10.1111/jocs.12670.	
2	Aonuma K	循環器(内)診療グループ	[Programs for Continuing Medical Education: B session; 1. Current therapeutic opinion on atrial fibrillation].	Nihon Naika Gakkai Zasshi. 2015 Mar 10;104(3):532-9. Japanese.	
3	Yamasaki H	循環器(内)診療グループ	Right coronary cusp as a new window of ablation for pilsicainide-induced ventricular premature contractions in a patient with Brugada syndrome.	Heart Vessels. 2015 Oct 28.	
4	Sato A	循環器(内)診療グループ	Author's reply.	J Cardiol. 2016 May;67(5):483-4. doi: 10.1016/j.jcc.2015.09.001. Epub 2015 Sep 19.	
5	Watabe H	循環器(内)診療グループ	Enhancement patterns detected by multidetector computed tomography are associated with microvascular obstruction and left ventricular remodeling in patients with acute myocardial infarction.	Eur Heart J. 2016 Feb 21;37(8):684-92. doi: 10.1093/eurheartj/ehv467.	
6	Nishikii-Tachibana M	循環器(内)診療グループ	Prevalence and Clinical Determinants of Left Atrial Appendage Thrombus in Patients With Atrial Fibrillation Before Pulmonary Vein Isolation.	Am J Cardiol. 2015 Nov 1;116(9):1368-73. doi: 10.1016/j.amjcard.2015.07.055.	
7	Aonuma K	循環器(内)診療グループ	Comments from the Editor-in-Chief of Journal of Arrhythmia.	J Arrhythm. 2015 Apr;31(2):69. doi: 10.1016/j.joa.2015.03.005.	
8	Kawabe M	循環器(内)診療グループ	Gender differences in the association between serum uric acid and prognosis in patients with acute coronary syndrome.	J Cardiol. 2016 Feb;67(2):170-6. doi: 10.1016/j.jcc.2015.05.009.	
9	Tomoto T	循環器(内)診療グループ	The influence of central arterial compliance on cerebrovascular hemodynamics: insights from endurance training intervention.	J Appl Physiol (1985). 2015 Sep 1;119(5):445-51. doi:10.1152/jappphysiol.00129.2015.	
10	Enomoto M	循環器(内)診療グループ	Subendocardial Systolic Dysfunction in Asymptomatic Normotensive Diabetic Patients.	Circ J. 2015;79(8):1749-55. doi: 10.1253/circj.CJ-15-0012.	
11	Sato A	循環器(内)診療グループ	A successful retrieval of entrapped guidewire with a novel "jailed-wire technique".	Int J Cardiol. 2015 Aug 1;192:18. doi: 10.1016/j.ijcard.2015.05.027.	
12	Yoshida K	循環器(内)診療グループ	Elevated plasma norepinephrine level and sick sinus syndrome in patients with lone atrial fibrillation.	Heart. 2015 Jul;101(14):1133-8. doi: 10.1136/heartjul-2014-307334.	
13	Seo Y	循環器(内)診療グループ	New Index Obtained From Intrathoracic Impedance Measurements - Could MOMOTARO Find the Key to Heart Failure Management in the Modern Treasure Chest? - .	Circ J. 2015;79(6):1209-10. doi: 10.1253/circj.CJ-15-0421.	
14	Naruse Y	循環器(内)診療グループ	Difference in the Clinical Characteristics of Ventricular Fibrillation Occurrence in the Early Phase of an Acute Myocardial Infarction Between Patients With and Without J Waves.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2015 Aug;26(8):872-8. doi: 10.1111/jce.12691.	
15	Kawabe M	循環器(内)診療グループ	Author's reply.	J Cardiol. 2016 Mar 26. pii: S0914-5087(16)30015-6. doi: 10.1016/j.jcc.2016.03.002.	
16	Sugano A	循環器(内)診療グループ	Optimal cut-off value of reverse remodeling to predict long-term outcome after cardiac resynchronization therapy in patients with ischemic cardiomyopathy.	J Cardiol. 2016 Feb 29. pii: S0914-5087(16)00027-7. doi: 10.1016/j.jcc.2016.01.016.	
17	Atsumi A	循環器(内)診療グループ	Right Ventricular Deformation Analyses Using a Three-Dimensional Speckle-Tracking Echocardiographic System Specialized for the Right Ventricle.	J Am Soc Echocardiogr. 2016 May;29(5):402-411.e2. doi: 10.1016/j.echo.2015.12.014.	
18	Seo Y	循環器(内)診療グループ	Three-dimensional propagation imaging of left ventricular activation by speckle-tracking echocardiography to predict responses to cardiac resynchronization therapy.	J Am Soc Echocardiogr. 2015 May;28(5):606-14. doi: 10.1016/j.echo.2015.02.003. Epub 2015 Mar 19.	
19	Sato A	循環器(内)診療グループ	Effect of the Mehran risk score for the prediction of clinical outcomes after percutaneous coronary intervention.	J Cardiol. 2015 Nov;66(5):417-22. doi: 10.1016/j.jcc.2014.12.016. Epub 2015 Jan 23.	
20	Lin L	循環器(外)診療グループ	A girl with 'six needles' in the heart.	A girl with 'six needles' in the heart.	
21	Sakamoto H	循環器(外)診療グループ	Left Ventricular Perforation during Catheter Ablation in a Patient with Idiopathic Thrombocytopenic Purpura.	Heart Surg Forum. 2015 Dec 9;18(6):E240-1. doi: 10.1532/hsf.1484.	
22	Sakamoto H	循環器(外)診療グループ	A new technique of in vivo synchrotron radiation coronary microangiography in the rat.	Acta Radiol. 2015 Sep;56(9):1105-7. doi: 10.1177/0284185114549570. Epub 2014 Sep 26.	
23	Sugano A	循環器(外)診療グループ	Cardiac resynchronization therapy in a patient with a failing systemic right ventricle.	Can J Cardiol. 2015 Jun;31(6):819.e5-7. doi: 10.1016/j.cjca.2015.01.004. Epub 2015 Jan 14.	
24	Sakamoto H	循環器(外)診療グループ	A newly developed technique of synchrotron radiation coronary microangiography in an in-vivo rat.	Photon Factory Activity Report 2014	
25	4. Miya K	循環器(外)診療グループ	Contrast renal microangiography with synchrotron radiation.	Photon Factory Activity Report 2014	
26	Akutsu D	消化器(内)診療グループ	Endoscopic detachable snare ligation: a new treatment method for colonic diverticular hemorrhage.	Mizokami Y. Endoscopy. 47(11):1039-1042. doi: 10.1055/s-0034-1392204.	
27	Moriwaki T	消化器(内)診療グループ	Phase I study of gemcitabine, cisplatin, and S-1 combination therapy for patients with untreated advanced biliary tract cancer.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015 Sep;22(9):669-74. doi: 10.1002/jhpb.255. Epub 2015 Apr 15.	
28	Kobayashi M	消化器(内)診療グループ	Successful Treatment with Modified FOLFOX6 and Panitumumab in a Cecal Cancer Patient Undergoing Hemodialysis.	Intern Med. 2016;55(2):127-30. doi: 10.2169/internalmedicine.55.5113. Epub 2016 Jan 15.	
29	Moriwaki T	消化器(内)診療グループ	Correlations of survival with progression-free survival, response rate, and disease control rate in advanced biliary tract cancer: a meta-analysis of randomised trials of first-line chemotherapy.	Br J Cancer. 2016 Apr 12;114(8):881-8. doi: 10.1038/bjc.2016.83. Epub 2016 Mar 31.	
30	Yamada T	消化器(内)診療グループ	Identification of a unique hepatocellular carcinoma line, Li-7, with CD13(+) cancer stem cells hierarchy and population change upon its differentiation during culture and effects of sorafenib.	BMC Cancer. 2015 Apr 11;15:260. doi: 10.1186/s12885-015-1297-7.	

31	Yamada T	消化器(内)診療グループ	Is serum HER2 ECD a predictive biomarker for response to trastuzumab in advanced gastric cancer?	J Gastroenterol. 2016 May;51(5):506-7. doi: 10.1007/s00535-016-1184-2. Epub 2016 Feb 18.
32	Vong LB	消化器(内)診療グループ	Development of an oral nanotherapeutics using redox nanoparticles for treatment of colitis-associated colon cancer.	Biomaterials. 2015 Jul;55:54-63. doi: 10.1016/j.biomaterials.2015.03.037.
33	Inagaki Y	消化器(内)診療グループ	Acute infection by hepatitis E virus with a slight immunoglobulin M antibody response.	Clin J Gastroenterol. 2015 Aug;8(4):247-52.
34	Suzuki H	消化器(内)診療グループ	Expression of insulin-like growth factor I receptor as a biomarker for predicting prognosis in biliary tract cancer patients.	Mol Clin Oncol. 2015 May;3(3):464-470.
35	Inagaki Y	消化器(内)診療グループ	Clinical features of hepatitis E virus infection in Ibaraki, Japan: autochthonous hepatitis E and acute-on-chronic liver failure.	Tohoku J Exp Med. 2015;235(4):275-82. doi: 10.1620/tjem.235.275.
36	Ohkawa A	消化器(内)診療グループ	Proton beam therapy for unresectable intrahepatic cholangiocarcinoma.	J Gastroenterol Hepatol. 2015 May;30(5):957-63. doi: 10.1111/jgh.12843.
37	Ohno Toshiaki	消化器(外)診療グループ	Comparison of dose-volume histograms between proton beam and X-ray conformal radiotherapy for locally advanced non-small-cell lung cancer.	Journal of Radiation Research 56(1):128-133
38	Mizumoto M	消化器(外)診療グループ	Proton beam therapy for pediatric ependymoma.	Pediatr Int. 2015 Aug;57(4):567-71. doi: 10.1111/ped.12624. Epub 2015 Jun 4.
39	Enzaki Y	消化器(外)診療グループ	Development of the hepatic device for a hepatectomy simulator.	Hepatic Interaction Lecture Notes in Electrical Engineering. 2015 231-235
40	Ishikawa H	消化器(外)診療グループ	Proton beam therapy combined with concurrent chemotherapy for esophageal cancer.	Anticancer Res. 2015 35(3) 1757-1762
41	Kishimoto M	消化器(外)診療グループ	Quantity Determination of Magnetic Particles Intravenously Administered to Mice Tissues Using Magnetization Measurements	IEEE TRANSACTIONS ON MAGNETICS 2015 51(10) 5300706
42	Kurokawa T	消化器(外)診療グループ	The Eltrombopag antitumor effect on hepatocellular carcinoma.	Int J Oncol. 2015 Nov;47(5):1696-702. doi: 10.3892/ijo.2015.3180. Epub 2015 Sep 23.
43	Kurokawa T	消化器(外)診療グループ	Novel functions of platelets in the liver.	J Gastroenterol Hepatol. 2016 Apr;31(4):745-51. doi: 10.1111/jgh.13244.
44	Miyamoto R	消化器(外)診療グループ	Cetuximab delivery and antitumor effects are enhanced by mild hyperthermia in a xenograft mouse model of pancreatic cancer.	Cancer Sci. 2016 Apr;107(4):514-20. doi: 10.1111/cas.12888. Epub 2016 Mar 4.
45	Murata S	消化器(外)診療グループ	1,8-Cineole Ameliorates Steatosis of Pten Liver Specific KO Mice via Akt Inactivation.	Int J Mol Sci. 2015 May 27;16(6):12051-63. doi: 10.3390/ijms160612051.
46	Nowatari T	消化器(外)診療グループ	Sphingosine 1-phosphate has anti-apoptotic effect on liver sinusoidal endothelial cells and proliferative effect on hepatocytes in a paracrine manner in human.	Hepatol Res. 2015 Nov;45(11):1136-45. doi: 10.1111/hepr.12446. Epub 2014 Nov 28.
47	Oda T	消化器(外)診療グループ	The Tight Adaptation at Pancreatic Anastomosis Without Parenchymal Laceration: An Institutional Experience in Introducing and Modifying the New Procedure.	World J Surg. 2015 Aug;39(8):2014-22. doi: 10.1007/s00268-015-3075-8.
48	Oda T	消化器(外)診療グループ	Inter-Anastomosis Drainage Tube Between the Pancreas and Jejunum: A Novel Technique for Preventing Pancreatic Fistula after Pancreaticoduodenectomy.	J Am Coll Surg. 2015 Sep;221(3):e55-60. doi: 10.1016/j.jamcollsurg.2015.05.010. Epub 2015 May 22.
49	Oshiro Y	消化器(外)診療グループ	Novel 3-dimensional virtual hepatectomy simulation combined with real-time deformation.	World J Gastroenterol. 2015 Sep 14;21(34):9982-92. doi: 10.3748/wjg.v21.i34.9982.
50	Sano N	消化器(外)診療グループ	New drug delivery system for liver sinusoidal endothelial cells for ischemia-reperfusion injury.	World J Gastroenterol. 2015 Dec 7;21(45):12778-86. doi: 10.3748/wjg.v21.i45.12778.
51	Tamura T	消化器(外)診療グループ	A long-term follow-up result of pouch plasty for severe dysfunction of jejunal pouch reconstruction after total gastrectomy: a case report.	Int Surg. 2015 May;100(5):954-7. doi: 10.9738/INTSURG-D-14-00181.1.
52	Tanoi T	消化器(外)診療グループ	Protecting liver sinusoidal endothelial cells suppresses apoptosis in acute liver damage.	Hepatol Res. 2016 Jun;46(7):697-706. doi: 10.1111/hepr.12607. Epub 2015 Nov 12.
53	Watanabe M	消化器(外)診療グループ	Complicated adult right-sided Bochdalek hernia with Chilaiditi's syndrome: a case report.	Surg Case Rep. 2015 Dec;1(1):95. doi: 10.1186/s40792-015-0100-y. Epub 2015 Oct 6.
54	Yoneyama S	消化器(外)診療グループ	The negative impact of insulin therapy for acute hyperglycemia secondary to glucose load on plasma amino acid profiles in a rat model of sepsis.	Eur Surg Res. 2015;54(1-2):34-43. doi: 10.1159/000368046. Epub 2014 Oct 14.
55	Toshihiro Shiozawa	呼吸器(内)診療グループ	Dimethylarginine dimethylaminohydrolase 2 promotes tumor angiogenesis in lung adenocarcinoma	Article in Archiv für Pathologische Anatomie und Physiologie und für Klinische Medizin 468(2),179-190 · October 2015 DOI: 10.1007/s00428-015-1863-z
56	Yatagai Y	呼吸器(内)診療グループ	Variants near the HLA complex group 22 gene (HCG22) confer increased susceptibility to late-onset asthma in Japanese populations.	J Allergy Clin Immunol. 2016 Jan 30. doi: 10.1016/j.jaci.2015.11.023. Epub 2016/02/03
57	Yamada H	呼吸器(内)診療グループ	Role of Lung Function Genes in the Development of Asthma.	PLoS One. 2016 11;1:e0145832. doi: 10.1371/journal.pone.0145832. Epub 2016/01/12
58	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ	Clinical approaches toward asthma and COPD based on the heterogeneity of disease pathogenesis.	Clin Exp Allergy. 2016 Mar 24. doi: 10.1111/cea.12731.
59	Makabe K	呼吸器(内)診療グループ	Treatment of choroid metastasis from lung adenocarcinoma with bevacizumab-containing chemotherapy: A case report.	Exp Ther Med. 2016 Jan;11(1):239-242. Epub 2015 Nov 25.
60	Matsuyama M	呼吸器(内)診療グループ	Overexpression of ROR γ 1 Enhances Pulmonary Inflammation after Infection with Mycobacterium Avium.	PLoS One. 2016 Jan 19;11(1):e0147064. doi: 10.1371/journal.pone.0147064. eCollection 2016.
61	Manabe T	呼吸器(内)診療グループ	Influence of pneumonia complications on the prognosis of patients with autopsy-confirmed Alzheimer's disease, dementia with Lewy bodies, and vascular dementia.	Psychogeriatrics. 2015 Oct 29. doi: 10.1111/psyg.12163. [Epub ahead of print]

62	Teramoto S	呼吸器(内)診療グループ	A comprehensive assessment using COPD assessment test scoring and modified Medical Research Council dyspnea scoring is necessary for personalized therapy for COPD patients.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2015 Oct 15;10:2203-6. doi: 10.2147/COPD.S94509. eCollection 2015. No abstract available.	
63	Teramoto S	呼吸器(内)診療グループ	Update on the pathogenesis and management of pneumonia in the elderly—roles of aspiration pneumonia.	Respir Investig. 2015 Sep;53(5):178-84. doi: 10.1016/j.resinv.2015.01.003. Epub 2015 Mar 20. Review.	
64	Watanabe H	呼吸器(内)診療グループ	Response to alectinib after one year of discontinuation of crizotinib in anaplastic lymphoma kinase-positive non-small-cell lung cancer: A case report.	Mol Clin Oncol. 2015 Jul;3(4):889-891. Epub 2015 Mar 30.	
65	Ogawa R	呼吸器(内)診療グループ	Lung cancer with spontaneous regression of primary and metastatic sites: A case report.	Oncol Lett. 2015 Jul;10(1):550-552. Epub 2015 May 20.	
66	Watanabe H	呼吸器(内)診療グループ	Successful treatment of EGFR-mutated non-small cell lung cancer with reduced-dose gefitinib: A case report.	Exp Ther Med. 2015 Jul;10(1):386-388. Epub 2015 May 18.	
67	Ota K	呼吸器(内)診療グループ	Synthetic double-stranded RNA induces interleukin-32 in bronchial epithelial cells.	Exp Lung Res. 2015;41(6):335-43. doi: 10.3109/01902148.2015.1033569. Epub 2015 Jul 7.	
68	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ	Recurrent pulmonary synovial sarcoma effectively treated with amrubicin: A case report.	Exp Ther Med. 2015 May;9(5):1947-1949. Epub 2015 Feb 24.	
69	Hizawa N.	呼吸器(内)診療グループ	LAMA/LABA vs ICS/LABA in the treatment of COPD in Japan based on the disease phenotypes.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2015 Jun 10;10:1093-102. doi: 10.2147/COPD.S72858. eCollection 2015. Review.	
70	Tamura T	呼吸器(内)診療グループ	Characteristics of clinical N0 metastatic non-small cell lung cancer.	Lung Cancer. 2015 Jul;89(1):71-5. doi: 10.1016/j.lungcan.2015.04.002. Epub 2015 Apr 13.	
71	Taguchi S	呼吸器(内)診療グループ	Severe airflow obstruction in a patient with ulcerative colitis and toxic epidermal necrolysis.	Exp Ther Med 9(5): 1944-1946, 2015.Epub 2015 Feb 24.	
72	Watanabe H	呼吸器(内)診療グループ	Bochdalek hernia in a middle-aged man.	Tuberculosis and Thorax 63(1): 65-66, 2015.	
73	Tamura T	呼吸器(内)診療グループ	Specific organ metastases and survival in non-small cell lung cancer.	Mol Clin Med 3(1): 217-221, 2015. Epub 2014 Sep 4.	
74	Iguchi K	呼吸器(内)診療グループ	Isolated spleen recurrence in a patient with lung adenocarcinoma.	Exp Ther Med 10(2): 733-736, 2015.Epub 2015 May 27.	
75	Tamura T	呼吸器(内)診療グループ	The similar survival benefits of good response and stable disease to platinum-based chemotherapy in NSCLC.	Oncol Lett 10(2): 1135-1140, 2015.Epub 2015 Jun 10.	
76	Tamura T	呼吸器(内)診療グループ	Successful afatinib therapy after resistance of EGFR-TKI in a patient with advanced adenocarcinoma cell lung cancer.	Oncol Res Treat 38(6): 316-7, 2015. Epub 2015 Jun 1.	
77	Tamura T	呼吸器(内)診療グループ	Pseudotumor by lateral process of the vertebra.	Tuberculosis and Thorax 63(3): 231-232, 2015.	
78	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ	Telomere length and survival in IPF patients.	Respirol 2015 Oct 27. doi: 10.1111/resp.12667.Epub 2015 Oct 27.	
79	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ	CT characteristics and survival in lung adenocarcinoma.	Clin Lung Cancer 2015 Nov 10. pii: S1525-7304(15)00264-8. Epub 2015 Nov 10.	
80	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ	Hematogenous muscular metastasis of NSCLC in FDG-PET/CT.	Contemp Oncol 19(5): 422, 2015.Epub 2015 Dec 22.	
81	Yamada H	呼吸器(内)診療グループ	Heritability of pulmonary function estimated from genome-wide SNPs in healthy Japanese adults.	Respir Investig. 2015 Mar;53(2):60-7. doi: 10.1016/j.resinv.2014.10.004. Epub 2014 Nov 14.	
82	Teramoto S	呼吸器(内)診療グループ	A possible pathological link among swallowing dysfunction, gastroesophageal reflux, and sleep apnea in acute exacerbation in COPD patients.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2016 Jan 27;11:147-50. doi: 10.2147/COPD.S99663. eCollection 2016. No abstract available.	
83	Hara S	呼吸器(外)診療グループ	Podocyte injury-driven lipid peroxidation accelerates the infiltration of glomerular foam cells in focal segmental glomerulosclerosis	Am. J. Pathol. 2015;185(8):2118-2131 doi: 10.1016	
84	Sakao Yukinori	呼吸器(外)診療グループ	Investigation for the Optimum Resectable Pathological Size of Small Solitary Metastasis from Colorectal Cancers	JOURNAL OF THORACIC ONCOLOGY	
85	Kobayashi M	腎泌尿器(内)診療グループ	Membranous nephropathy with solitary immunoglobulin a deposition.	Intern Med. 2015;54(9):1081-4.	
86	Yamagata K	腎泌尿器(内)診療グループ	Effect of Behavior Modification on Outcome in Early- to Moderate-Stage Chronic Kidney Disease: A Cluster-Randomized Trial.	PLoS One 2016 Mar 21;11(3):e0151422. doi: 10.1371/journal.pone.0151422. eCollection 2016.	
87	Hirayasu Ka	腎泌尿器(内)診療グループ	Two autosomal dominant polycystic kidney (ADPKD) cases with advanced renal dysfunction, effectively treated with tolvaptan	CEN Case Rep (2016) 5:87-90 Published online: 17 November 2015 DOI 10.1007/s13730-015-0198-6	
88	Nakai Kei	腎泌尿器(内)診療グループ	Phase I/II Clinical BNCT Trial for Glioblastoma at JRR-4	Proceedings of the Annual Meeting of the Japan Radiation Research Society	
89	Ichioika D	泌尿器(外)診療グループ	Impact of renal function of patients with advanced urothelial cancer on eligibility for first-line chemotherapy and treatment outcomes.	Jpn J Clin Oncol. 2015 Sep;45(9):867-73. doi: 10.1093/jco/hyv082. Epub 2015 Jun 7.	
90	Ikeda A	泌尿器(外)診療グループ	Serum adiponectin concentration in 2,939 Japanese men undergoing screening for prostate cancer.	Prostate Int. 2015 Sep;3(3):87-92. doi: 10.1016/j.pri.2015.07.001. Epub 2015 Jul 21.	
91	Kojima T	泌尿器(外)診療グループ	Identification of a subgroup with worse prognosis among patients with poor-risk testicular germ cell tumor.	Int J Urol. 2015 Oct;22(10):923-7. doi: 10.1111/iju.12844. Epub 2015 Jun 18.	
92	Miyazaki J	泌尿器(外)診療グループ	Laparoscopic Versus Open Nephroureterectomy in Muscle-Invasive Upper Tract Urothelial Carcinoma: Subanalysis of the Multi-Institutional National Database of the Japanese Urological Association.	J Endourol. 2016 May;30(5):520-5. doi: 10.1089/end.2015.0757. Epub 2016 Jan 28.	
93	Matsuoka T	泌尿器(外)診療グループ	DNA methyltransferase-3 like protein expression in various histological types of testicular germ cell tumor.	Jpn J Clin Oncol. 2016 May;46(5):475-81. doi: 10.1093/jco/hyw012. Epub 2016 Feb 24.	

94	Shikama A	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Identification of human ELOVL5 enhancer regions controlled by SREBP.	Biochem Biophys Res Commun. 2015 Oct 2;465(4):857-63. doi: 10.1016/j.bbrc.2015.08.101. Epub 2015 Aug 28.
95	Kuba M	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Absence of Elovl6 attenuates steatohepatitis but promotes gallstone formation in a lithogenic diet-fed Ldlr(-/-) mouse model.	Sci Rep. 2015 Dec 1;5:17604. doi: 10.1038/srep17604.
96	Fujihara K	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Circulating malondialdehyde-modified LDL-related variables and coronary artery stenosis in asymptomatic patients with type 2 diabetes.	J Diabetes Res. 2015;2015:507245. doi: 10.1155/2015/507245. Epub 2015 Mar 26.
97	Hagiwara S	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Association of anti-Ro/SSA antibody with response to biologics in patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 2016 Mar 22:1-6. [Epub ahead of print]
98	Miki H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Involvement of CD300a Phosphatidylserine Immunoreceptor in Aluminum Salt Adjuvant-Induced Th2 Responses.	J Immunol. 2015 Jun 1;194(11):5069-76. doi: 10.4049/jimmunol.1402915. Epub 2015 Apr 24.
99	Kondo Y	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Involvement of ROR γ 1-overexpressing T cells in the development of autoimmune arthritis in mice.	Arthritis Res Ther. 2015 Apr 20;17:105. doi: 10.1186/s13075-015-0606-5.
100	Takahashi H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	[18F]fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography can reveal subclinical prostatitis in a patient with IgG4-related disease.	Rheumatology (Oxford). 2015 Jun;54(6):1113. doi: 10.1093/rheumatology/kev099. Epub 2015 Apr 10.
101	Kato M	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Lateral medullary infarction in a patient with central nervous system lupus.	Int J Rheum Dis. 2015 May 12. doi: 10.1111/1756-185X.12610. [Epub ahead of print]
102	Asashima H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	The energy induction of M3 muscarinic acetylcholine receptor-reactive CD4+ T cells suppresses experimental sialadenitis-like Sjogren's syndrome.	Arthritis Rheumatol. 2015 May;67(8):2213-25. doi: 10.1002/art.39163.
103	Takai C	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Specific overexpression of tumour necrosis factor- α -induced protein (TNFAIP9) in CD14(+) CD16(-) monocytes in patients with rheumatoid arthritis: comparative analysis with TNFAIP3.	Clin Exp Immunol. 2015 Jun;180(3):458-66. doi: 10.1111/cei.12606.
104	Kurata I	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	A case of relapsing neurosarcoidosis with brain nodules and hydrocephalus successfully treated by corticosteroid and methotrexate.	Rheumatology (Oxford). 2015 Jul;54(7):1160. doi: 10.1093/rheumatology/kev109. Epub 2015 May 8.
105	Kurata I	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Successful Treatment with Infliximab for Refractory Uveitis in a Hemodialysis Patient with Behçet's Disease and a Review of the Literature for Infliximab Use in Patients on Hemodialysis.	Intern Med. 2015;54(12):1553-7. doi: 10.2169/internalmedicine.54.4274. Epub 2015 Jun 15. Review.
106	Hirota T	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Evaluation of changes in magnetic resonance images following 24 and 52 weeks of treatment of rheumatoid arthritis with infliximab, tocilizumab, or abatacept.	Mod Rheumatol. 2016;26(1):29-35. doi: 10.3109/14397595.2015.1069471. Epub 2015 Jul 30.
107	Yoon JH	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Phosphorylation status determines the opposing functions of Smad2/Smad3 as STAT3 cofactors in TH17 differentiation.	Nat Commun. 2015 Jul 21;6:7600. doi: 10.1038/ncomms8600.
108	Takahashi H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Magnetic resonance imaging can reveal fascial vasculitis in a patient with microscopic polyangiitis.	Scand J Rheumatol. 2015;44(6):511-3. doi: 10.3109/03009742.2015.1085084. Epub 2015 Sep 23.
109	Umeda N	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Prevalence of soluble peptidylarginine deiminase 4 (PAD4) and anti-PAD4 antibodies in autoimmune diseases.	Clin Rheumatol. 2016 May;35(5):1181-8. doi: 10.1007/s10067-015-3082-z. Epub 2015 Sep 29.
110	Tsuboi H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Maternal predictive factors for fetal congenital heart block in pregnant mothers positive for anti-SS-A antibodies.	Mod Rheumatol. 2016 Jul;26(4):569-75. doi: 10.3109/14397595.2015.1106661. Epub 2015 Nov 20.
111	Yokosawa M	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Usefulness of MR imaging of the parotid glands in patients with Sjogren's syndrome.	Mod Rheumatol 2015;25:415-442. doi: 10.3109/14397595.2014.958892.
112	Ogawa S	血液内科診療グループ	Identification of a fusion gene composed of a Hippo pathway gene MST2 and a common translocation partner ETV6 in a recurrent translocation t(8;12)(q22;p13) in acute myeloid leukemia.	Ann Hematol 94(8):1431-1433. Aug, 2015 (doi: 10.1007/s00277-015-2391-2) Epub May 3, 2015
113	Chiba S	血液内科診療グループ	G17V RHOA: Genetic evidence of GTP-unbound RHOA playing a role in tumorigenesis in T cells.	Small GTPases 6(2):100-103, 2015 (doi: 10.4161/21541248.2014.988088) Epub Jun 23, 2015
114	Truong TP	血液内科診療グループ	Age-Dependent Decrease of DNA Hydroxymethylation in Human T Cells	J Clin Exp Hematop 55(1):1-6, Jun, 2015 (doi: 10.3960/jslr.55.1)
115	Ninomiya H	血液内科診療グループ	Improvement of Renal Function by Long-Term Sustained Eculizumab Treatment in a Patient with Paroxysmal Nocturnal Hemoglobinuria.	Case Rep Hematol 2015:673195, 2015 (doi: 10.1155/2015/673195) Epub Jun 1, 2015
116	Kyogoku C	血液内科診療グループ	Complete Remission in Systemic Skin Interdigitating Dendritic Cell Sarcoma after ABVD Chemotherapy.	J Clin Exp Hematop 55(1):33-37, Jun, 2015 (doi: 10.3960/jslr.55.33.)
117	Muroi K	血液内科診療グループ	Late occurrence of Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorder in a patient with follicular lymphoma treated with bendamustine and rituximab.	Ann Hematol 94(12):2061-2062, Dec, 2015 (doi: 10.1007/s00277-015-2463-3) Epub Aug 4, 2015
118	Sakata-Yanagimoto M	血液内科診療グループ	Molecular Pathogenesis of Peripheral T Cell Lymphoma.	Curr Hematol Malig Rep 10(4):429-437,Dec, 2015 (doi: 10.1007/s11899-015-0289-7) Epub Oct 2, 2015
119	Chiba S	血液内科診療グループ	Guest editorial: pre-leukemia/pre-lymphoma-what is old, what is new?	Int J Hematol 102(5):511-512, Nov, 2015 (doi: 10.1007/s12185-015-1879-9) Epub Oct 20, 2015
120	Sakata-Yanagimoto M	血液内科診療グループ	A nationwide survey of co-occurrence of malignant lymphomas and myelodysplastic syndromes/myeloproliferative neoplasms.	Ann Hematol 95(5):829-830, Apr, 2016 (doi:10.1007/s00277-016-2612-3) Epub 2 Feb 19, 2016
121	Kida J	精神神経診療グループ	Impact of Depressive Symptoms on Conversion from Mild Cognitive Impairment Subtypes to Alzheimer's Disease: A Community-Based Longitudinal Study.	J Alzheimers Dis. 2016 Feb 5;51(2):405-15. doi: 10.3233/JAD-150603.
122	Takahashi S	精神神経診療グループ	Ventilatory Response to Hypercapnia Predicts Dementia with Lewy Bodies in Late-Onset Major Depressive Disorder.	J Alzheimers Dis. 2015;50(3):751-8. doi: 10.3233/JAD-150507.
123	Tamura M	精神神経診療グループ	Long-term mild-intensity exercise regimen preserves prefrontal cortical volume against aging.	Int J Geriatr Psychiatry. 2015 Jul;30(7):686-94. doi: 10.1002/gps.4205. Epub 2014 Oct 29.
124	Fukushima H	小児(内)診療グループ	Tailor-made treatment combined with proton beam therapy for children with genitourinary/pelvic rhabdomyosarcoma.	Rep Pract Oncol Radiother. 2015 May-Jun;20(3):217-22. doi: 10.1016/j.rpor.2014.12.003. Epub 2015 Jan 9.

125	Suzuki R	小児(内)診療グループ	Imatinib-induced Severe Hepatitis in a 9-Year-old Girl With Philadelphia Chromosome-positive Acute Lymphoblastic Leukemia.	J Pediatr Hematol Oncol. 2015 Aug;37(6):e368-71. doi: 10.1097/MPH.0000000000000337.	
126	Ishizu T	小児(内)診療グループ	Assessment and treatment of systemic right ventricular dyssynchrony.	Circ J. 2015;79(3):519-21. doi: 10.1253/circj.CJ-15-0105. Epub 2015 Feb 10.	
127	Yamaoka Y	小児(内)診療グループ	Mental Health of Parents as Caregivers of Children with Disabilities: Based on Japanese Nationwide Survey.	PLoS One. 2015 Dec 21;10(12):e0145200. doi: 10.1371/journal.pone.0145200. eCollection 2015.	
128	Takizawa D	小児(内)診療グループ	Proton beam therapy for a patient with large rhabdomyosarcoma of the body trunk.	Ital J Pediatr. 2015 Nov 16;41:90. doi: 10.1186/s13052-015-0200-0.	
129	Toko Shinkai	小児(外)診療グループ	A case of unusual histology of infantile lipoblastoma confirmed by PLAG1 rearrangement.	Surg Case Rep. 2015.1(1):42. doi: 10.1186/s40792-015-0042-4.	
130	Takayasu H	小児(外)診療グループ	Analysis of risk factors of long-term complications in congenital diaphragmatic hernia: A single institution's experience.	Asian J Surg. 2015 Apr 30. pii: S1015-9584(15)00042-1. doi: 10.1016/j.asjsur.2015.02.005. [Epub ahead of print]	
131	Takayasu H	小児(外)診療グループ	Increased pulmonary RhoA expression in the nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia rat model.	J Pediatr Surg. 2015 Sep;50(9):1467-71. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2015.02.063. Epub 2015 Mar 7.	
132	Yoneyama F	小児(外)診療グループ	An incarcerated appendix and the ileocecum within a left inguinal hernia in an infant.	Surg Case Rep. 2015;1(1):61. doi: 10.1186/s40792-015-0064-y. Epub 2015 Jul 31.	
133	Jimbo T	小児(外)診療グループ	Currarino syndrome with intramedullary spinal cord abscess related communication between the tethered cord and a presacral mass:	J Pediatr Surg Case Reports	
134	Fujii S	小児(外)診療グループ	Gastric outlet obstruction caused by an ectopic pancreas in a neonate: A case report	J Pediatr Surg Case Reports 3	
135	Shibuya Y	形成診療グループ	A novel postoperative immobilization model for murine Achilles tendon sutures.	Lab Anim. 2015 Dec 16. pii: 0023677215623417. [Epub ahead of print]	
136	Tomono T	脳神経(内)診療グループ	Ultracentrifugation-free chromatography-mediated large-scale purification of recombinant adeno-associated virus serotype 1 (rAAV1).	Mol Ther Methods Clin Dev. 2016 Feb 10;3:15058. doi: 10.1038/mtm.2015.58. eCollection 2016.	
137	Ishii K	脳神経(内)診療グループ	Decreased dopamine transporter and receptor ligand binding in Parkinsonism with diabetic uremic syndrome.	Ann Nucl Med. 2016 May;30(4):320-4. doi: 10.1007/s12149-015-1054-7. Epub 2016 Jan 20.	
138	Watanabe M	脳神経(内)診療グループ	Galactorrhea in a Patient With Aquaporin-4 Antibody-positive Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder: A Case Report and Review of the Literature.	Neurologist. 2015 Dec;20(6):101-3. doi: 10.1097/NRL.0000000000000061.	
139	Nomoto M	脳神経(内)診療グループ	A Randomized Controlled Trial of Subcutaneous Apomorphine for Parkinson Disease: A Repeat Dose and Pharmacokinetic Study.	Clin Neuropharmacol. 2015 Nov-Dec;38(6):241-7. doi: 10.1097/WNF.0000000000000111.	
140	Nakamagoe K	脳神経(内)診療グループ	Vestibular Function Impairment in Alzheimer's Disease.	J Alzheimers Dis. 2015;47(1):185-96. doi: 10.3233/JAD-142646.	
141	Hosaka T	脳神経(内)診療グループ	Opsoclonus associated with autoantibodies to glutamate receptors 3 2.	Neurol Sci. 2015 Sep;36(9):1741-2. doi: 10.1007/s10072-015-2264-4. Epub 2015 May 26.	
142	Shioya A	脳神経(内)診療グループ	Neurodegenerative changes in patients with clinical history of bipolar disorders.	Neuropathology. 2015 Jun;36(3):245-53. doi: 10.1111/neup.12191. Epub 2015 Mar 30	
143	Osaki Y	脳神経(内)診療グループ	Skeletal muscle-specific HMG-CoA reductase knockout mice exhibit rhabdomyolysis: A model for statin-induced myopathy.	Biochem Biophys Res Commun. 2015 Oct 23;466(3):536-40. doi: 10.1016/j.bbrc.2015.09.065. Epub 2015 Sep 14.	
144	Murata M,	脳神経(内)診療グループ	Randomized placebo-controlled trial of zonisamide in patients with Parkinson's disease	Neurology and Clinical Neuroscience	
145	Yamamoto T	脳神経(外)診療グループ	Influence of echo time in quantitative proton MR spectroscopy using LCModel.	Magn Reson Imaging. 2015 Jun;33(5):644-8. doi: 10.1016/j.mri.2015.01.015. Epub 2015 Jan 23.	
146	Hara T	脳神経(外)診療グループ	Cranial Base Repair Using Suturing Technique Combined with a Mucosal Flap for Cerebrospinal Fluid Leakage During Endoscopic Endonasal Surgery.	World Neurosurg. 2015 Dec;84(6):1887-93. doi: 10.1016/j.wneu.2015.08.025. Epub 2015 Sep 1.	
147	Ishikawa E	脳神経(外)診療グループ	Intraparenchymal brain lesion biopsy guided by a rigid endoscope and navigation system.	Surg Neurol Int. 2015 Sep 18;6:149. doi: 10.4103/2152-7806.165764. eCollection 2015.	
148	Matsuda M	脳神経(外)診療グループ	Profile Analysis of Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting in Patients Treated with Concomitant Temozolomide and Radiotherapy: Results of a Prospective Study.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2015;55(9):749-55. doi: 10.2176/nmc.aa.2014-0413. Epub 2015 Sep 4.	
149	Miki S	脳神経(外)診療グループ	Extreme volume expansion of a vestibular schwannoma due to intratumoral hemorrhage after gamma knife radiosurgery.	J Clin Neurosci. 2015 Jul;22(7):1196-9. doi: 10.1016/j.jocn.2014.12.019. Epub 2015 Mar 31.	
150	Nakai K	脳神経(外)診療グループ	Boron analysis for neutron capture therapy using particle-induced gamma-ray emission.	Appl Radiat Isot. 2015 Dec;106:166-70. doi: 10.1016/j.apradiso.2015.07.035. Epub 2015 Jul 29.	
151	Okamoto E	脳神経(外)診療グループ	Detection of DNA double-strand breaks in boron neutron capture reaction.	Appl Radiat Isot. 2015 Dec;106:185-8. doi: 10.1016/j.apradiso.2015.08.019. Epub 2015 Aug 17.	
152	Saotome K	脳神経(外)診療グループ	Quantitative Assessment of Head Motion toward Functional Magnetic Resonance Imaging during Stepping.	Magn Reson Med Sci. 2015 Nov 6. [Epub ahead of print]	
153	Takano S	脳神経(外)診療グループ	Improvement of Long-term Results with Neoadjuvant Chemotherapy and Radiotherapy for Central Nervous System Germinoma.	World Neurosurg. 2015 Sep;84(3):846-54. doi: 10.1016/j.wneu.2015.06.029. Epub 2015 Jun 23.	
154	Takano S	脳神経(外)診療グループ	Neuroendoscopy Followed by Radiotherapy in Cystic Craniopharyngiomas—a Long-Term Follow-Up.	World Neurosurg. 2015 Nov;84(5):1305-15.e1-2. doi: 10.1016/j.wneu.2015.06.022. Epub 2015 Jun 20.	
155	Takano S	脳神経(外)診療グループ	Diagnostic advantage of double immunohistochemistry using two mutation-specific anti-IDH antibodies (HMab-1 and MsMab-1) in gliomas.	Brain Tumor Pathol. 2015 Jul;32(3):169-75. doi: 10.1007/s10014-015-0214-8. Epub 2015 Feb 5.	
156	Yamamoto T	脳神経(外)診療グループ	Photodynamic Diagnosis Using 5-Aminolevulinic Acid in 41 Biopsies for Primary Central Nervous System Lymphoma.	Photochem Photobiol. 2015 Nov;91(6):1452-7. doi: 10.1111/php.12510. Epub 2015 Sep 15.	

157	Yamamoto T	脳神経(外)診療グループ	Rosette-forming glioneuronal tumor originating in the hypothalamus.	Brain Tumor Pathol. 2015 Oct;32(4):291-6. doi: 10.1007/s10014-015-0226-4. Epub 2015 Jul 9.	
158	Yoshida F	脳神経(外)診療グループ	Additive effect of BPA and Gd-DTPA for application in accelerator-based neutron source.	Appl Radiat Isot. 2015 Dec;106:247-50. doi: 10.1016/j.japradiso.2015.07.030. Epub 2015 Jul 27.	
159	Zaboronok A	脳神経(外)診療グループ	Hyaluronic acid as a potential boron carrier for BNCT: Preliminary evaluation.	Appl Radiat Isot. 2015 Dec;106:181-4. doi: 10.1016/j.japradiso.2015.08.020. Epub 2015 Aug 18.	
160	Koiso T	脳神経(外)診療グループ	Desmoplastic Fibroma of the Pediatric Cranium: An Aggressive Skull Tumor with Local Recurrence.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2016;56(2):85-8. doi: 10.2176/nmc.cr.2015-0167. Epub 2016 Jan 22.	
161	Kozuma Y	脳神経(外)診療グループ	Sodium Bicarbonate Facilitates Hemostasis in the Presence of Cerebrospinal Fluid Through Amplification of Platelet Aggregation.	Neurosurgery. 2016 Feb;78(2):274-84. doi: 10.1227/NEU.0000000000001058.	
162	Matsuda M	脳神経(外)診療グループ	Hemifacial Spasm Associated with Contralateral Foramen Magnum Meningioma.	World Neurosurg. 2016 May;89:729.e11-3. doi: 10.1016/j.wneu.2016.01.039. Epub 2016 Jan 27.	
163	Takano S	脳神経(外)診療グループ	Immunohistochemistry on IDH 1/2, ATRX, p53 and Ki-67 substitute molecular genetic testing and predict patient prognosis in grade III adult diffuse gliomas.	Brain Tumor Pathol. 2016 Apr;33(2):107-16. doi: 10.1007/s10014-016-0260-x. Epub 2016 Mar 11.	
164	Hoshiai S	脳神経(外)診療グループ	Radiation-induced angiosarcoma of the brain: a case report	BJR case reports	
165	Akutsu H	脳神経(外)診療グループ	Endoscopic endonasal surgery for craniopharyngiomas	Journal of Neurological Surgery	
166	Tanaka S,	脳神経(外)診療グループ	Resection and reconstruction of nasal turbinates in endoscopic endonasal transpterygoid approach	Journal of Neurological Surgery	
167	Y Shibata	脳神経(外)診療グループ	Recent Developments in Neuroimaging for the Evaluation of Migraines	International Journal of Radiology	
168	Y Shibata	脳神経(外)診療グループ	Diagnostic Imaging of Primary Brainstem Injury Using Magnetic Resonance Imaging	International Journal of Radiology	
169	Y Shibata	脳神経(外)診療グループ	Prevalence and Knowledge of headaches among Japanese hospital workers	Neurology Asia	
170	Kohyama S	整形診療グループ	Extensor tendon rupture of the index finger secondary to avascular necrosis of the scaphoid: a case report.	J Orthop Surg (Hong Kong) 23(1): 120-2, 2015	
171	Makihara T	整形診療グループ	Regrowth of the deteriorated glenoid in advanced Charcot shoulder after suboccipital decompression for syringomyelia: a case report.	J Shoulder Elbw Surg 24(8): e223-8, 2015	
172	Maki S	整形診療グループ	Reduced Field-of-View Diffusion Tensor Imaging of the Spinal Cord Shows Motor Dysfunction of the Lower Extremities in Patients with Cervical Compression Myelopathy.	Spine (Phila Pa 1976). 2015 Aug 13. [Epub ahead of print]	
173	Tanaka K	整形診療グループ	Muscle activity in the lower limbs during push-down movement with a new active-exercise apparatus for the leg.	J Phys Ther Sci. 2016 Mar;28(3):1050-4	
174	Wada H	整形診療グループ	Initial Results of an Acetabular Center Axis Registration Technique in Navigated Hip Arthroplasty with Deformed Acetabular Rims.	Open Orthop J. 2016 Mar 22;10:26-35	
175	Hyodo K	整形診療グループ	Location of fractures and the characteristics of patients with atypical femoral fractures: analyses of 38 Japanese cases.	J Bone Miner Metab. 2016 Mar 29. [Epub ahead of print]	
176	Wada H	整形診療グループ	Three-Dimensional Analysis of the Contact Pattern between the Cortical Bone and Femoral Prosthesis after Cementless Total Hip Arthroplasty.	Adv Orthop. 2016;2016:8052380. doi: 10.1155/2016/8052380. Epub 2016 Jan 10.	
177	Fujii K	整形診療グループ	The voluntary driven exoskeleton Hybrid Assistive Limb (HAL) for postoperative training of thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament: a case report.	J Spinal Cord Med. 2016 Feb 9:1-7. [Epub ahead of print]	
178	Mammoto T	整形診療グループ	Effects of postoperative administration of celecoxib on pain management in patients after total knee arthroplasty: study protocol for an open-label randomized controlled trial.	Trials. 2016 Jan 23;17:45. doi: 10.1186/s13063-015-1106-2.	
179	Sugaya H	整形診療グループ	Fate of bone marrow mesenchymal stromal cells following autologous transplantation in a rabbit model of osteonecrosis.	Cytotherapy. 2016 Feb;18(2):198-204. doi: 10.1016/j.jcyt.2015.10.016.	
180	Kohyama S	整形診療グループ	Stress fracture of the scaphoid in an elite junior tennis player: a case report and review of the literature.	J Med Case Rep. 2016 Jan 18;10:8. doi: 10.1186/s13256-015-0785-3.	
181	Nakayama K	整形診療グループ	Simultaneous Three-Dimensional Analysis of Cervical Spine Kinematics in the Axial and Sagittal Views during a Simulated Frontal Impact: Differences between Tensed and Relaxed States.	Asian Spine J. 2015 Dec;9(6):876-83. doi: 10.4184/asj.2015.9.6.876. Epub 2015 Dec 8.	
182	Shimizu Y	整形診療グループ	A novel apparatus for active leg exercise improves venous flow in the lower extremity.	J Sports Med Phys Fitness. 2015 Nov 26. [Epub ahead of print]	
183	Makihara T	整形診療グループ	The balance between bone formation and material resorption in unidirectional porous β -tricalcium phosphate implanted in a rabbit tibia	Key Engineering Materials	
184	Kohyama S	整形診療グループ	Stress fracture of the scaphoid in an elite junior tennis player: a case report with literature review	Journal of Medical Case Reports	
185	Ohara T	整形診療グループ	Elderly onset intramedullary epidermoid cyst in the conus medullaris: a case report.	J Med Case Rep	
186	Tsunoda K	整形診療グループ	Sleep status in male wheelchair basketball players of a Japanese national team	Journal of Sleep Disorders & Therapy	
187	Akaogi H	整形診療グループ	CONCENTRATED AUTOLOGOUS BONE MARROW ASPIRATE TRANSPLANTATION FOR CORTICOSTEROID-INDUCED OSTEONECROSIS OF THE FEMORAL HEAD IN SYSTEMIC LUPUS ERYTHEMATOSUS.	Ann Rheum Dis	
188	Nakamura Y	婦人・産科診療グループ	HPV genotyping for triage of women with abnormal cervical cancer screening results: a multicenter prospective study.	Int J Clin Oncol.2015. 20(5):974-81. doi: 10.1007/s10147-015-0789-4.	

189	Nakamura Y	婦人・産科診療グループ	Optimizing biopsy procedures during colposcopy for women with abnormal cervical cancer screening results: a multicenter prospective study.	Int J Clin Oncol. 2015;20(3):579-85. doi: 10.1007/s10147-014-0739-6.
190	Shikama A	婦人・産科診療グループ	Clinicopathologic implications of DNA mismatch repair status in endometrial carcinomas.	Gynecol Oncol. 2016 Feb;140(2):226-33. doi: 10.1016/j.ygyno.2015.11.032. Epub 2015 Nov 28.
191	Satoh T	婦人・産科診療グループ	A non-randomized confirmatory study regarding selection of fertility-sparing surgery for patients with epithelial ovarian cancer: Japan Clinical Oncology Group Study (JCOG1203).	Int J Clin Oncol. 2015 Jun;45(6):595-9. doi: 10.1093/jco/hyv032. Epub 2015 Mar 25.
192	Kitagawa R	婦人・産科診療グループ	Paclitaxel Plus Carboplatin Versus Paclitaxel Plus Cisplatin in Metastatic or Recurrent Cervical Cancer: The Open-Label Randomized Phase III Trial JCOG0505.	J Clin Oncol. 2015 Jul 1;33(19):2129-35. doi: 10.1200/JCO.2014.58.4391. Epub 2015 Mar 2.
193	Onuki M	婦人・産科診療グループ	Posttreatment human papillomavirus testing for residual or recurrent high-grade cervical intraepithelial neoplasia: a pooled analysis.	J Gynecol Oncol. 2016 Jan;27(1):e3. doi: 10.3802/jgo.2016.27.e3. Epub 2015 Oct 8.
194	Tanaka YO	婦人・産科診療グループ	Differentiation of epithelial ovarian cancer subtypes by use of imaging and clinical data: a detailed analysis.	Cancer Imaging. 2016 Feb 12;16:3. doi: 10.1186/s40644-016-0061-9.
195	Tu TC	婦人・産科診療グループ	A Chemokine Receptor, CXCR4, Which Is Regulated by Hypoxia-Inducible Factor 2 α , Is Crucial for Functional Endothelial Progenitor Cells Migration to Ischemic Tissue and Wound Repair.	Stem Cells Dev. 2016 Feb 1;25(3):266-76. doi: 10.1089/scd.2015.0290. Epub 2015 Dec 31.
196	Ohara R	婦人・産科診療グループ	Effect of hyperemesis gravidarum on gestational diabetes mellitus screening.	Int J Gynaecol Obstet. 2016 Feb;132(2):156-8. doi: 10.1016/j.ijgo.2015.06.061. Epub 2015 Nov 2.
197	Nakayama M	耳鼻咽喉科診療グループ	Clinical utility of the modified Glasgow prognostic score in patients with advanced head and neck cancer	Head Neck. 2015 Dec;37(12):1745-9. doi: 10.1002/hed.23823.
198	Tani K	耳鼻咽喉科診療グループ	Hair Cell Loss Induced by Sphingosine and a Sphingosine Kinase Inhibitor in the Rat Cochlea	Neurotoxicity Research January 2016, Volume 29, Issue 1, pp 35-46
199	Fukuda T	麻酔診療グループ	Olanzapine Attenuates Mechanical Allodynia in a Rat Model of Partial Sciatic Nerve Ligation.	Korean J Pain. 2015 Jul;28(3):185-92. doi: 10.3344/kjp.2015.28.3.185. Epub 2015 Jul 1.
200	Miya K	麻酔診療グループ	Efficacy of concomitant use of dexmedetomidine and propofol in tetanus.	Am J Emerg Med. 2015 Dec;33(12):1848.e3-4. doi: 10.1016/j.ajem.2015.04.069. Epub 2015 May 1.
201	Kamiyama J	麻酔診療グループ	Hyperinflation deteriorates arterial oxygenation and lung injury in a rabbit model of ARDS with repeated open endotracheal suctioning.	BMC Anesthesiol. 2015 May 6;15:73. doi: 10.1186/s12871-015-0045-5.
202	Sakuramoto H	麻酔診療グループ	Severity of delirium in the ICU is associated with short term cognitive impairment. A prospective cohort study.	Intensive Crit Care Nurs. 2015 Aug;31(4):250-7. doi: 10.1016/j.iccn.2015.01.001. Epub 2015 May 21.
203	S. Kubota	救急・集中治療診療グループ	Improvement of Walking Ability Using Hybrid Assistive Limb Training in a Patient with Severe Thoracic Myelopathy caused by Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament - A Case Report. J Spine 37: 003.doi:10.4172/2165-7939.S7-003	Journal of Spine
204	S. Jesmin	救急・集中治療診療グループ	Nationwide prevalence, awareness, treatment and control of hypertension among the adult population in Bangladesh.	European Heart Journal,
205	M.A. Rahman	救急・集中治療診療グループ	Assessment of Circulatory Levels of Endothelin-1 in Diabetic Subjects Screened Through a Cross Sectional Study from Rural Women in Bangladesh.	International Journal of Diabetes and Clinical Research
206	Sonobe	救急・集中治療診療グループ	Concomitant Down-Regulation of E11-Erb System and VEGF Angiogenic Signaling in the Frontal Cortex of Endotoxemic Mice: A Heightened Vulnerability to Cerebral Microcirculation in Sepsis.	Journal of Vascular Medicine and Surgery
207	S. Jesmin	救急・集中治療診療グループ	Nationwide Non-Communicable Disease Risk Factors Profile in Bangladesh.	Journal of Hypertension
208	Y. Seki	救急・集中治療診療グループ	Landiolol Hydrochloride Normalizes Diminished Levels of Cardiac Vascular Endothelial Growth Factor (VEGF) Signaling System Components in Lipopolysaccharide-Induced Sepsis Independent of Inflammatory Markers.	Journal of Vascular Medicine and Surgery
209	T. Khatun	救急・集中治療診療グループ	Assessment of Circulatory Endothelin-1 Level among Preand Post-Menopausal Rural Women in Bangladesh: Result from a Population-Based Study.	Annals of Vascular Medicine and Research
210	Y. Yoshino	救急・集中治療診療グループ	Landiolol Hydrochloride Ameliorates Liver Injury in a Rat Sepsis Model by Down Regulating Hepatic TNF- α .	Journal of Vascular Medicine and Surgery
211	S. Jesmin	救急・集中治療診療グループ	Assessment of Hypertension and the Associated Risk Factors in Postmenopausal Rural Women in Bangladesh: A Study from Basic Epidemiology to Biomarker Assessment.	Journal of Hypertension
212	M.A. Rahman	救急・集中治療診療グループ	Disruption of components of VEGF angiogenic signaling system in metabolic syndrome: Findings from a study conducted in rural Bangladeshi women.	European Heart Journal
213	Takada K	放射線腫瘍診療グループ	Whole-body dose evaluation with an adaptive treatment planning system for boron neutron capture therapy.	Radiat Prot Dosimetry. 2015 Dec;167(4):584-90. doi: 10.1093/rpd/ncu357. Epub 2014 Dec 16.
214	Gerechuluun A	放射線腫瘍診療グループ	The major DNA repair pathway after both proton and carbon-ion radiation is NHEJ, but the HR pathway is more relevant in carbon ions.	Radiat Res. 2015 Mar;183(3):345-56. doi: 10.1667/RR13904.1. Epub 2015 Mar 4.
215	Murofushi KN	放射線腫瘍診療グループ	Radiation-induced bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) syndrome in breast cancer patients is associated with age.	Radiat Oncol. 2015 Apr 26;10:103. doi: 10.1186/s13014-015-0393-9.
216	Saito T	放射線腫瘍診療グループ	Proton beam therapy for locally advanced and unresectable (T4bN0M0) squamous cell carcinoma of the ethmoid sinus: A report of seven cases and a literature review.	Oncol Lett. 2015 Jul;10(1):201-205. Epub 2015 May 15.
217	Fukumitsu N	放射線腫瘍診療グループ	Proton beam therapy for metastatic liver tumors.	Radiother Oncol. 2015 Nov;117(2):322-7. doi: 10.1016/j.radonc.2015.09.011. Epub 2015 Sep 15.
218	Ishikawa H	放射線腫瘍診療グループ	Carbon-ion Radiotherapy for Prostate Cancer: Analysis of Morbidities and Change in Health-related Quality of Life.	Anticancer Res. 2015 Oct;35(10):5559-66.
219	Kumada Hiroaki	放射線腫瘍診療グループ	Development of a New Monte-Carlo Based Treatment Planning System for BNCT	Proceedings of the Annual Meeting of the Japan Radiation Research Society

220	Aihara Teruhito	放射線腫瘍診療グループ	Overview of the Re-start of BNCT Clinical Studies at the University of Tsukuba	Proceedings of the Annual Meeting of the Japan Radiation Research Society	
221	Sakurai Hideyuki	放射線腫瘍診療グループ	Proton Beam Therapy in Japan	Proceedings of the Annual Meeting of the Japan Radiation Research Society	
222	Murofushi Keiko	放射線腫瘍診療グループ	Clinical Outcome of Interstitial Brachytherapy for Locally Recurrent Gynecologic Cancer Previously Treated By Radiotherapy	Proceedings of the Annual Meeting of the Japan Radiation Research Society	
223	Ishikawa Hitoshi	放射線腫瘍診療グループ	Proton Beam Therapy	Journal of Japan Radiological Society	
224	Aihara Teruhito	放射線腫瘍診療グループ	Boron-neutron Capture Therapy for Newly Diagnosed Head and Neck Cancer in Initial Treatment	Proceedings of the Annual Meeting of the Japan Radiation Research Society	
225	Makishima Hirokazu	放射線腫瘍診療グループ	A Retrospective Review of Late Adverse Events in Proton Beam Therapy for Prostate Cancer	Proceedings of the Annual Meeting of the Japan Radiation Research Society	
226	Mizumoto Masashi	放射線腫瘍診療グループ	Diversified Treatment Strategy for Malignant Brain Tumors Proton Beam Therapy for Malignant Brain Tumor	Japanese Journal of Radiology	
227	Matsumoto Yoshitaka	放射線腫瘍診療グループ	The Usefulness of Heavy-ion Beam to the Radioresistance and the Metastatic Potential Enhanced by Cyclic Hypoxia Condition	Proceedings of the Annual Meeting of the Japan Radiation Research Society	
228	Horiguchi H	放射線腫瘍診療グループ	Estimation of relative biological effectiveness for boron neutron capture therapy using the PHITS code coupled with a microdosimetric kinetic model.	J Radiat Res. 2015 Mar;56(2):382-90. doi: 10.1093/jr/rru109. Epub 2014 Nov 26.	
229	Akutsu H	放射線診断・IVR診療グループ	Movable intraoperative magnetic resonance imaging incorporating a seismic system.	Clin Neurol Neurosurg 2015;135:57-61. doi: 10.1016/j.clineuro.2015.05.003.	
230	Konishi T	放射線診断・IVR診療グループ	Spontaneous hemoperitoneum in pregnancy treated with transarterial embolization on the uterine artery.	Cardiovasc Intervent Radiol 2015;[Epub ahead of print] doi: 10.1007/s00270-015-1137-9.	
231	Hoshiai S	放射線診断・IVR診療グループ	Reduction en masse of inguinal hernia: MDCT findings of two cases.	Hernia. 2015 ;19(6):999-1003. 2015;[Epub ahead of print]doi: 10.1007/s10029-014-1217-9.	
232	Uchikawa Y	放射線診断・IVR診療グループ	Double Coaxial Microcatheter Technique for Clue Embolization of Renal Arteriovenous Malformations.	Cardiovasc Intervent Radiol 2015;[Epub ahead of print] doi: 10.1007/s00270-015-1188-y.	
233	Hoshi T	放射線診断・IVR診療グループ	Coronary high-intensity plaque on T1-weighted magnetic resonance imaging and its association with myocardial injury after percutaneous coronary intervention.	Eur Heart J 2015;36(29):1913-1922.	
234	Saida T	放射線診断・IVR診療グループ	Revised FIGO staging system for cancer of the ovary, fallopian tube, and peritoneum: important implications for radiologists.	Jap J Radiol 2015;1-8. doi: 10.1007/s11604-015-0513-3.	
235	Tanaka Y	放射線診断・IVR診療グループ	Uterine cervical cancer volumetry using T2- and diffusion-weighted MR images in patients treated by primary surgery and neoadjuvant chemotherapy.	Acta Radiol 2015;[Epub ahead of print]doi: 10.1177/0284185115579077.	
236	Tanaka Y	放射線診断・IVR診療グループ	A Metastatic Ovarian Tumor Mimicking Pregnancy Luteoma Found during Puerperium.	Magn Reson Med Sci 2015;[Epub ahead of print] doi: 10.2463/mrms.ct.2015-0034	
237	Terasawa, Hiroko	放射線診断・IVR診療グループ	GUIDING AUDITORY ATTENTION ONTO THE SUBTLE COMPONENTS IN ELECTROCARDIOGRAPHY SONIFICATION	Proceedings of International Conference on Auditory Display	
238	Saida T	放射線診断・IVR診療グループ	Steady-State Free-Precession Sequence for Differentiating Bronchogenic Carcinoma from Adjacent Atelectasis doi:10.4172/2167-7964.1000214	OMICS Journal of Radiology	
239	Makishima H	放射線診断・IVR診療グループ	Comparison of adverse effects of proton and X-ray chemoradiotherapy analysis for esophageal cancer using an adaptive dose-volume histogram	J Radiat Res. 2015 May;56(3):568-76. doi: 10.1093/jr/rrv001. Epub 2015 Mar 9.	
240	Makishima H	放射線診断・IVR診療グループ	Therapeutic effect of hybrid training of voluntary and electrical muscle contractions in middle-aged obese women with nonalcoholic fatty liver disease: a pilot trial.	Ther Clin Risk Manag. 2015 Mar 4;11:371-80. doi: 10.2147/TCRM.S75109. eCollection 2015.	
241	Fukumitsu N	放射線診断・IVR診療グループ	Prediction error and required internal margin provided for irregular respiratory movements: a phantom study.	Jpn J Radiol. 2015 Jun;33(6):303-10. doi: 10.1007/s11604-015-0418-1. Epub 2015 Apr 16.	
242	Kumada H	放射線診断・IVR診療グループ	Development of beryllium-based neutron target system with three-layer structure for accelerator-based neutron source for boron neutron capture therapy.	Appl Radiat Isot. 2015 Dec;106:78-83. doi: 10.1016/j.apradiso.2015.07.033. Epub 2015 Jul 28.	
243	Aihara T	放射線診断・IVR診療グループ	Fatal carotid blowout syndrome after BNCT for head and neck cancers.	Appl Radiat Isot. 2015 Dec;106:202-6. doi: 10.1016/j.apradiso.2015.08.007. Epub 2015 Aug 12.	
244	Kumada H	放射線診断・IVR診療グループ	Verification of nuclear data for the Tsukuba plan, a newly developed treatment planning system for boron neutron capture therapy.	Appl Radiat Isot. 2015 Dec;106:111-5. doi: 10.1016/j.apradiso.2015.08.032. Epub 2015 Sep 2.	
245	Hamano J	総合診療グループ	Validation of the Simplified Palliative Prognostic Index Using a Single Item from the Communication Capacity Scale.	J Pain Symptom Manage. 2015;50(4):542-547. doi:10.1016/j.jpainsymman.2015.04.021	
246	Hamano J	総合診療グループ	Surprise Questions for Survival Prediction in Patients With Advanced Cancer: A Multicenter Prospective Cohort Study.	Oncologist. 2015;20(7):839-44. doi: 10.1634/theoncologist.2015-0015.	
247	Hamano J	総合診療グループ	Multicenter cohort study on the survival time of cancer patients dying at home or in a hospital: Does place matter?	Cancer. 2016;122(9):1453-1460. doi: 10.1002/cncr.29844.	
248	Oishi A	総合診療グループ	Good deaths for all in Japan: the potential role of primary palliative care. Eur J Palliat CARE. 2015;22(5):236-238.	EUROPEAN JOURNAL OF PALLIATIVE CARE	
249	Shiba-Ishii A	病理診断診療グループ	Stratifin accelerates progression of lung adenocarcinoma at an early stage.	Mol Cancer. 2015.14:142. doi: 10.1186/s12943-015-0414-1.	
250	Itoguchi N	病理診断診療グループ	Immunocytochemical staining for stratifin and OCIAD2 in bronchial washing specimens increases sensitivity for diagnosis of lung cancer.	Cytopathology. 2015.6(6) :354-61. doi:10.1111/cyt.12220.	
251	Nakayama J	遺伝診療グループ	Monozygotic twins with de novo ZIC2 gene mutations discordant for the type of holoprosencephaly.	Neurology 2016 Mar 9 doi: 10.1212/wnl.0000000000002567. Epub 2016/03/11	

252	Suzuki R	遺伝診療グループ	Influence of SLC6A1 polymorphism on maintenance therapy for childhood leukemia.	Pediatr Int 2015 Aug 57;4:572-7. doi: 10.1111/ped.12682. Epub 2015/05/06	
253	Niizuma K	遺伝診療グループ	Identification and Characterization of CD300H, a New Member of the Human CD300 Immunoreceptor Family.	J Biol Chem 2015 Sep 4 290;36:22298-308. doi: 10.1074/jbc.M115.643361. Epub 2015/07/30	
254	Kanemaru K	遺伝診療グループ	Tie2 Signaling Enhances Mast Cell Progenitor Adhesion to Vascular Cell Adhesion Molecule-1 (VCAM-1) through $\alpha 4 \beta 1$ Integrin.	PLoS One 2015 10;12:e0144436. doi: 10.1371/journal.pone.0144436. Epub 2015/12/15	
255	Sekine I,	腫瘍内科診療グループ	Feasibility study of chemoradiotherapy followed by amrubicin and cisplatin for limited-disease small cell lung cancer.	Cancer Sci. 2016 Mar;107(3):315-9. doi: 10.1111/cas.12875. Epub 2016 Feb 19.	
256	Doki K	薬剤部	Serum flecainide S/R ratio reflects the CYP2D6 genotype and changes in CYP2D6 activity.	Drug Metab Pharmacokinet. 2015 Aug;30(4):257-62. doi: 10.1016/j.dmpk.2015.04.001. Epub 2015 Apr 11.	
257	Nakata Y	T-CReDO	Current review of intervention studies on obesity and the role of physical activity in weight control.	Journal of Physical Fitness and Sports Medicine	
				合計257件	

	雑誌名	題名	著者	所属部署
1	Mebio32(7)38-47	【循環器疾患のtrends & topics 2015】心房細動治療の到達点	黒木 健志	循環器(内)診療グループ
2	循環器内科78(2)160-164	【心不全に対する多面的治療戦略-基礎から臨床へ】心臓再同期療法による心不全治療	町野 毅	循環器(内)診療グループ
3	成人病と生活習慣病46(3)364-369	【腎機能を悪化させない日常診療】心疾患における腎機能のみかたと対策	山本 昌良	循環器(内)診療グループ
4	薬局7(4)824-844	【病気とくすのび2016 基礎と実践Expert's Guide】循環器系・泌尿器系・生殖器系の病気とくすのび 循環器系疾患 不整脈	黒木 健志	循環器(内)診療グループ
5	循環器専門医23(2)223-230	3次元・4次元・融合イメージングの臨床応用 急性心筋梗塞のMDCTにおける遅延造影像の意義	渡部 浩明	循環器(内)診療グループ
6	日本心臓病学会学術集会抄録63回 791	ST上昇型心筋梗塞急性期における4次元スベクトルラッキング法によるMicrovascular obstructionの予測と左室リモデリングとの関連	菅野 昭憲	循環器(内)診療グループ
7	体力科学64(6)581	アスリートにおける安静時右室縦軸方向の機能は運動耐容能に影響を及ぼす	野上 佳恵	循環器(内)診療グループ
8	日本心臓病学会学術集会抄録63回 434	カテーテルアブレーションの現状と展望 二次性心筋症(ARVC/心サルコイドシス)に合併した心室頻拍に対するカテーテルアブレーション	関口 幸夫	循環器(内)診療グループ
9	日本心臓病学会学術集会抄録63回 921	ドブラ法を用いた腎内血行動態評価の心不全における臨床的意義について	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ
10	日本心臓病学会学術集会抄録63回 295	マルチモダリティで心臓を診る 心エコーで虚を診る	石津 智子	循環器(内)診療グループ
11	呼吸と循環63(8)S19	右室機能を考えなおす 右室拡張機能の重要性とその診断法	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ
12	茨城循環器研究会雑誌22,47-51	冠動脈性狭心症の発症に子宮肉腫に対するホルモン療法の関与が疑われた一例	津由 保彰	循環器(内)診療グループ
13	日本心臓病学会学術集会抄録63回 21	経皮的冠動脈インターベンション後のT1強調MRI上の冠動脈高強度プラークとその心筋損傷との関連性(Coronary High-Intensity Plaque on T1-weighted Magnetic Resonance Imaging and Its Association with Myocardial Injury after Percutaneous Coronary Intervention)	星 智也	循環器(内)診療グループ
14	臨床心臓電気生理 38, 143-152, 2015	減衰伝導・通常伝導・ATP感受性をもつ右中隔副左副伝導路の診断に、選択的His束捕捉を含む例His束ペースングが有用であった1例	小川 孝二郎	循環器(内)診療グループ
15	日本心臓病学会学術集会抄録63回 1273	収縮期僧帽弁輪機能は動脈硬化因子と関連し、左房リザーバー機能を規定する	町野 智子	循環器(内)診療グループ
16	日本生体磁気学会誌28(1)32-33	心磁図の臨床応用最前線 成人心磁図のルーチン検査	稲葉 武	循環器(内)診療グループ
17	日本心臓病学会学術集会抄録63回 366	心臓の同期性を診る 心エコーによる同期不全の評価と最適化の展望	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ
18	心電図36(1) S-1-33	心房細動に対するカテーテルアブレーションによる肺静脈隔離術の、周術期評価における心磁図の有用性を探る	小川 孝二郎	循環器(内)診療グループ
19	滋賀医学38,72	心房細動に対する新たな考え方	青沼 和隆	循環器(内)診療グループ
20	日本生体磁気学会誌28(1)66-67	心房細動の肺静脈隔離術後評価における心磁図の有用性	小川 孝二郎	循環器(内)診療グループ
21	日本心臓病学会学術集会抄録63回 700	新しい右室3次元エコーベクトルラッキング法による右室収縮率の計測精度	石津 智子	循環器(内)診療グループ
22	循環器専門医24(1)75-80	全身疾患としての心不全 心不全におけるドブラ法を用いた腎臓内血行動態解析の臨床的有用性	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ
23	循環器病ガイドシリーズ(2189-1958)2015巻循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン 3-54	日本循環器学会/日本TDM学会合同ガイドライン(2013-2014年度合同研究班報告) 2015年版 循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン	青沼 和隆	循環器(内)診療グループ
24	循環器病ガイドシリーズ2015巻循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン55-89	日本循環器学会/日本TDM学会合同ガイドライン(2013-2014年度合同研究班報告)【ダイジェスト版】2015年版 循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン	青沼 和隆	循環器(内)診療グループ
25	日本心臓病学会学術集会抄録63回 56	良好な転帰をえた高度肥満を伴う若年心不全の一例	本田 海也	循環器(内)診療グループ
26	日本医事新報社 4745巻, 58頁	週刊日本医事新報 質疑応答 Pro/Con 手術部位感染症の予防対策	徳永千穂	循環器(外)診療グループ
27	日本小児循環器学会雑誌31(1-2) 68-69	小児における術後悪性高熱症について	徳永千穂	循環器(外)診療グループ
28	日本消化器がん検診学会雑誌53巻4号463-470	「胃がんリスク評価のABC分類」導入自治体の現状調査	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ
29	臨床消化器内科30巻13号1669-1674	【カプセル内視鏡の現状と最新動向】医療過疎地域における遠隔ネットワークの運用	金子 剛	消化器(内)診療グループ
30	Progress in Medicine35巻9号1311-1315	【カリウムイオン競合型アンチドブロッカー(ボ/プラザン)の基礎と臨床】ボ/プラザンの効果 既存の酸分泌抑制薬は不要か? NSAIDs投与時における胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制	溝上 裕士	消化器(内)診療グループ
31	内科116巻4号657-659	【炎症性腸疾患-ファーストタッチから長期マネジメントまで】漢方薬,生薬	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ
32	日本臨床 73(7) 1123-1128	【酸関連疾患-最新の診断・治療動向】酸関連疾患の病因・病態・検査・診断・治療 急性胃粘膜病変と胃酸による酸ストレス(解説/特集)	松井裕史	消化器(内)診療グループ
33	Medicina 52(10)1727-1729	【内科プライマリケアのための消化器診療Update】小腸・大腸疾患 薬剤性小腸偽癌	金子 剛	消化器(内)診療グループ
34	薬局 (0044-0035)67巻4号 Page1253-1255(2016.03)	【病気とくすのび2016 基礎と実践Expert's Guide】呼吸器系・消化器系の病気とくすのび 消化器系疾患 胆管炎,胆嚢炎	石毛 和紀	消化器(内)診療グループ
35	薬局 (0044-0035)67巻4号 Page1251-1252(2016.03)	【病気とくすのび2016 基礎と実践Expert's Guide】呼吸器系・消化器系の病気とくすのび 消化器系疾患 胆石症	石毛 和紀	消化器(内)診療グループ
36	がん分子標的治療 13(2), 124-126, 2015	CALGB/SWOG 80405試験を読み解く	山田武史	消化器(内)診療グループ
37	がん分子標的治療 13(3), 124-126	Learn more from previous clinical trial CALGB/SWOG 08405試験を読み解く	山田武史	消化器(内)診療グループ
38	Medicina 52(7)1201-1204	REVIEW & PREVIEW 薬物性消化管偽癌	溝上 裕士	消化器(内)診療グループ
39	日本病院薬剤師会雑誌	シメプレリナトリウムカプセル	安部井誠人	消化器(内)診療グループ
40	日本医事新報 (0385-9215)4757 63	ランニング時の腹部痛機序と対処法, 質疑応答・臨床一般	松井裕史	消化器(内)診療グループ
41	医学のあゆみ256巻8号919-923	医学教育の現在 現状と課題(Vol.5) 診療参加型実習と学外臨床実習	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ
42	臨床消化器内科/30/13/1669-1674	医療過疎地域における遠隔ネットワークの運用	金子 剛	消化器(内)診療グループ
43	歯界展望126巻4号798-805	開業歯科医のための全身医学UPDATE(第4回) 脳神経疾患(脳血管障害, 認知症など)	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ
44	歯界展望126巻5号1052-1057	開業歯科医のための全身医学UPDATE(第5回) 消化器疾患 成人に多い胃炎など	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ
45	歯界展望126巻6号1268-1274	開業歯科医のための全身医学UPDATE(第6回(最終回)) 消化器疾患 肝炎を中心に	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ
46	G.I. Research 23(4) 88-89	活性酸素による鉄(ヘム,非ヘム)のがん細胞特異的吸収抑制	伊藤 紘	消化器(内)診療グループ
47	たんじょうさん14(2) 24	最新のガイドラインを学ぶ 消化性潰瘍診療ガイドライン	溝上 裕士	消化器(内)診療グループ
48	消化器内視鏡 (0915-3217)27巻6号 Page1053-1055(2015.06)	消化器内視鏡の教育・トレーニング 若手育成のための地域密着型・小規模内視鏡ライブセミナーの効果	池澤 和人	消化器(内)診療グループ
49	Progress of Digestive Endoscopy86巻1号87-89	大腸憩室出血に対する留置スネアによる結紮止血法	奈良坂 俊明	消化器(内)診療グループ
50	Progress of Digestive Endoscopy 86巻1号 Page118-119,4	超音波内視鏡が腸管の同定に有用であった後縦膈嚢の1例	遠藤 壮登	消化器(内)診療グループ
51	日本レーザー医学会誌/5/4/468-474	超高齢社会におけるレーザー治療の意義 高齢者に対する消化器領域の光線力学療法	金子 剛	消化器(内)診療グループ
52	潰瘍 Ulcer Research 42(1) 48-50 2015年5月	低線量放射線の長期投与がマウス大腸化学発がんおよび影響	谷中 昭典	消化器(内)診療グループ
53	第69回日本食道学会学術集会(Page85)	Nearby T4 胸部食道癌に対する術前化学放射線療法の功罪	大河内 信弘	消化器(内)診療グループ
54	癌と化学療法(0385-0684)42巻8号 Page985-987(2015.08)	Gemcitabine+Paclitaxel療法が奏功した乳癌術後胃結腸転移の1例	渡辺 基信	消化器(外)診療グループ
55	看護技術(0449-752X)61巻4号 Page379-380(2015.04)	Q&A X線編 上行結腸がん	近藤 匡	消化器(外)診療グループ

56	看護技術(0449-752X)61巻7号 Page742-743(2015.06)	Q&A X線編 便秘	近藤 匡	消化器(外)診療グループ
57	看護技術(0449-752X)61巻4号 Page377-378(2015.04)	Q&A エコー編 肝硬変	近藤 匡	消化器(外)診療グループ
58	看護技術(0449-752X)61巻7号 Page740-741(2015.06)	Q&A エコー編 急性虫垂炎	近藤 匡	消化器(外)診療グループ
59	看護技術(0449-752X)61巻6号 Page646-647(2015.05)	Q&A X線編 右閉鎖孔ヘルニア	近藤 匡	消化器(外)診療グループ
60	日本消化器外科学会雑誌 48(5) 407-413	胃癌がS状結腸癌の所属リンパ節にまで転移した胃癌とS状結腸癌の重複癌の1例	大原 佑介	消化器(外)診療グループ
61	JSCAS2013 15(2) 140-141	医工産学連携による「肝変形を可能とした次世代型3D-CG肝臓手術シミュレーションシステム」開発	大城 幸雄	消化器(外)診療グループ
62	日本ヘルニア学会 2(1) 6-11	茨城県における成人鼠径ヘルニア手術の現状と問題点 アンケート調査より	田村 孝史	消化器(外)診療グループ
63	日本ヘルニア学会 2(2)	陰嚢内に下降した巨大Spigelヘルニアの1例	田村 孝史	消化器(外)診療グループ
64	臨床外科 71(3) 343-349	映像と自己評価シートを用いた患者の自発的な経過早期離床を目指す患者教育の効果	大原 佑介	消化器(外)診療グループ
65	肝臓 71(6) 1339-1345	肝移植後のE型肝炎ウイルス感染	稲垣 勇紀	消化器(外)診療グループ
66	日本消化器外科学会雑誌 48(4) 321-327	肝性脳症で発症し、栄養管理と腸外分泌酵素補充により改善を得た膵頭十二指腸切除術後非アルコール性脂肪性肝疾患の1例	稲垣 勇紀	消化器(外)診療グループ
67	癌と化学療法 43(1) 115-119	術前S-1単独療法で組織学的Complete Responseが得られた後期高齢者進行胃癌の1例	鋤野 明	消化器(外)診療グループ
68	日臨外会誌 76(2) 338-327	術前補助療法後に腹腔鏡下ISRを施行した直腸GISTの1例	下村 治	消化器(外)診療グループ
69	日臨外会誌 76(10) 2471-2475	腹腔鏡下虫垂切除術を施行した後腹膜腫瘍を伴う虫垂嚢室穿孔の1例	北口 大地	消化器(外)診療グループ
70	アレルギーの臨床 (0285-6379)36巻1号 Page52-56	ウイルス・細菌感染と喘息に寄せる ウイルス感染による喘息増悪のメカニズム Th17サイトカインの関与	川口 未夫	呼吸器(内)診療グループ
71	アレルギーの臨床 (0285-6379)35巻6号 Page574-578	「長引く咳への対応～成人、小児～」に寄せる 重症喘息におけるIL-17Fの役割	川口 未夫	呼吸器(内)診療グループ
72	アレルギー-免疫 (1344-6932)22巻6号 Page802-807	【アレルギー疾患のフェノタイプとエンドタイプ】アトピー体質とフェノタイプ・エンドタイプ	津澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
73	呼吸器内科 (1884-2887)29巻2号 Page150-154	【咳嗽の実地診療Up-to-date】高齢者における慢性咳嗽 診断と治療	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
74	Respiratory Medical Research (2187-8560)4巻1号 Page21-25	【呼吸器疾患における遺伝子研究の最前線】COPD治療薬におけるファーマコゲノミクス	津澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
75	呼吸と循環 (0452-3458)64巻2号 Page132-136	【呼吸器疾患における慢性炎症を考える】難治性気道疾患のフェノタイプ/エンドタイプ	津澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
76	Respiratory Medical Research (2187-8560)3巻3号 Page158-161	【呼吸器疾患のエビデンス-最新の知見-】喘息とエビデンス	津澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
77	呼吸器ケア (1347-7285)13巻10号 Page1006-1012	【秋・冬が本番!「ストップ肺炎」予防とケアの15 POINT】(Theme 1)まずはガイドラインで知る「ストップ肺炎」のSPOINT	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
78	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (0914-3491)87巻10号 Page770-775	【長引く咳を診る】成人の咳嗽の鑑別	津澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
79	アレルギーの臨床 (0285-6379)35巻13号 Page1243-1245	【喘息の最新検査とバイオマーカー】バイオマーカーとしての遺伝子情報	津澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
80	日本呼吸器学会誌 (2186-5876)4巻6号 Page492	COPDの治療ターゲットとしての身体「非」活動性	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
81	看護技術(0449-752X)61巻14号 Page1508-1509(2015.12)	Q&A X線編 気胸	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
82	看護技術(0449-752X)61巻8号 Page838-839(2015.07)	Q&A X線編 胸水(結核性胸膜炎-胸水貯留)	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
83	看護技術(0449-752X)61巻11号 Page1126-1127(2015.10)	Q&A X線編 好酸球性肺炎	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
84	看護技術(0449-752X)61巻9号 Page934-935(2015.08)	Q&A X線編 肺がん(肺がん-喫煙)	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
85	看護技術(0449-752X)61巻13号 Page1412-1413(2015.11)	Q&A X線編 肺結核-空洞	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
86	看護技術(0449-752X)61巻10号 Page1030-1031(2015.09)	Q&A X線編 非結核性抗酸菌症	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
87	燕下医学 (2186-3199)4巻2号 Page141-144	メディカルスタッフのための疾患講座 慢性呼吸器疾患と燕下障害	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
88	Journal of Clinical Rehabilitation (0918-5259)24巻6号 Page608-612	リハビリテーション病棟で求められる薬物療法と医学的管理 誤嚥性肺炎の治療と予防	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
89	日本老年医学会雑誌 (0300-9173)52巻4号 Page421-424	悪性心臓炎による心タンポナーデ発症後、シスプラチン、ベレレキド併用化学療法により改善した肺腺癌の1例	吉田 和史	呼吸器(内)診療グループ
90	日本老年医学会雑誌 (0300-9173)52巻3号 Page278-284	急性呼吸不全を示し、急性好酸性肺炎との鑑別を要した高齢者Asthma-COPD overlap syndrome(ACOS)と考えられた1例	鈴木 宏清	呼吸器(内)診療グループ
91	Annual Review呼吸器 2016巻 Page66-71	疾患の病因と病態 難治性気道疾患のフェノタイプとエンドタイプ(解説)	津澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
92	Modern Physician (0913-7963)35巻4号 Page555	診療の秘訣 “無症状”の慢性閉塞性肺疾患(COPD)の早期診断アプローチ	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
93	日本気管食道学会会報 (0029-0645)66巻2号 Page78-80	多科協働による嚥下障害診療 各科の役割と限界 呼吸器内科の立場から(誤嚥性肺炎の診断と対応について)	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
94	医学のあゆみ 252(12): 1240-1241	転写因子T-betによるTh1/Th17バランス制御とMAC感染症	松山 政史	呼吸器(内)診療グループ
95	日本呼吸器学会誌 (2186-5876)4巻4号 Page340	慢性咳嗽と睡眠時無呼吸をつなぐ胃食道逆流症	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
96	別冊日本臨床 新領域症候群シリーズ No. 35 免疫症候群(第2版) 172-175	喘息COPDオーバーラップ症候群(ACOS)	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ
97	呼吸 34: 312-324	喘息とCOPDにおける遺伝子変異マウスを用いたトランスレーショナルリサーチ	森島 祐子	呼吸器(内)診療グループ
98	Journal of Clinical Rehabilitation 24(10):997-1004	【リハビリテーションで若返る慢性腎臓病(CKD)患者】CKD患者のリハビリテーションの地域医療連携	山崎 邦弘	腎臓内科(内)診療グループ
99	内科 115(6):1010-1012	【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】(第3章)腎臓 急速進行性糸球体腎炎	日井 丈一	腎臓内科(内)診療グループ
100	内科 115(6):1042	【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】(第3章)腎臓 診断メモ 急性間質性腎炎	日井 丈一	腎臓内科(内)診療グループ
101	腎と透析 79(4):547-555	【尿と血液からわかる腎臓病】疫学 腎臓病の血液異常の疫学	斎藤 知栄	腎臓内科(内)診療グループ
102	リウマチ科 51(6):610-615	ANCA関連血管炎(AAV) AVVの腎病変	日井 丈一	腎臓内科(内)診療グループ
103	腎臓内科・泌尿器科 16(5):595-600	ANCA関連血管炎と血液浄化	日井 丈一	腎臓内科(内)診療グループ
104	日本医事新報 No.4780 2015.12.5_p53	ループス腎炎の治療に追加薬剤:MMF【投与中は消化器症状を含めたCMV感染症に注意】	永井 恵	腎臓内科(内)診療グループ
105	日本医事新報 No.4791 2月3週号 p.50	わが国の慢性腎臓病の原因疾患と末期慢性腎不全患者数	山縣 邦弘	腎臓内科(内)診療グループ
106	日本透析医学会雑誌 30(3):561-566	茨城県支部だより	山縣 邦弘	腎臓内科(内)診療グループ
107	日本医事新報 No.4788 1月5週号 p.56	急速進行性糸球体腎炎(RPGN)の生命予後の改善と透析導入の増加	山縣 邦弘	腎臓内科(内)診療グループ
108	日本医事新報 No.4794 3月2週号 p.46	健康日本21のデータヘルス計画と慢性腎臓病(CKD)【CKDは高血圧や糖尿病よりも、強力なCVDのリスクファクター】	山縣 邦弘	腎臓内科(内)診療グループ
109	内科 116(1):18	検査異常	山縣 邦弘	腎臓内科(内)診療グループ
110	腎臓内科・泌尿器科 2(2):150-158	腎臓とエネルギー代謝 ミトコンドリア病における腎障害	萩原 正大	腎臓内科(内)診療グループ
111	腎と透析 80(2):261-265	腎臓リハビリテーション 【「v」に普及させる】 保存期CKDにおける普及の課題	永井 恵	腎臓内科(内)診療グループ
112	日本腎臓学会誌 57(5):811-818	腎臓病療養指導におけるチーム医療の重要性 -戦略研究PROM-の成果を踏まえて-	斎藤 知栄	腎臓内科(内)診療グループ
113	月刊糖尿病 7(8):10-17	糖尿病・CKD合併高血圧の降圧目標と第一選択薬-古くて新しい問題をどう考えるか- 1. CKDの定義と病態	永井 恵	腎臓内科(内)診療グループ
114	日本透析医学会雑誌 30(2):205-213	腫瘍の新たな医療制度 -腎疾患関連の拡充を中心に-	山崎 邦弘	腎臓内科(内)診療グループ
115	日本内科学会雑誌 104(5):967-974	薬剤代謝異常	日井 丈一	腎臓内科(内)診療グループ
116	泌尿器外科 28巻特別号 111-120	【後期研修医がおさえておきたい泌尿器疾患トラス】疾患 精巣腫瘍	河合 弘二	腎臓内科(外)診療グループ
117	腎と透析 78(6) 926-931	【高齢者の腎臓器疾患】高齢者の泌尿器疾患 精巣腫瘍	河合 弘二	腎臓内科(外)診療グループ

118	臨床泌尿器科 69(4) 189-192	【泌尿器科外来パフェクトガイド 誰にでもすぐに使える】 腫瘍外来(外来化学療法) 去勢抵抗性前立腺癌に対する薬物療法 内分泌療法中に前立腺癌が再燃した患者です	河合 弘二	腎泌尿器(外)診療グループ
119	臨床泌尿器科 69(4) 193-196	【泌尿器科外来パフェクトガイド 誰にでもすぐに使える】 腫瘍外来(外来化学療法) 転移を有する精巣胚細胞腫瘍他臓器に転移を認める精巣胚細胞腫瘍の患者です	河合 弘二	腎泌尿器(外)診療グループ
120	泌尿器外科 28(11) 1783-1789	80歳以上の高齢者に対する適切な筋層浸潤性膀胱癌の治療とは【特集】80 歳以上の高齢者に対する適切な泌尿器診療とは	木村 友和	腎泌尿器(外)診療グループ
121	臨床泌尿器科 70(2) 160-165	BCGの作用機序 質問:BCGの治効果には、菌株や年齢、性差は関係しますか? 初発腫瘍に対する治療方針 特集:ここが知りたい! 筋層非浸潤性膀胱癌—エキスパートが答える日常診療の疑問点	宮崎 淳	腎泌尿器(外)診療グループ
122	癌と化学療法 43(1) 54-58	Genitourinary Tumor 泌尿器系腫瘍 泌尿器系腫瘍 泌尿器系腫瘍2015 III. 膀胱癌における診断と治療—最近のトピックス—	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ
123	癌と化学療法 43(1) 59-63	Genitourinary Tumor 泌尿器系腫瘍 泌尿器系腫瘍2015 IV. 精巣癌診療の最近の進歩	河合 弘二	腎泌尿器(外)診療グループ
124	泌尿器外科 28(10) 1663-1666	茨城県立中央病院救急センターを受診した泌尿器疾患症例の検討	田中 建	腎泌尿器(外)診療グループ
125	泌尿器外科 29(2) 135-140	局所浸潤性膀胱癌に対する動注化学療法を併用した膀胱温存療法 特集 泌尿器系における局所療法の新展開	宮崎 淳	腎泌尿器(外)診療グループ
126	泌尿器外科 28(6) 1041-1047	精巣腫瘍に対する導入化学療法の要点	河合 弘二	腎泌尿器(外)診療グループ
127	日本性機能学会雑誌 30(3) 217-223	男性ホルモン補充療法は不眠を改善するか?—AMS・熊本式調査、SDSの質問項目を抽出したサブ解析—	末富 崇弘	腎泌尿器(外)診療グループ
128	泌尿器科学の最近の進歩 31巻 6-11	筋層浸潤性膀胱癌 膀胱はどこまで温存できるか?	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ
129	泌尿器科紀要 62(2)号 63-67	孤発性の膀胱転移を来した色素性腎細胞腫の1例	新田 聡	腎泌尿器(外)診療グループ
130	泌尿器科紀要 61(12) 515-518	高齢者進行性精巣腫瘍に対するEP療法の経験	志賀 正宜	腎泌尿器(外)診療グループ
131	クニカススタディ 37(1) 7-29	疾患と看護がわかる看護過程 ナーシングプロセス 膀胱がん	宮崎 淳	腎泌尿器(外)診療グループ
132	泌尿器外科 28(6) 1057-1063	精巣腫瘍に対する治療後の長期合併症【精巣腫瘍診療ガイドライン2015年版—改訂のポイント—】	河合 弘二	腎泌尿器(外)診療グループ
133	泌尿器外科 28(5) 989-993	分子標的療法中に胃穿孔を合併した転移性腎細胞腫の1例	辻本 一平	腎泌尿器(外)診療グループ
134	臨床化学 (0370-5633)45巻1号 Page5-11(2016.01)	【動脈硬化症の分子メカニズム】 脂質異常と動脈硬化症	矢作 直也	内分泌(内)診療グループ
135	循環器内科 (1884-2909)78巻5号 Page532-536(2015.11)	肝エネルギー代謝と自律神経系	矢作 直也	内分泌(内)診療グループ
136	文光堂 松本 功/保田晋助(三森経世/桑名正隆)編集 255-256	6年 強度性 大量の心嚢液貯留に対する治療法は? リウマチ・膠原病診療ハイグレード 分子標的/Bio時代のリウマチ・膠原病治療ストラテジー	後藤 大輔	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
137	Modern Physician 35(11):1290-1296	IgG4関連疾患の概要を知る IgG4関連疾患の病因・病態	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
138	リウマチ科 54(4):456-461	IgG4関連疾患の口唇腺液におけるDNAマイクロRNA解析 シェーグレン症候群との異同	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
139	リウマチ科 54(3) 309-313	Systemic autoimmune diseases signature	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
140	炎症と免疫 23(4):59-63	TNF α-誘導蛋白TL1Rの関節炎制御メカニズム	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
141	Key note R-A 3(4): 174-178	T細胞マスター転写因子と関節炎制御	近藤 裕也	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
142	リウマチ科 54(1):48-82	シェーグレン症候群	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
143	炎症と免疫 23(6) 522-529	シェーグレン症候群	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
144	Mebio 32(5):10-19	シェーグレン症候群	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
145	呼吸器内科27(4):282-286	シェーグレン症候群に合併する呼吸器疾患	浅島 弘充	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
146	臨床免疫・アレルギー科 63(6):622-626	自己免疫性関節炎の制御性T細胞による制御	近藤 裕也	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
147	Medical Practice 32(7):1175-1178	日常診療に役立つ最新の知見 シェーグレン症候群とIgG4関連疾患の病態の違い	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
148	日本臨床増刊号 73(8), 117-122	【リンパ腫—最新の研究動向—】リンパ腫の生物学とリンパ腫の発症機序 リンパ腫発症の分子生物学的機序 T細胞リンパ腫	坂田(梅) 麻実子	血液内科診療グループ
149	medicina 52(12), 2115-2119	【外来で診るリンパ腫・骨髄腫—治療または長期共存を目指して—】リンパ腫診療の進歩 診療指針 末梢性T細胞リンパ腫	坂田(梅) 麻実子	血液内科診療グループ
150	月刊レジデント 8(11), 16-22	【血液疾患—症候から診断、治療までの道筋—】 出血傾向の鑑別診断(解説/特集)	錦井 秀和	血液内科診療グループ
151	血液内科 71(5), 570-576	【骨髄異形成症候群(MDS)の病態解析と治療の進歩】MDSの分子病態と分類病態形成と骨髄微小環境	小原 直	血液内科診療グループ
152	日本輸血細胞治療学会誌61(3):427-432	Rh血液型表記に関する問題 本学会関東東甲信越支部アンケート調査結果より	長谷川 雄一	血液内科診療グループ
153	日本造血細胞移植学会雑誌 (2186-5612)4巻4号 Page108-114(2015.10)	一酸化炭素拮抗薬の血色素量測定法の違いがもたらすHCT-CI評価の不安定性	横山 泰久	血液内科診療グループ
154	医学の歩み 253(3), 251-252	血液内科学 血管免疫芽球性T細胞リンパ腫におけるRHOA遺伝子の体細胞変異	横並 輝和	血液内科診療グループ
155	臨床血液56(4):400-405	自家移植後に小腸多発ポリープで再発した多発性骨髄腫	大津 和也	血液内科診療グループ
156	Frontiers in Haemophilia 3(1), 46-47	症例解説 症例③前立腺腫瘍に際して遺伝子組換え活性化型血液凝固第VII因子製剤を使用したインヒビター保有先天性血友病A症例	長谷川 雄一	血液内科診療グループ
157	PNH Frontier 2, 68-71	早期胃癌を合併したPNH症例に対する、周術期におけるエクシマブの一次的な使用	栗田 尚樹	血液内科診療グループ
158	国立大学ハビリテーション療法士学術大会誌 36:83-85	造血幹細胞移植治療がバラン能力に与える影響	湯原 民	血液内科診療グループ
159	臨床血液56(6):651-656	造血器腫瘍におけるTET2のゲートキーパーとしての役割	武藤 秀治	血液内科診療グループ
160	臨床血液56(8):1053-1058	末梢性T細胞リンパ腫におけるエピゲノムおよび代謝経路の遺伝子変異	坂田(梅) 麻実子	血液内科診療グループ
161	診断と治療 (0370-9990)103巻7号 Page935-938	【ここが知りたい認知症診療】Alzheimer病以外の認知症病型 前頭側頭葉変性症	東 晋二	精神神経診療グループ
162	緩和ケア (1349-7138)26巻2号 Page110-112	【せん妄のアドバンスドな知識と実践 緩和ケアのエキスパートに必須のスキル】せん妄に対する抗精神病薬 せん妄に対する抗精神病薬の使い分け	根本 清貴	精神神経診療グループ
163	Dementia Japan (1342-646X)29巻2号 Page158-166	【タウオパシー】タウオパシー病理変化の基礎	新井 哲明	精神神経診療グループ
164	精神科治療学 (0912-1862)30巻10号 Page1289-1294	【治療を進める上での病識、病感⑤】日常生活における苦悩を疾病化する可能性のあるDSM診断と病識	松崎 朝樹	精神神経診療グループ
165	精神医学 (0488-1281)57巻10号 Page833-838	【精神医学と神経学の境界領域—最近のトピックスから】新しい異常蛋白質蓄積症TDP-43 proteinopathy	東 晋二	精神神経診療グループ
166	カレントアブリー (0287-8445)34巻3号 Page220-224	【認知症の早期発見と予防—治療—認知症500万人時代に求められるもの】睡眠薬と認知症	塚田 恵子	精神神経診療グループ
167	老年精神医学雑誌 (0915-6305)27巻1号 Page36-41	【脳変性疾患の臨床神経病理学から精神症状を再考する】前頭側頭葉変性症(FTLD-tau, FTLD-TDP, FTLD-FUS)	東 晋二	精神神経診療グループ
168	CUMPUIS HEAL.TH53(1): 345-347	精神科連院学生の学業転帰について(一般学生と比較しながら)	石井 映美	精神神経診療グループ
169	精神神経学雑誌	精神疾患が大学生の学業転帰に与える影響 保健管理センター診療録を用いた後方視的研究	石井 映美	精神神経診療グループ
170	精神科 (1347-4790)28巻1号 Page1-5	【摂食障害の治療update】 DSM-5における摂食障害の診断の流れ、ポイント	松崎 朝樹	精神神経診療グループ
171	認知神経科学 (1344-4298)17巻2号 Page75	認知神経科学からみたマジックの舞台裏	松崎 朝樹	精神神経診療グループ
172	周産期医学 (0386-9881)45巻9号 Page1237-1239(2015.09)	【周産期救急システム—現状と今後の対応】救急隊員との連携 救急救命士の新生児搬送へのかわりめの実態	宮園 弥生	小児(内)診療グループ
173	パムサジャーナル 28巻1号 Page32-34	【TVP】B型肝炎 小児領域 定期接種化に向けて	酒井 愛子	小児(内)診療グループ
174	周産期医学 (0386-9881)45巻11号 Page1606-1607(2015.11)	【周産期の電話相談—テレフォンtriアージュ—】新生児編 授乳 排便がうまくできないのですが	宮園 弥生	小児(内)診療グループ
175	周産期医学 (0386-9881)45巻11号 Page1608-1609(2015.11)	【周産期の電話相談—テレフォンtriアージュ—】新生児編 授乳 嘔吐が多くて体重が増えない気がするのですが	宮園 弥生	小児(内)診療グループ
176	小児科診療 (0386-9806)78巻12号 Page1829-1836(2015.12)	【小児血液・腫瘍性疾患の診断と治療のトピックス】治療のトピックス 小児がんと腸内菌治療	福島 敬	小児(内)診療グループ
177	小児内科 (0385-6305)47巻増刊 Page103-107(2015.11)	【小児疾患診療のための病態生理2 改訂第6版】新生児疾患 脳室内出血	荒川 大悟	小児(内)診療グループ
178	医学のおゆみ (0039-2359)256巻6号 Page639-646(2016.02)	【不整脈を科学する】突然死を語る—治す—イオンチャネル病における突然死 先天性QT延長症候群 年齢層別にみた臨床像の特徴、リスク因子と突然死の予防	堀米 仁志	小児(内)診療グループ

179	日本臨床別冊免疫症候群III Page222-225(2016.03)	【免疫症候群(第2版)-その他の免疫疾患を含めて-】原発性免疫不全症候群 免疫不全を伴う特徴的な症候群 奇形を伴う胸腺欠損症 CHARGE症候群	小林 千恵	小児(内)診療グループ
180	日本臨床別冊免疫症候群III Page219-221	【免疫症候群(第2版)-その他の免疫疾患を含めて-】原発性免疫不全症候群 免疫不全を伴う特徴的な症候群 奇形を伴う胸腺欠損症 DiGeorge症候群	小林 千恵	小児(内)診療グループ
181	日本臨床別冊免疫症候群III Page226-227(2016.03)	【免疫症候群(第2版)-その他の免疫疾患を含めて-】原発性免疫不全症候群 免疫不全を伴う特徴的な症候群 奇形を伴う胸腺欠損症 ウイングドヘルクス欠損症	小林 千恵	小児(内)診療グループ
182	Medical Practice32巻8号 Page1378-1380(2015.08)	B型肝炎ウィルス定期接種化	酒井 愛子	小児(内)診療グループ
183	医学書院 水口 雅、市橋 光、崎山 弘編集 205-206	果糖代謝異常症。今日の小児治療方針(第16版)	鶴田 知博	小児(内)診療グループ
184	日本周産期・新生児医学雑誌 (1348-964X)51巻4号 Page1190-1193(2015.12)	正期産児気胸と分娩様式の関連性	矢野 恵理	小児(内)診療グループ
185	茨城県立病院医学雑誌 (0912-9952)31巻2号 Page7-12(2015.04)	慢性反復性頭痛を有する当院外来患者の臨床的特徴	田中 竜太	小児(内)診療グループ
186	日本小児血液・がん学会雑誌52巻2号 Page154-159	免疫不全の背景が明らかでないEBV関連リンパ増殖症に対し、リソシマブ単剤投与を行った1男児例	小林 千恵	小児(内)診療グループ
187	日本小児科学会雑誌 120巻2号 Page469	特殊医療技術を利用するための転院を伴う臨床試験の実現可能性について	福島 敬	小児(内)診療グループ
188	小児外科 47(6): 638-642, 2015	SILPECの術中トランプルシューティング	五藤 周	小児(外)診療グループ
189	小児外科 48(1): 16-20, 2016	ω3系脂肪酸製剤にいたるまでのIFALDの治療 - 従来の治療	増本 幸二	小児(外)診療グループ
190	呼吸34(2): 186-191, 2015	稀な肺炎患 先天性横隔膜ヘルニア(解説)	増本 幸二	小児(外)診療グループ
191	小児外科 47: 1169-1172,2015	異所性肝の脱出を伴ったhernia into the umbilical cord	田中 秀明	小児(外)診療グループ
192	小児外科 47(11): 1169-1172, 2015	異所性肝の脱出を伴ったhernia into the umbilical cord.	田中 秀明	小児(外)診療グループ
193	日本小児外科学会雑誌 (0288-609X)51巻7号 Page1198-1204	腫瘍薬全量とhigh dose dexamethasone pulse療法が有効であった神経節芽腫由来Opsoclonus-myoclonus-ataxia症候群の1例	佐々木 理人	小児(外)診療グループ
194	日小外会誌 51(7): 1220-1224, 2015	小児期に施行したFrey 手術後の肺炎を再燃により再手術を施行した1例	藤井 俊輔	小児(外)診療グループ
195	小児外科 48(2): 169-173, 2016	腎外瘻	瓜田 泰久	小児(外)診療グループ
196	小児科診療 78(6): 745-751, 2015	静脈栄養法の適応と実践	増本 幸二	小児(外)診療グループ
197	日本形成外科学会誌 35(6)	T4乳癌術後に対し対側穿通性Supercharged TRAM flap を用いた乳房一次再建(乳房マウンド作製)の検討	西島 暁生	形成診療グループ
198	日本マイクロ会誌 28(3)	外側足底動脈を基とした逆行性内側足底皮弁の2例	佐々木 薫	形成診療グループ
199	日本形成外科学会誌 35(11)	人工物を用いた大きな下乳乳房に対する同時期両側乳癌一次二期再建の1例	西島 暁生	形成診療グループ
200	最新医学 71(3月増刊号):172-178, 2016.	Alzheimer病の臨床試験の現状	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ
201	Medical Practice 32(6):1048-1052, 2015	Binswanger病様白質病変の鑑別診断-神経核内封入体病の1例-	石井 一弘	脳神経(内)診療グループ
202	Brain and Nerve 68(3):252, 2016.	見逃し症例から学ぶ 神経症候の“診”極めかた。	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ
203	書評、医学新聞、3164:6-7, 2016.	見逃し症例から学ぶ神経症候の診極めかた	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ
204	Medical Practice 32(6):891, 2015	今月のテーマ、	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ
205	日本内科学会雑誌2015,104(11):2381-2385.	反復する運動後の筋痛により診断に至った骨格筋型極長鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症の成人例	山本 詞子	脳神経(内)診療グループ
206	Medical Practice 32(6):971-974, 2015	肥厚性硬膜炎	石井 重紀子	脳神経(内)診療グループ
207	第12回日本中子性捕捉療法学会学術大会(Page72)	2014年に BNCT を行った再発頭頸部癌4例の経過報告	松村 明	脳神経(外)診療グループ
208	第33回日本脳腫瘍病理学会ランチョンセミナー「5-ALAによる術中蛍光診断の役割と術中迅速免疫染色による鑑別および悪性度診断」講演集1-3	5-ALAによる術中蛍光診断の役割	石川 栄一	脳神経(外)診療グループ
209	脳卒中の外科 (0914-5508)43巻3号 Page218-222	Non-sinus type房上失状洞部硬膜動脈瘤の治療	中居 康展	脳神経(外)診療グループ
210	第21回多摩微小外科解剖セミナーテキスト、山口竜一編著、杏林大学脳神経外科	Trans-cerebellovedicular fissure approach / Lateral suboccipital approach	松田 真秀	脳神経(外)診療グループ
211	茨城県救急医学会雑誌 38:21-24	県北地域の救急医療の現状と課題-医療資源、環境、超高齢社会-	小松 洋治	脳神経(外)診療グループ
212	ドクターズプラザ7月号 Vol.128: 19	ドイツ人の患者さんから押された背中 一入って来た時よりも、出て行く時に元気になるような診察を。	松村 明	脳神経(外)診療グループ
213	Pharma Medica (0289-5803)34巻3号 Page65-71	一次予防、二次予防の観点からみた脳卒中予防(座談会)	栗田 隆志	脳神経(外)診療グループ
214	茨城県救急医学会雑誌 (0912-2125)38号 Page21-24	茨城県救急医療の現状と課題点 県北地域の救急医療の現状と課題 医療資源、環境、超高齢社会	小松 洋治	脳神経(外)診療グループ
215	脳神経外科速報	画像 フリーソフトウェアによるT1 SPECTとMRIの融合画像 -脳腫瘍SPECT(4)-	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
216	中川隆之編、京都大学内視鏡下鼻内手術解剖実習アドバンスコースガイドブック、京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	海綿静脈洞	阿久津 博義	脳神経(外)診療グループ
217	Neurological Surgery (0301-2603)43巻8号 Page721-726	外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘤に対してヘドログルコイルを用いて選択的経動脈的塞栓術で治療した1例	松村 英明	脳神経(外)診療グループ
218	Phil漢方 (1347-6882)55号 Page22-24	漢方臨床レポート 抑肝散加陳皮半夏の緊張型頭痛に対する臨床効果	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
219	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 01, 104-105	急性期以降にいったん消える脳梗塞	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
220	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 10, 109-110	急性期脳梗塞はどう診断する?	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
221	日本内分科学会雑誌 (0029-0661)91巻Suppl.HPT Page41-42	巨大下垂体腺腫に対する手術治療戦略	原 拓真	脳神経(外)診療グループ
222	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 07, 100-101	見逃してはならないくも膜下出血	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
223	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 03, 100-101	高齢者の頭部外傷は遅れて出血する	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
224	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 05, 108-109	左右歪と石灰化 どこまでが正常なのか	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
225	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 12, 110-111	治療に直結する脳梗塞の病型診断	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
226	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 09, 80-81	出血ではない、白く映る病変	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
227	第29回日本微小脳神経外科解剖研究会講演集、25-26	錐体斜台部腫瘍に対するExtended endonasal endoscopic approach	阿久津 博義	脳神経(外)診療グループ
228	BRAIN 121:10-11	頭蓋底脊索腫	阿久津 博義	脳神経(外)診療グループ
229	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 04, 100-101	頭部CTの正常変異	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
230	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 02, 90-91	頭部外傷にCTは必要か?	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
231	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 11, 93-94	脳梗塞超急性期のEarly CT signとは	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
232	日本農林医学会雑誌 (0468-2513)64巻4号 Page734	脳死下臓器提供を経験して	佐川 義久	脳神経(外)診療グループ
233	日本頭痛学会誌 (1345-6547)42巻1号 Page62-65	脳腫瘍における頭痛の特徴	石川 栄一	脳神経(外)診療グループ
234	医療つづば	脳卒中ガイドライン2015改訂のポイント	鶴田 和太郎	脳神経(外)診療グループ
235	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 06, 108-109	脳内出血の鑑別は汗腺や部位に着目	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
236	いまだ聞けない画像診断の基本 頭部CT編 日経メディカル 08, 92-93	白く映らない脳内出血に注意	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ
237	小児の脳神経 (0387-8023)39巻6号 Page422-427	白血病に対する化学療法後寛解中に発生した多発頭蓋内病変	鶴田 隆夫	脳神経(外)診療グループ
238	東京脳卒中の血管内治療セミナーテキスト: 29-54	文獻レビュー Arteriovenous Malformation	滝川 知司	脳神経(外)診療グループ

239	東京脳卒中の血管内治療セミナーテキスト:55-75	文献レビュー 梗塞動脈塞	鶴田 和太郎	脳神経(外)診療グループ
240	定量的放射線治療(19巻Page91-96)	膠芽腫に対するX線と陽子線による高線量放射線治療後の長期生存例の解析	松村 明	脳神経(外)診療グループ
241	関節外科 35(2):168-179	3Dモデル・3Dプリンターを利用した整形外科手術 整形外科分野への応用 3D実体モデルを用いた術前手術シミュレーションおよび術中ナビゲーション 非定常・高難度骨性手術における有用性	山崎 正志	整形診療グループ
242	Orthopaedics 28(9) 15-20	【い・ゆる】テニス肘・ゴルフ肘の診かた 上腕骨外側・内側上顆炎に対する高分解能MRI	井波 彰	整形診療グループ
243	Orthopaedics 28(9) 67-72	【い・ゆる】テニス肘・ゴルフ肘の診かた 肘外側上顆炎に対する多血小板血漿(PRP)治療	金森 章浩	整形診療グループ
244	日本医師会雑誌 144特別1 S157-S159	【ロコモティブシンドロームのすべて】ロコモティブシンドロームを構成する疾患 脊椎疾患 頸椎間板ヘルニア	山崎 正志	整形診療グループ
245	関節外科 34(10月増刊) 218-237	【最新】整形外科医が知っておきたい薬の使い方 特殊な薬剤 神経・筋疾患に対する薬剤	西浦 康正	整形診療グループ
246	整形外科最小侵襲手術ジャーナル 78:71-77	【手の骨折に対する最小侵襲手術-適応とコツ】 ヒンジ型創外固定器を用いたPIP関節屈曲拘縮に対する関節的授動術	西浦 康正	整形診療グループ
247	Orthopaedics 29(1) 53-58	【手指屈筋腱・伸筋腱損傷治療マニュアル】 MP関節での伸筋腱脱臼の治療	西浦 康正	整形診療グループ
248	別冊整形外科 68:17-23	【整形外科領域における移植医療】 総論 新規人工材料の開発と課題 大腿骨頭壊死症に対する骨頭温存手術 日本における細胞移植医療の現状と課題	吉岡 友和	整形診療グループ
249	関節外科 34(5) 495-500	【整形外科領域における再生医療の最前線】 スポーツ障害疾患に対するPRP治療	金森 章浩	整形診療グループ
250	関節外科 34(5) 507-510	【整形外科領域における再生医療の最前線】 急性骨髄損傷および圧迫性骨髄急性増悪例に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)神経保護療法	國府田 正雄	整形診療グループ
251	関節外科 34(5) 436-442	【整形外科領域における再生医療の最前線】 自家骨髄血移植を利用した整形外科疾患の治療	三島 初	整形診療グループ
252	別冊整形外科 67:206-210	【変形性膝関節症の診断と治療】 今後期待される新しい治療 多血小板血漿 変形性膝関節症に対する多血小板血漿関節内注射治療	吉岡 友和	整形診療グループ
253	整形・災害外科 58(4) 401-408	【頸椎固定法の進歩】 頸椎前方椎弓根鎖子固定術の実態	新野 正明	整形診療グループ
254	Hip Joint 41:651-654	Acetabular center axis(ACA)法によるナビゲーションTHAの初期成績	和田 大志	整形診療グループ
255	Hip Joint 41:977-980	Sliding hip screwが折損した大腿骨転子部骨折の1例	柴尾 洋介	整形診療グループ
256	東日本整形災害外科学会雑誌 27(4):441-445	アキレス腱断裂術後再断裂に対し遊離腓腹筋腸腰弁による再建術を行ったアスリートの1例	奥野 孝祐	整形診療グループ
257	Bone Joint Nerve 5(4) 863-866	これは何でしょう? Q&A 痛風性手関節炎(Gouty wrist arthritis)	西浦 康正	整形診療グループ
258	日本人工関節学会誌 45:607-608	ステム設置前捻角は大腿骨近位髓腔形状に影響される	和田 大志	整形診療グループ
259	日本臨床スポーツ医学会誌 24(1):66-70	ラグビー競技における手指外傷のまとめ 母指指骨の競技レベル別比較	熊谷 洋	整形診療グループ
260	日本人工関節学会誌 45:647-648	安価な開式的空気圧迫装置は静脈血流速度を有意に上昇させない?	篠塚 しのぶ	整形診療グループ
261	臨床整形外科 51(1):65-69	患者満足度アンケートからみる当院における超音波ガイド下腋窩ブロックの実態	熊谷 洋	整形診療グループ
262	臨床整形外科 50(7):687-691	感染性脊椎炎に対する経皮的内視鏡下経椎間孔的治療成績	俣木 健太郎	整形診療グループ
263	関東整形災害外科学会雑誌 46(4):175-181	胸椎硬膜外造影器腫瘍による急性対麻痺の3例	池田 和夫	整形診療グループ
264	整形外科 66(9):937-941	経験と考察 骨粗鬆症性椎体骨折に対するバルーン椎体成形術後1ヵ月以内に生じた隣接椎体骨折の経験	船山 徹	整形診療グループ
265	東日本整形災害外科学会雑誌 27(2):131-135	腰椎発生骨原発悪性リンパ腫の治療経験	河村 知幸	整形診療グループ
266	日本臨床スポーツ医学会誌 23(3), 560-565, 2015	腰部脊柱管狭窄症患者の性別年代別6分間歩行負荷試験	久保田 友二	整形診療グループ
267	日本整形外科学会雑誌 90(1):5-8	再生医療の最先端 サイトカインによる骨髄細胞増殖を用いた骨髄損傷治療	國府田 正雄	整形診療グループ
268	日本手外科学会雑誌 32(3):311-314	治療手技により再びのケナコーム腱鞘内注射の治療成績は異なるか?	田中 利和	整形診療グループ
269	日本手外科学会雑誌 31(6):887-890	舟状骨骨折の至適スクューラー長の検討 長軸挿入と垂直挿入	中谷 卓史	整形診療グループ
270	日本人工関節学会誌 45:143-144	人工股関節全置換術におけるtapered-wedge stemの接触様式の検討	長谷川 隆司	整形診療グループ
271	日本手外科学会雑誌 32(2):72-74	正中神経に対するエラストグラフ評価 用手的圧迫と自動振動装置による圧迫の比較(第1報)	田中 利和	整形診療グループ
272	オルタイムズ(メディカルレビュー社)9(3):3	大腿骨頭壊死症に対する凍自家骨髄血移植術	吉岡 友和	整形診療グループ
273	Hip Joint 41:897-900	大腿骨非定常骨折偽関節の1例	小林 彩香	整形診療グループ
274	日本人工関節学会誌 45:157-158	中心化機構付き骨格打ち込み器を使用したセメントステムの設置	十時 靖和	整形診療グループ
275	Journal of Spine Research 6(7):1119-1122	長範囲Hybrid頸椎前方固定術のACDF椎間孔に使用した自家骨とPEEKケージの差の検討	門田 頌	整形診療グループ
276	日本手外科学会雑誌 31(6):875-878	長母指伸筋腱下断裂に対するtendon callusを利用した再建術の経験	村井 伸司	整形診療グループ
277	日本手外科学会雑誌 32(3):333-336	当院における関節リウマチ患者に対する手外科手術の変遷	井波 彰	整形診療グループ
278	Hip Joint 41:325-328	同じ病院での回復期まで含めた大腿骨転子部骨折の治療実績と問題点	吉沢 知宏	整形診療グループ
279	リハビリテーションスポーツ 34(1):7-10	内反型変形性足関節症に対する外側ストラップ付き足底装具の効果	六崎 裕高	整形診療グループ
280	日本整形外科学会雑誌 89(4) 236-246	難治性脊椎疾患に対する治療 最近の診断・治療の進歩と骨髄再生の臨床試験	山崎 正志	整形診療グループ
281	日本手外科学会雑誌 32(4):374-377	機関手根屈筋平切腱を用いた母指CM関節症に対する関節形成術の工夫と術後成績	神山 翔	整形診療グループ
282	日本白内障学会誌 27(1):19-22, 2015	【白内障基礎研究の最前線】 水晶体はアルツハイマー病の早期診断に利用可能か?	加治 優一	眼科診療グループ
283	産婦人科の実際 (0558-4728)64巻12号 Page1907-1912(2015.11)	頸管妊娠と帝王切開産前胎膜破裂の診療(特集「子宮頸部と胎膜」-妊娠・分娩の生理と病理)	濱田 洋実	婦人・産産科診療グループ
284	関東連合産科婦人科学会誌 (2186-0610)52巻4号 Page561-566(2015.11)	高プロラクチン血症を伴う胎産期心筋症に対し抗プロラクチン療法を施行した1例	佐藤 愛佳	婦人・産産科診療グループ
285	産婦人科の実際 (0558-4728)64巻13号 Page1987-1990(2015.12)	子宮頸癌手術療法の変遷と解決すべき課題	佐藤 豊実	婦人・産産科診療グループ
286	長野県母子衛生学会誌 18/1-4	子宮頸がんHPV 予防と治療の最近の話題	沖 明典	婦人・産産科診療グループ
287	臨床婦人科産科 (0386-9865)69巻9号 Page862-866(2015.09)	上皮性悪性腫瘍に対する妊孕性温存手術	佐藤 豊実	婦人・産産科診療グループ
288	関東連合産科婦人科学会誌 52/4/527-532	悪性転化を伴う成熟嚢胞性奇形腫に対する術後補助療法と予後の検討	佐々木 怜子	婦人・産産科診療グループ
289	周産期医学 (0386-9881)45巻6号 Page790-793(2015.06)	骨盤位経陰分娩:コツと落としの特集【周産期緊急の初期対応:そのポイントとピットフォール 産科編】、周産期医学、45(6)、790-793、2015	小島 真奈	婦人・産産科診療グループ
290	南江堂、東京、39-43、2016	産科婦人科疾患最新の治療2016-2018(吉川史隆、倉智博久、平松祐司編)	濱田 洋実	婦人・産産科診療グループ
291	医学書院、東京、1339-1340、2016	前置胎盤・低置胎盤 今日の治療指針 2016年版(山口 敏、北原光夫監修・福井次夫、高木 誠、小室一成総編集)	濱田 洋実	婦人・産産科診療グループ
292	関東連合産科婦人科学会誌、53(1)、77-81、2016	第一子妊娠中に腹部症状が出現した小児神経芽腫陽性胎児による慢性胎間膜動脈虚血合併妊娠の症例	新 夏樹	婦人・産産科診療グループ
293	乳癌の臨床/2016/31/65-70	男性乳腺血管腫の1例	田中 裕美子	婦人・産産科診療グループ
294	産婦人科の実際 (0558-4728)64巻12号 Page1907-1912(2015.11)	妊娠・授乳期女性への母乳の注意点(特集「実地内科医を訪ねる他科の疾患の日常診療と対処法-その2」)、Medical Practice, 32(9)、1427-1432、2015	濱田 洋実	婦人・産産科診療グループ
295	関東連合産科婦人科学会誌 (2186-0610)52巻4号 Page579-584(2015.11)	妊娠中の子宮頸癌B1期に対し術前化学療法後に帝王切開および広汎子宮全摘術を施行した2例	天神林 友梨	婦人・産産科診療グループ
296	ENTONI 179:25-31	【診断・治療に必要な耳鼻咽喉科臨床検査-活用ofpointとpitfall-】 許聴、機能性聴覚+D23:D37如何にして見抜くか	和田 哲郎	耳鼻咽喉科診療グループ
297	ENTONI 183:15-18	【突発性聴覚update】 突発性聴覚の全身投与薬の選択	田淵 経司	耳鼻咽喉科診療グループ
298	耳鼻咽喉科・頭頸部外科87(5) 101-106	こんなときの対応法がわかる 耳鼻咽喉科手術ガイド 鼻副鼻腔の手術 内視鏡下鼻内頭蓋底手術	田中 秀峰	耳鼻咽喉科診療グループ
299	産産医学ジャーナル 39(2)66-72	産産医学実務に生かせる提言 職域に生かす耳鼻咽喉科の最新知識 騒音性聴覚 関連する法令等と騒音性聴覚の特長	和田 哲郎	耳鼻咽喉科診療グループ

300	産業医学ジャーナル 39(1)80-85	産業医実務に生かせる提言 職域に生かす耳鼻咽喉科の最新知識 騒音性難聴 現状と対策、騒音性難聴担当医の活用に向けて	和田 哲郎	耳鼻咽喉科診療グループ
301	産業医学ジャーナル 38(6)77-82	産業医実務に生かせる提言 職域に生かす耳鼻咽喉科の最新知識 騒音性難聴 歴史と医学的・社会的背景	和田 哲郎	耳鼻咽喉科診療グループ
302	頰頸部外科25(1) 49-53	副咽頭間隙リンパ節原発の濾胞状細胞肉腫の1例	松本 信	耳鼻咽喉科診療グループ
303	LISA 22(8) 838-843	【胸腔内圧のトラブル:その原因と対処法】胸腔内圧の異常 緊急性気胸 肺エコーで切り抜ける	高橋 伸二	麻酔診療グループ
304	救急医学 39(7):866-870	急性中毒の理解を深める論文	水谷 太郎	麻酔診療グループ
305	日本ペインクリニック学会誌	ストレッチ動作後に生じた脳脊髄液減少症に対する硬膜外腔への生理食塩液持続投与の効果	村田 雄哉	麻酔診療グループ
306	レジデント 8(4):107-109	毒を診る一指拭しますか？	水谷 太郎	麻酔診療グループ
307	麻酔 64(12) 1234-1238+E23:E25	褐色細胞腫におけるタイプと塩酸タンジロールの投与方法および投与量の関係	田代 慶太郎	麻酔診療グループ
308	DNA多型 22(1)195-200	血液および唾液から抽出したDNAからのHuman herpes virus 6(HHV-6)DNA検出とDR領域繰り返し配列の個体差	中村 貴子	麻酔診療グループ
309	麻酔 64(6) 647-650	脊椎疾患が関係すると考えられた術後硬膜外血腫の1症例	大和田 麻由子	麻酔診療グループ
310	日本集中治療医学会雑誌 23(1):67-68	僧帽弁狭窄症に伴う重症心不全合併妊娠に集学的治療が有効であった一例	宮 頼	麻酔診療グループ
311	日本集中治療医学会雑誌 23(1):65-66	大腸内視鏡検査の前処置が原因と考えられた高マグネシウム血症の1例	山崎 裕一朗	麻酔診療グループ
312	産界展望126巻1号146-153	開業歯科医のための全身医学LPDATE(第1回) 循環器疾患(心疾患)	柳川 徹	歯・口腔診療グループ
313	産界展望126巻2号366-371	開業歯科医のための全身医学LPDATE(第2回) 糖尿病	柳川 徹	歯・口腔診療グループ
314	産界展望126巻3号552-559	開業歯科医のための全身医学LPDATE(第3回) 肺炎(細菌性肺炎)などの呼吸器疾患	柳川 徹	歯・口腔診療グループ
315	重症患者ケア 4(4):707-716	【重症敗血症ケア実践ガイド】重症敗血症のケアに必要な知識 重症敗血症に対する抗菌薬治療の考え方と実際 投与までのスピードと適格性と効果、耐性菌について	長谷川 隆一	救急・集中診療グループ
316	患者安全推進ジャーナル (40), 50-53, 2015	【生体情報モニタリングのコントロール】報告 モニタラームの功罪と認定病院患者安全推進協議会からの提言	長谷川 隆一	救急・集中診療グループ
317	日本医師会雑誌 144(10):2048	Damage control resuscitation.	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
318	理学療法MOOK18 三輪書店	ICUの理学療法 第2章 治療・管理 2. 呼吸管理	長谷川 隆一	救急・集中診療グループ
319	臨床麻酔 39巻9号:1297-1303	J-PADによるパラダイム・シフト	長谷川 隆一	救急・集中診療グループ
320	人工呼吸 Jpn J Respir Care 2015;32:223-24	成人症例のための高頻度振動換気療法 (HFOV) プロトコル	長谷川 隆一	救急・集中診療グループ
321	茨城県厚生連病院学会雑誌(2188-8329)28巻 Page34-36(2015.12)	総合病院水戸協同病院における人工股関節全置換術の手術成績	長谷川 隆一	救急・集中診療グループ
322	呼吸器ケア 13(6): 581.	第2特集Respiratory Care Seminar チーム力UP! 院内アピール力UP!アウトカム改善を目指すRSTステップアップ	長谷川 隆一	救急・集中診療グループ
323	レジデント 8(8):99-101	毒を診る一痛み止めを大量服用したら？	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
324	レジデント 8(5):115-117	毒を診る一除染とは？	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
325	レジデント 9(1):103-105	毒を診る一石油製品	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
326	レジデント 8(10):97-99	毒を診る一トキソドローームはどっち向き？	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
327	レジデント 8(7):99-101	毒を診る一トキソドローームを覚えていませんか？	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
328	レジデント 8(6):149-151	毒を診る一何の卵とじ？	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
329	レジデント 8(9):117-119	毒を診る一入院患者が下痢をしました	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
330	レジデント 8(11):141-143	毒を診る一よく似ているけどちよっと違う	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
331	レジデント 8(12):139-141	毒を診る一よく似ているけどちよっと違う part2	水谷 太郎	救急・集中診療グループ
332	Radioisotopes 64(1):39-48	【ホウ素中性子捕捉療法:BNCT】BNCTの臨床評価/治療計画	熊田 博明	放射線腫瘍診療グループ
333	消化器外科 38巻5号 Page743-747	【わかつやすい消化器治療のコンセンサス】肝臓の診断と治療 肝細胞癌の放射線療法(解説/特集)	奥村 敏之	放射線腫瘍診療グループ
334	肝・胆・膵 72巻1号 Page127-132	【肝内胆管癌:治療成績の改善を目指して】その他の治療 肝内胆管癌の陽子線治療	奥村 敏之	放射線腫瘍診療グループ
335	肝・胆・膵 71巻1号 Page99-104	【新 標準治療-アブラキサ- FOLFIRINOXをどう使うか】放射線治療 膵癌に対する陽子線の効果・適応は？(解説/特集)	福光 延吉	放射線腫瘍診療グループ
336	臨床消化器内科 30巻8号 Page1043-1050	【進行肝細胞癌の治療戦略】進行肝細胞癌に対する放射線治療の適応と成績(解説/特集)	福光 延吉	放射線腫瘍診療グループ
337	Prostate Journal 2巻1号 Page19-24	【前立腺がんに対する放射線治療最新動向】放射線治療の新規技術による治療成績と適応拡大 粒子線治療の現状 陽子線・重粒子線治療(解説/特集)	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
338	臨床放射線 60巻12号 Page1557-1563	【放射線治療における粒子線-その位置づけと将来展望-】放射線治療の中での陽子線の適応	櫻井 英幸	放射線腫瘍診療グループ
339	肺癌 55巻5号 Page436	III期非小細胞肺癌に対する高線量(74GyE)陽子線治療と同時化学療法の治療成績	大西 かよ子	放射線腫瘍診療グループ
340	頭頸部癌 41巻2号 Page252	T3喉頭癌に対する治療成績	大西 かよ子	放射線腫瘍診療グループ
341	Japanese Journal of Radiology 34巻Suppl. Page23	エナメル上皮癌の根治的な陽子線治療が奏功した1例	斎藤 高	放射線腫瘍診療グループ
342	消化器外科(38巻5号)Page743-747	肝細胞癌の放射線療法	奥村 敏之	放射線腫瘍診療グループ
343	Thermal Medicine(Page58)	癌診療におけるハイパーサーミアの位置づけ-放射線腫瘍科の立場から	櫻井 英幸	放射線腫瘍診療グループ
344	Thermal Medicine(Page109)	癌切除不能局所進行癌に対する温熱療法併用化学療法陽子線治療の安全性と短期治療成績におけるハイパーサーミアの位置づけ-放射線腫瘍科の立場から	斎藤 高	放射線腫瘍診療グループ
345	Thermal Medicine(Page53)	局所進行切除不能癌に対する温熱療法併用化学療法陽子線治療-初期経験と将来展望-	玉木 義雄	放射線腫瘍診療グループ
346	放射線ワークショップ講演論文集 1回 Page74-75	抗腫瘍効果と転移抑制効果から見た不均等分割照射の有効性	松本 孔貴	放射線腫瘍診療グループ
347	肝臓 56巻Suppl.2 PageA617	高度原管浸潤を伴う肝細胞癌における陽子線治療の役割	福田 邦明	放射線腫瘍診療グループ
348	現代産婦人科 (1882-482)64巻Suppl. PageS68	子宮頸癌治療後のQOLに関する多施設共同調査 - 放射線療法群と手術療法群の比較 -	兼安 祐子	放射線腫瘍診療グループ
349	日本放射線技術学会雑誌 71(9): 878	実測ベースによる陽子線治療の小照射野特性に関する考察	森 祐太郎	放射線腫瘍診療グループ
350	日本小児血液・がん学会雑誌 52巻4号 Page164	小児ならびにAYA世代腫瘍に対する放射線療法の進歩 小児・AYA世代腫瘍に対する陽子線治療の有用性と問題点	櫻井 英幸	放射線腫瘍診療グループ
351	The Kitakanto Medical Journal (1343-2826)65巻2号 Page170	小児陽子線治療における更なる治療の取り組み プラブラーションと制動ドレーニングを取り入れて	宮本 俊男	放射線腫瘍診療グループ
352	日本癌治療学会誌 50巻3号 Page1087	食道 食道がんに対する集学的治療 食道癌に対する同時化学療法併用した陽子線治療成績	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
353	癌の臨床 61巻3号 Page205-212	食道がん治療戦略のUp to Date】食道癌に対する化学放射線療法と陽子線治療の役割(解説/特集)	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
354	第69回日本食道学会学術集会(Page89)	食道癌に対する同時化学療法併用陽子線治療の成績	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
355	臨床消化器内科(30巻8号)Page1043-1050	進行肝細胞癌に対する放射線治療の適応と成績	福光 延吉	放射線腫瘍診療グループ
356	日本臨床泌尿器科医会茨城支部会報2015. 2:10-15	前立腺癌に対する強度変調放射線治療(IMRT) - 茨城県中央病院における初期経験を含めて -	玉木 義雄	放射線腫瘍診療グループ
357	日本放射線技術学会雑誌 71(12): 1241-1247	多施設間IVR被ばく線量解析研究を支援するためのシステム構築	孫 祐	放射線腫瘍診療グループ
358	日本放射線技術学会雑誌 71(9):876-877	大腸内に残留する硫酸バリウム造影剤が陽子線の飛程に与える影響	吉村 洋祐	放射線腫瘍診療グループ

359	医学物理 35(2):141-4	筑波大学における医学物理士レジデント教育	築 武二	放射線腫瘍診療グループ
360	頭頸部癌 41巻2号 Page225	筑波大学における頭頸部BNCT臨床研究経過報告	栗飯原 輝人	放射線腫瘍診療グループ
361	日本耳鼻咽喉科学会会報 (0030-6622)118巻4号 Page498	筑波大学における頭頸部BNCT臨床研究経過報告	栗飯原 輝人	放射線腫瘍診療グループ
362	日本放射線技術学会総会学術大会予稿集(71回) pp101	中性子の特徴	磯辺 智範	放射線腫瘍診療グループ
363	日本癌治療学会誌 (0021-4671)50巻3号 Page2169	頭頸・口腔 頭頸部がんに対する新規治療開発 筑波大学における頭頸部BNCT臨床研究経過報告	栗飯原 輝人	放射線腫瘍診療グループ
364	日本耳鼻咽喉科学会会報 (0030-6622)118巻4号 Page402-403	頭頸部癌に対する低侵襲治療の新展開 放射線治療	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
365	日本耳鼻咽喉科学会会報(118巻12号Page1399-1405)	頭頸部癌に対する低侵襲性治療の新展開—放射線治療—	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
366	日本癌治療学会誌 50巻3号 Page1059	脳腫瘍のゲム解析と集学的治療の新展開 膠芽腫に対する粒子線治療の現状と将来展望	坪井 康次	放射線腫瘍診療グループ
367	肺癌 55巻5号 Page354	肺癌の粒子線治療と臨床試験 陽子線治療	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
368	医学のあゆみ 254(3):230-232	非アルコール性脂肪性肝疾患の新たな非侵襲的評価ツール MRSとCAP	磯辺 智範	放射線腫瘍診療グループ
369	Rad Fan 13(14):56-59	放射線治療情報BOOK2015【DIVISION 2】がん治療へのメッセージ 最新治療の適応症 陽子線治療の適応	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
370	肺癌 55巻6号 Page924-931 2015	粒子線治療	石川 仁	放射線腫瘍診療グループ
371	日本婦人科腫瘍学会雑誌 (1347-8559)33巻3号 Page522	臨床研究・試験 子宮頸癌治療後のQOLに関する多施設共同調査(最終報告) 放射線療法と手術療法群の比較	兼安 祐子	放射線腫瘍診療グループ
372	肝胆腫瘍71巻7号Page99-104	肺癌に対する陽子線の効果・適応は？	奥村 敏之	放射線腫瘍診療グループ
373	臨床放射線	【総論】婦人科救急疾患 救急画像診断のすべて。	田中 優美子	放射線診断・IVR診療グループ
374	臨床画像	【アローマ:画像診断の基礎から最新の知見まで】アローマの画像所見の最近トピックス。	増本 智彦	放射線診断・IVR診療グループ
375	画像診断	【ヒギナーのための頭部画像診断-Q&Aアプローチ】疾患別 放射線壊死と腫瘍再発の鑑別ポイント。	増本 智彦	放射線診断・IVR診療グループ
376	画像診断	【腫瘍に対する分子標的療法の現状と画像評価】脳腫瘍。	増本 智彦	放射線診断・IVR診療グループ
377	JCR News	単純X線写真の実践的な読影力を伝えるために。	南 学	放射線診断・IVR診療グループ
378	臨床放射線	特徴的な層状の造影効果を呈した十二指腸乳頭炎の1例。	榎山 貴志	放射線診断・IVR診療グループ
379	ドクターサロン 2015;59:693-696	感染症診療の基本的な考え方 (ラジオ対談)	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ
380	救急医学臨時出版 2015;39:1452-1456.	高齢者 感染制御に注意を要する状況・病態 感染制御の最前線	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ
381	救急医学0385-8162/31:1452-1456	【感染制御の最前線 救急領域のベストプラクティス】感染制御に注意を要する状況・病態 高齢者	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ
382	INFECTION CONTROL/0919-1011/24:682-685	【感染対策のこころい押し-プレゼン力さらにUP!アドバイス】矢野晴美先生に学ぶ!プレゼンススキルアップのコツ アイコンタクト、問いかけ、引き算、サンディッチ	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ
383	栃木県医学会々誌(0285-6387)45:8-36	グローバル化する感染症のUpdate	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ
384	薬局 (0044-0035)66巻6号 Page1933-1938(2015.05)	【がん疼痛とオピオイド実践で使える投与設計と患者対応のスキル】オピオイドの投与設計の実際 オピオイドスイッチング	瀧野 淳	総合診療グループ
385	緩和ケア (1349-7138)25巻6月増刊 Page017-021(2015.06)	【緩和ケア臨床日々の悩む場面のコンタクトシーシー-続けるのかやめるのか、治療するのかしないのか、難しい場面ではどうしている?】(第1部)「やめどき」について悩む場面 これまで行っていた治療、ケアを続けるのかやめるのか? 飲めなくなった時のステロイド、どうする?	瀧野 淳	総合診療グループ
386	総合診療(2188-8051)25巻6号 Page544-546(2015.06)	【高齢者救急の落とし穴-紹介する時、される時】 症例別ヒットフォール atypical presentationを中心に 腰部背部痛 数多い対象からいかにリスクのある症例をピックアップするか	小林 裕幸	総合診療グループ
387	臨床泌尿器科 (0385-2393)69巻9号 Page779-781(2015.08)	【誰も教えてくれなかった緩和医療-最新知見と実践】 求められる看取りのあり方 緩和ケアと地域連携	瀧野 淳	総合診療グループ
388	レジデントノート (1344-6746)17巻4号 Page719-726(2015.06)	【入院患者の痛みの診かた】 病棟でよくある痛みの対応 頭痛、咽頭痛、腰痛、腰痛	瀧野 淳	総合診療グループ
389	緩和ケア (1349-7138)25巻4号 Page266-273(2015.07)	【認知症のあるがん患者の緩和ケア】 認知症なのかどうか、診断に苦慮する患者のアセスメント がん患者の場合の鑑別方法と実践例	瀧野 淳	総合診療グループ
390	薬局(0044-0035)67:1779-1782	【病気がとす!2016 基礎と実践Expert's Guide】病原微生物・悪性新生物とくすり 真菌感染症 カンジダ症	梶 有貴	総合診療グループ
391	Diabetes Frontier Online 2; 1-6	GLP-1受容体作動薬でコントロール不良な肥満2型糖尿病患者におけるダバグリフロジン併用療法の検討	五十野 桃子	総合診療グループ
392	Organ Biology (1340-5152)22巻2号 Page51-55(2015.07)	再生医療の実現を支える生体試料バンク	竹内 朋代	病理診断診療グループ
393	Organ Biology (1340-5152)23巻1号 Page21-28(2016.01)	ヒト試料バイオバンク現状と将来性	竹内 朋代	病理診断診療グループ
394	Organ Biology 23(1):21-28,2016.	ヒト試料バイオバンク-現状と将来性-	竹内 朋代	病理診断診療グループ
395	呼吸器内科27(6):503-510,2015.	解説—肺腺癌のWHO組織分類。	松岡 亮太	病理診断診療グループ
396	病理と臨床34(1):96-97,2016.	今月の話題—医療事故調査制度における茨城県病理解剖支援体制	野口 雅之	病理診断診療グループ
397	病理と臨床34(3):232-235,2016.	特集 肺癌1-2015WHO分類改訂のポイント	野口 雅之	病理診断診療グループ
398	呼吸器内科 29(3):248-253,2016.	肺腺癌の新WHO分類	坂下 麻衣	病理診断診療グループ
399	日本臨床 (0047-1852)73巻増刊6 家族性腫瘍学 Page146-152(2015.08)	遺伝性可食細胞腫・ハラガンクオリオマ症候群	竹越 一博	臨床病理診療グループ
400	腎臓内科・泌尿器科 (2188-9147)2巻4号 Page400-403(2015.10)	褐色細胞腫と血中遊離メタネリン	藤部 和正	臨床病理診療グループ
401	日本臨床 (0047-1852)73巻増刊6 家族性腫瘍学 Page327-330(2015.08)	原因遺伝子SDHB	藤部 和正	臨床病理診療グループ
402	臨床病理 (0047-1860)63巻6号 Page709-716(2015.06)	心血管領域での利用	石津 智子	臨床病理診療グループ
403	Medicina (0025-7699)52巻4号 Page374-375(2015.04)	内分秘学的検査 副腎・腎 血中・尿中カテコールアミン	藤部 和正	臨床病理診療グループ
404	Medicina (0025-7699)52巻4号 Page376-377(2015.04)	内分秘学的検査 副腎・腎 尿中メタネリン、尿中VMA	藤部 和正	臨床病理診療グループ
405	心臓 (0586-4488)48巻2号 Page158(2016.02)	久馬論文に対するEditorial Comment	石津 智子	臨床病理診療グループ
406	日本胸部腫瘍 (0385-3667)75巻2号 Page167-172(2016.02)	【多重癌への対応-呼吸器科医の視点-】 多重癌の臨床	関根 郁夫	腫瘍内科診療グループ
407	腫瘍内科 (1881-6568)16巻5号 Page398-401(2015.11)	【年齢を考慮したがん治療(高齢者、AYA世代、小児)】 高齢者に対するがん治療と臨床試験 高齢者がん薬物療法の問題点	関根 郁夫	腫瘍内科診療グループ
408	千葉医学雑誌 91(4) 191-195	がん治療における実地診療と臨床試験の間	関根 郁夫	腫瘍内科診療グループ
409	千葉医学雑誌 91(5) 251-256	がん臨床におけるインフォームド・コンセントの法的側面	関根 郁夫	腫瘍内科診療グループ
410	腫瘍内科 16(5) 398-401	高齢者がん薬物療法の問題点	関根 郁夫	腫瘍内科診療グループ
411	日本臨床 73(8) 1419-1424	高齢者固形がんの分子標的治療	芦沼 宏典	腫瘍内科診療グループ
412	千葉医学雑誌 91(2):87-93	出来る内科医とは 分野別内科学の観点から	関根 郁夫	腫瘍内科診療グループ
413	超音波検査技術 40(2), 167-173, 2015	Controlled Attenuation Parameterの肝脂肪量測定による非アルコール性脂肪性肝疾患の非侵襲的診断法の有用性について	志田 隆史	放射線部
414	JART: 日本診療放射線技術会誌 62(11):1242	Proton MRSと超音波装置を用いた非侵襲的肝脂肪量測定法の評価	平野 雄二	放射線部
415	日本ハイパーサーミア学会 第32回大会(31巻Page159)	RF誘電加熱時にステントが3次元温度分布に及ぼす影響の推定	小林 大輔	放射線部
416	Thermal Medicine(Page170)	ハイパーサーミアにおけるサーモグラフィを用いた表面温度分布の取得	小林 大輔	放射線部
417	患者安全推進ジャーナル/2015/40/80-86	【患者安全】にかかわる情報システム導入時チェックリスト-医療のIT化と医療安全にかかわる臨床指標(QI)とその作成の経緯と方法	大原 信	医療情報経営戦略部
418	医療情報学/2015/35/840-843	食物アレルギー-情報交換の標準化に向けたコード体系と交換様式の提案	星本 弘之	医療情報経営戦略部
419	MEDICAL REHABILITATION (1346-0773)185号 Page13-20(2015.06)	【リハビリテーション科における長期的サポート】 長期サポート患者の合併症に対する対応 脳卒中慢性期(生活期)リハビリテーション患者を中心に解説/特集	上野 友之	リハビリテーション部

420	日本障害者スポーツ学会誌/24/pp.68-71, 2015-12	インチョン2014アジアパラ競技大会における医務班の活動について	羽田 康司	リハビリテーション部
421	理学療法科学 (1341-1667)31巻1号 Page1-5(2016.02)	軽度神経障害合併糖尿病患者における姿勢安定度評価指標を用いたバランス能力評価について	鈴木 康裕	リハビリテーション部
422	理学療法科学 (1341-1667)31巻1号 Page1-5(2016.02)	重心動揺計を用いた動的バランス能力と年齢の関連	鈴木 康裕	リハビリテーション部
423	国立大学リハビリテーション療法士学術大会誌 (2188-3416)36回 Page67-70(2015.04)	虫垂炎手術を契機に重度の嚥下障害を呈した頸椎前縦靭帯骨化症の1例	山口 菜摘	リハビリテーション部
424	国立大学リハビリテーション療法士学術大会誌 (2188-3416)37回 Page139-142(2016.03)	年代別にみた健常者における動的バランス能力と下肢筋力との関係	加藤 秀典	リハビリテーション部
425	体力科学 64(1):214	非アルコール性脂肪性肝疾患に対する3次元加速度トレーニングの効果	丸山 剛	リハビリテーション部
426	レギュラトリーサイエンス学会誌 6(1) 57-63	創薬に向けたヒト細胞・組織の利用 一つはヒト組織バイオバンクセンターの取り組み	竹内 朋代	つくばヒト組織バイオバンクセンター
427	日本心血管インターベンション治療学会抄録集24回 1155	Bentall術後のグラフト-LMTの高度狭窄病変に対し経皮的肺補助下でPCIを施行し救命した一例	坂元 雄介	医療機器管理センター
428	体外循環技術 42(2): 124-127	Fontan型手術の人工心肺離脱時および術後における簡便な一酸化窒素吸入システムの使用経験	森谷 忠生	医療機器管理センター
429	日本臨床工学会誌54,176	PCI中に即時型造影剤アナフィラキシーショックと2枝同時ステント血栓が生じIABPが必要になった症例	鳥羽 清志郎	医療機器管理センター
430	日本臨床工学会誌54,175	急性左腎動脈血栓閉塞症に対して血栓吸引によるEndovascular Therapyが著効した一例	箱 恭一	医療機器管理センター
431	日本心血管インターベンション治療学会抄録集24回 1806	血管内視鏡による第二世代ステントの新生内膜被覆程度の比較検討	箱 恭一	医療機器管理センター
432	日本臨床工学会誌54,176	肺静脈隔離術(PVD)におけるCARTO UNIVU MODULEの使用経験	坂元 雄介	医療機器管理センター
433	日本病院薬剤師会雑誌 51 (4) 449-451	イグラチモドとワルファリンの薬物相互作用が疑われた1症例	細川 晴美	薬剤部
434	臨床薬理4S240	ワルファリン服用患者におけるトランプラドールの併用がINRの延長に及ぼす影響(第2報)	細野 智美	薬剤部
435	Organ Biology 22(2) 97-98	医薬理研究～免疫抑制薬の個別化投与	平野 俊彦	薬剤部
436	薬局増刊号 67(4) 361-372	不整脈 治療薬の薬理と薬学管理上の注意点	土岐 浩介	薬剤部
437	TDM研究32(2)142	プロパフェノンのTDMにおける採血時間の検討	土岐 浩介	薬剤部
438	薬局 66(12), 2967-2971	ベンゾジアゼピン系薬剤のファーマコキネティクスと薬物相互作用・副作用	百 賢二	薬剤部
439	薬学雑誌 136(3) 417-422	生薬学担当教員による漢方教育に対する取り組み 医療現場から大学での漢方教育に期待すること	本間 真人	薬剤部
440	薬局 66(5), 1704-1711	副腎皮質ステロイドの開発の歴史と化学構造による薬剤特性	神林 泰行	薬剤部
441	TDM研究 32 (3) 143-159	免疫抑制薬TDM標準化ガイドライン2014の策定 STATEMENTS	増田 智先	薬剤部
442	日本手術学会誌 36(2) 146-148	当院における手術室看護師による麻酔科術前外来の現状	丹野 香織	看護部

合計442件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 目的と適用範囲，病院長の責務，研究者等の責務，研究計画書に関する手続き・記載事項，研究に関する登録・公表，倫理審査委員会の役割・責務等，重篤な有害事象への対応，モニタリング及び監査，審査の手順等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 マネジメントの原則，利益相反委員会，申告内容，申請手順 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年11回
・ 研修の主な内容 治験に係る規則・ガイドライン及び実施に必要な知識 臨床研究に係るガイドライン及び実施体制と信頼性の確保 プロトコルデザイン，インフォームドコンセント，有害事象報告， データ収集，モニタリング計画・実施・報告，生物統計，知財の取得 他	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(1) 研修期間は2年間とする。

(2) 研修科目および研修期間

幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群で、一人ひとりに合った研修が可能であることが特徴である。たとえば、大学病院を中心に研修をしたい場合は全期間大学で、市中病院を中心に研修したい場合には16か月を協力病院で研修することが可能である。

各診療科の研修の詳細は以下の通りとする。

研修科目	内容	
必修科目	内科 (6か月)	院内および院外で研修する。院内の場合、以下の診療科から選択してローテーションする。研修する診療科および期間(1.5か月～3か月)は研修医の希望を考慮して調整する。 循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、内分泌代謝・糖尿病内科、膠原病リウマチアレルギー内科、血液内科、神経内科 common diseaseを数多く経験できる施設で3か月以上研修する場合は、一部の研修期間を院内の放射線診断・IVR、病理学的診断にあてることを認める。
	救急 (3カ月)	院内および院外で研修する。
	地域医療 (1ヵ月)	中小病院での1か月のブロック研修(選択3とあわせて3か月のブロック研修)又は選択必修1～3の期間に、週1回・6か月間の継続研修のどちらかを選択する。
選択必修科目	選択必修1 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択する。ただし、選択研修ですすでに以下の診療科で研修している場合はこの期間を選択研修に振り替えることができる。 消化器外科、呼吸器外科、循環器外科、乳腺・甲状腺・内分泌外科、小児外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、腎泌尿器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科
	選択必修2 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択する。ただし、選択研修ですすでに以下の診療科で研修している場合はこの期間を選択研修に振り替えることができる。 小児科、小児外科
	選択必修3 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択することが望ましいが、研修医の希望により他の診療科も選択できる。 麻酔科、精神科※、産婦人科
選択科目	選択1・ 選択2 (3か月)	原則としてすべての診療科で可能。診療科の合意が得られれば、期間を分割して研修することもできる。基本的に院内とするが、院外で研修する場合は、総合臨床教育センターが指導体制、研修体制、全体とのバランスを考慮して診療科ごとに承認・調整した施設で行う。
	選択3 (3か月)	地域医療研修をブロック研修で行う場合、この期間に行う。それ以外の条件は選択1、2に準じる。

※精神科研修に関して

精神科研修を原則的にいずれかの研修形式で行う。

①選択必修3として2か月

②選択必修3として1か月(その場合、選択必修1または2の期間が3か月になる。)

③選択研修として1か月以上

a) 一般プログラム

common diseaseを幅広く研修出来るスーパーローテーション研修でも、将来の後期専門研修を見据えた一科集中型の研修でも、研修医の希望で選択して研修が可能である。また、内科研修・救急研修は、大学病院、市中病院のどちらでも研修が出来、選択必修における外科研修も多く、外科系研修科より選択できるなど、研修医の将来像に合わせた研修を個々の希望に応じて組むことができる。

コースは必修研修の内科、救急を院内で行うか院外で行うかによってA～Jまで10のコースに分かれる。

b) 特別プログラム（小児科特別プログラム，産科特別プログラム）

将来、小児科医、産科医師になることを希望する研修医を対象とした研修プログラム。

(3) ローテーションの決定方法

- 1) マッチング終了後、採用内定者が確定した時点で将来の志望分野の登録を行う。なお、志望分野未定で登録することも可能である。
- 2) 総合臨床教育センターは、国家試験合格発表後、採用者が確定した時点で研修施設・研修時期などのローテーションにおける選択肢を提示する。
- 3) 採用者は、選択肢の中から順位をつけて希望を提出する。この際、研修医の希望があれば総合臨床教育センターまたは志望分野に該当する養成コースと相談することも可能である。
- 4) 総合臨床教育センターにおいて調整し、最終的なローテーションを決定する。

(4) オリエンテーション

採用前に1週間程度のオリエンテーションを行う。内容は、実際に診療を行ううえで必要な手続き・注意事項の他に、接遇、安全管理、診療録の記載などの講習や、コミュニケーション技法、ACLS、EBM、静脈ラインの確保や採血などの基本的臨床技能についての講義・実習を行う。

(5) レジデントレクチャー

研修目標の達成に役立てることを目的として、総合臨床教育センター主催のレクチャーを開催する。ジュニアレジデントは30単位以上の出席を修了条件とする。

2 研修の実績

研修医の人数	83人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
.....
※別紙のとおり				
.....

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
前野 哲博	内科	総合診療グループ長	25年	研修統括者
兵頭 一之介	消化器内科	消化器内科診療グループ長	35年	研修統括者
青沼 和隆	循環器内科	循環器内科診療グループ長	38年	研修統括者
檜澤 伸之	呼吸器内科	呼吸器内科診療グループ長	30年	研修統括者
山縣 邦弘	腎臓内科	腎臓内科診療グループ長	32年	研修統括者
島野 仁	内分泌・代謝・糖尿病内科	内分泌代謝糖尿病内科診療グループ長	32年	研修統括者
住田 孝之	内科、リウマチ科、アレルギー科	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ長	37年	研修統括者
千葉 滋	血液内科	血液内科診療グループ長	32年	研修統括者
玉岡 晃	神経内科	神経内科診療グループ長	36年	研修統括者
人見 重美	感染症内科	細菌学的診断診療グループ長	26年	研修統括者
須磨崎 亮	小児科	小児内科診療グループ長	39年	研修統括者
新井 哲明	精神科	精神神経科診療グループ長	26年	研修統括者
藤本 学	皮膚科	診療グループ長	24年	研修統括者
南 学	放射線診断科	放射線診断・IVR診療グループ長	33年	研修統括者
櫻井 英幸	放射線腫瘍科	放射線腫瘍科診療グループ長	28年	研修統括者
野口 雅之	病理診断科	病理診断診療グループ長	34年	研修統括者
大河内 信弘	消化器外科 臓器移植外科	消化器外科診療グループ長	38年	研修統括者
平松 祐司	心臓血管外科	循環器外科診療グループ長	30年	研修統括者
佐藤 幸夫	呼吸器外科	呼吸器外科診療グループ長	27年	研修統括者
原 尚人	乳腺・内分泌外科	乳腺・甲状腺・内分泌外科診療グループ長	32年	研修統括者

増本 幸二	小児外科	小児外科診療グループ長	25年	研修統括者
関堂 充	形成外科	形成外科診療グループ長	28年	研修統括者
井上 貴昭	救急科	救急・集中診療グループ長	23年	研修統括者
山本 哲哉	脳・神経外科	脳神経外科診療グループ長	27年	研修統括者
山崎 正志	整形外科	整形外科診療グループ長	33年	研修統括者
西山 博之	泌尿器科	泌尿器外科診療グループ長	27年	研修統括者
佐藤 豊実	産科、婦人科	婦人・周産期診療グループ長	27年	研修統括者
田中 誠	麻酔科	麻酔科診療グループ長	30年	研修統括者
原 晃	耳鼻いんこう科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科診療グループ長	37年	研修統括者
大鹿 哲郎	眼科	眼科診療グループ長	31年	研修統括者
檜澤 伸之	内科	睡眠呼吸障害療グループ長	30年	研修統括者
武川 寛樹	歯科口腔外科	歯科・口腔外科診療グループ長	32年	研修統括者

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ※別紙のとおり ・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
研修名：診療の安全に関する研修（平成 27 年度に 2 回実施） ・研修の主な内容 1 回目：連携・協力・社会貢献 2 回目：医療事故防止マニュアル第 7 版 — J C I 受審に向けて— ・研修の期間・実施回数 1 回目：11 日間 2 回目：11 日間 ・研修の参加人数 1 回目：2787 名、2 回目：2637 名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修(平成27年度分)

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

1	研修名	小児外科セミナーシリーズ第16弾
	研修の主な内容	川原先生の経験をとおして専門職としての使命, 医療のあり方を改めて考える機会を設ける「イスラムの国 スーダンで考える「医」」
	研修の期間・実施回数	平成27年6月18日
	研修の参加人数	122名
2	研修名	小児外科セミナーシリーズ第17弾
	研修の主な内容	小児の炎症性腸疾患に関する知識を第一人者から受ける「炎症性腸疾患の外科治療」
	研修の期間・実施回数	平成27年7月24日
	研修の参加人数	28名
3	研修名	小児外科セミナーシリーズ第18弾
	研修の主な内容	小児の代謝栄養の第一人者から最新情報を得る「侵襲に対する生体反応と栄養管理」
	研修の期間・実施回数	平成27年9月17日
	研修の参加人数	22名
4	研修名	小児外科セミナーシリーズ第19弾
	研修の主な内容	肝胆膵外科高度技能専門医育成のシステム整備を中心に専門医の育成について「Super-subspecialtyとして肝胆膵外科医の成育を考える」
	研修の期間・実施回数	平成27年1月8日
	研修の参加人数	36名

5	研修名	小児外科セミナーシリーズ第20弾
	研修の主な内容	総排泄腔遺残症と総排泄腔外反症について専門知識を得るため「総排泄腔遺残症と総排泄腔外反症：難病指定と診療ガイドライン」
	研修の期間・実施回数	平成28年2月19日
	研修の参加人数	23名
6	研修名	小児救急勉強会
	研修の主な内容	茨城県内の救急隊員に対する小児救急医療教育
	研修の期間・実施回数	平成28年1月・1回
	研修の参加人数	24名
7	研修名	新生児蘇生法講習会
	研修の主な内容	出生時に胎外呼吸循環が順調に移行できない新生児に対して、いかにして心肺蘇生法を行うべきかを学ぶ。助産師、看護師、救急救命士を対象に実施。
	研修の期間・実施回数	2015年4月～2016年2月・13回
	研修の参加人数	162名
8	研修名	つくば母乳育児支援勉強会
	研修の主な内容	お母さんと赤ちゃんに接する機会のある茨城県内の保健医療従事者を対照に、母乳育児支援に関する科学的根拠に基づいた最新の情報と臨床技能を伝え、協力し合うための勉強会
	研修の期間・実施回数	平成27年11月～平成28年2月・2回
	研修の参加人数	77名

9	研修名	茨城人工透析談話会
	研修の主な内容	透析医療の向上発展のため、茨城県内の透析医療機関に従事する医療関係者の相互の親睦を図り、透析治療法の研究・教育を行う
	研修の期間・実施回数	年1回、平成27年11月29日
	研修の参加人数	約800名
10	研修名	茨城CKD研究会
	研修の主な内容	茨城県における慢性腎臓病の進展防止及び心血管系合併症の抑制を検討し、ならびに病診連携モデルの共有をもって、その研究向上と地域における健康増進を図る
	研修の期間・実施回数	年1回、平成27年4月23日
	研修の参加人数	155名
11	研修名	茨城腹膜透析研究会
	研修の主な内容	県内の腹膜透析医療に携わる医療従事者による学問的水準の向上と診断・治療の研究をはかる
	研修の期間・実施回数	平成28年2月13日
	研修の参加人数	56名
12	研修名	透析液水質確保に関する研修会
	研修の主な内容	日本透析医学会認定：茨城人工透析談話会が主催し、県内の透析施設の医療従事者が透析液水質管理基準確保のために受講
	研修の期間・実施回数	平成28年2月28日
	研修の参加人数	67名

13	研修名	茨城県バスキュラーアクセス研究会
	研修の主な内容	県内の透析患者のバスキュラーアクセスを扱う医療従事者の活動報告と最新の知見習得
	研修の期間・実施回数	年1回、平成28年1月14日
	研修の参加人数	131名
14	研修名	明日の茨城県の腎・透析医療を考える会
	研修の主な内容	県内の腎・透析医療に携わる医療従事者の活動報告および診断・治療法の研究
	研修の期間・実施回数	平成27年9月24日
	研修の参加人数	58名
15	研修名	腎と栄養懇話会
	研修の主な内容	県内の腎臓疾患栄養指導を担う管理栄養士を中心とした医療従事者による活動報告と最新の知見習得
	研修の期間・実施回数	平成27年9月2日
	研修の参加人数	105名
16	研修名	腎不全治療について考える ～透析療法と腎移植～
	研修の主な内容	県内で透析医療に携わる医療従事者が腎移植について学習する
	研修の期間・実施回数	平成27年9月4日
	研修の参加人数	65名

17	研修名	つくば栄養調理製菓専門学校救急救命学科病院実習(救急救命士)
	研修の主な内容	手術見学等
	研修の期間・実施回数	平成27年度中、3回
	研修の参加人数	4名
18	研修名	超音波カンファレンス
	研修の主な内容	検査技師の診療能力向上のための研修
	研修の期間・実施回数	平成27年度中、25回
	研修の参加人数	10名
19	研修名	医療機器説明会
	研修の主な内容	新規採用機器および頻用機器についての説明・講習
	研修の期間・実施回数	平成27年度中、4回
	研修の参加人数	約30-40名
20	研修名	薬剤部セミナー
	研修の主な内容	薬剤業務改善、医薬品適正使用に関する研究の発表
	研修の期間・実施回数	平成27年度中、22回
	研修の参加人数	40~50名

21	研修名	お薬説明会
	研修の主な内容	新薬の使用方法に関する講習
	研修の期間・実施回数	平成27年度中、3回
	研修の参加人数	40-50名
22	研修名	がん医療従事者研修 地域がん診療連携拠点病院 薬剤師セミ
	研修の主な内容	がん医療に携わる薬剤師に必要な知識に関する研修
	研修の期間・実施回数	平成27年度中、1回
	研修の参加人数	50名
23	研修名	薬剤師レジデント勉強会
	研修の主な内容	論文抄読、処方・症例検討、テーマ発表
	研修の期間・実施回数	平成27年度中、54回
	研修の参加人数	5名
24	研修名	医療連携患者相談センター講演会
	研修の主な内容	超高齢化社会を背景に、地域包括ケアとしての医療保健福祉の在り方を学ぶ(講演形式で実施)
	研修の期間・実施回数	平成27年8月・1回
	研修の参加人数	76名

25	研修名	レジメン操作研修
	研修の主な内容	レジメンの指示出し・変更、薬剤部受付・受付解除、指示受け・実施等、各職種が関わる一連のシステム操作方法
	研修の期間・実施回数	平成27年5月18日～29日、1日2回、計20回
	研修の参加人数	看護師146名、薬剤師他58名（左記の他に医師228名）
26	研修名	保険診療に関する講習会
	研修の主な内容	DPCに関する解説、事例報告
	研修の期間・実施回数	平成27年9月1日 1回
	研修の参加人数	看護師45名、コメディカル31名（左記の他に医師43名、事務69名）
27	研修名	電子カルテシステム操作研修
	研修の主な内容	基本的な操作（外来・病棟業務）
	研修の期間・実施回数	平成27年4月2日 1回
	研修の参加人数	薬剤師 6名
28	研修名	電子カルテシステム操作研修（看護師向け）
	研修の主な内容	病棟業務を中心とした基本的な操作
	研修の期間・実施回数	平成27年4月8日 2回
	研修の参加人数	看護師 102名
29	研修名	妊産褥婦に対する最新医学管理研修
	研修の主な内容	助産師、看護師を対象に、その時点で外来もしくは入院管理中の実際の症例を題材として、妊産褥婦に対する最新の医学的な管理法を医師（周産期（母体・胎児）専門医）が教育する
	研修の期間・実施回数	平成27年4月～平成28年3月・計44回
	研修の参加人数	1回平均5名

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 松村 明
管理担当者氏名	医療情報経営戦略部長 大原 信、薬剤部長 本間 真人 病院総務部総務課長 岡野 勉、同部患者サービス課長 澤邊 康利

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第二項に	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	電子カルテサーバ	
		処方せん	電子カルテサーバ (薬剤部)	
		手術記録	電子カルテサーバ	
		看護記録	電子カルテサーバ	
		検査所見記録	電子カルテサーバ	
		エックス線写真	PACSサーバ	
		紹介状	電子カルテサーバ	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	電子カルテサーバ	
			電子化後は医療情報経営戦略部サーバ室のサーバで管理している。電子化以前の紙カルテ及び押印の必要な同意書等は1患者1ファイルにより、医療情報経営戦略部の病歴室で保管・管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第三項に掲	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課 経営戦略課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課 品質・安全管理支援室	
		高度の医療の研修の実績	患者サービス課 品質・安全管理支援室	
		閲覧実績	総務課、 患者サービス課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者サービス課	
	掲げる事項 規則第一條の十一第一項	に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	臨床医療管理部
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	患者サービス課 品質・安全管理支援室
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	臨床医療管理部
			医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	患者サービス課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）、 薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター 患者サービス課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報経営戦略部
		医療安全管理部門の設置状況	患者サービス課 品質・安全管理支援室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	(未定)
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	つくば臨床医学研究開発機構 (T-CReDo), 薬剤部
		監査委員会の設置状況	(未定)
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	患者サービス課 品質・安全管理支援室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	(未定)
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービス課 品質・安全管理支援室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
職員研修の実施状況	臨床医療管理部		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	附属病院長 松村 明	
閲覧担当者氏名	病院総務部総務課長 岡野 勉、患者サービス課長 澤邊康利	
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部総務課、 患者サービス課	
閲覧の手続の概要		
病院の診療に関するもの		
診療記録の閲覧については、本院が定めた「診療記録開示請求書」に必要事項を記入の上、患者サービス課へ提出する。		
病院の管理に運営に関するもの		
病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧については、大学が定めた「法人文書開示請求書」に必要事項を記入の上、総務課へ提出する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 組織として事故防止に取り組む。・ 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。・ 医療安全に関する教育研修を実施する。 など	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 設置の有無 (有・無)・ 開催状況：年 12回・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療に係る安全管理体制に関する事。・ 医療に係る安全管理のための指針の作成及び見直しに関する事。・ 医療事故を防止するための医療従事者に対する啓発に関する事。・ 医療事故等に係る患者、家族等への対応に関する事。・ 医療事故等が発生した場合の原因の分析並びに改善策の立案、実施及び周知に関する事。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 4 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">連携・協力・社会貢献 (4 1 回開催)医療事故防止マニュアル第 7 版、J C I 受審に向けて (3 3 回開催)・ 法令及び研修目的に沿ったものとする。必要に応じて、感染対策、医薬品、医療機器の安全管理に関する内容を含める。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療行為の手順をエビデンスに基づいて改善する。	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理部の設置 院内感染発生時の対応 職員研修	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 4 回
・ 研修の主な内容： 連携・協力・社会貢献（4 1 回開催） 医療事故防止マニュアル第 7 版、J C I 受審に向けて（3 3 回開催）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： (有 無)	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">● 全職員を対象とした「診療の安全に関する研修（第 1 期）「連携・協力・社会貢献」において、「患者の薬剤管理に関する看護師と薬剤師の連携」をテーマに、資料を用いて説明を行った。（4 1 回開催）②全職員を対象とした「診療の安全に関する研修（第 2 期）医療事故防止マニュアル第 7 版、-JCI 受審に向けて-」において、「ハイリスク薬」をテーマに、資料を用いて説明を行った。（3 3 回開催）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書（禁忌薬の取扱いを含む）の作成とそれに基づく業務の実施状況をチェックリストにより、定期的に確認している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 製薬企業からの情報収集・ 医薬品医療機器総合機構からのメール受信（医薬品医療機器情報配信サービス）・ 個人のメールボックスへの印刷物の配布（薬剤部からのお知らせ等）・ 院内メールによる情報配信・ 薬剤部内の朝礼による周知・ 薬剤部HPにおいても、情報提供・ 未承認および適用外使用の医薬品に関する取扱いを医薬品安全使用のための業務手順書に追加する。・ 保険適応外の抗がん剤治療は、申請グループの添付した根拠となる文献等に基づいて、総合がん診療センター実行委員会にて審査している。・ 院内製剤を含む未承認薬や適応外の医薬品を、研究ではなく診療の中で使用する場合は、当院での使用経験が浅い等の理由で倫理的検討が必要なものは「筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会」で審議する。	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																																								
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年147回																																								
<p>・ 研修の主な内容：新規購入機器のための研修、継続使用のための定期研修、デモ機／治験のための研修その他の必要時に行った研修</p> <table><tr><td>1. 人工心肺装置・PCPS・IABP</td><td>13回</td><td>(260人)</td></tr><tr><td>2. 人工呼吸器</td><td>31回</td><td>(441人)</td></tr><tr><td>3. 血液浄化装置</td><td>15回</td><td>(160人)</td></tr><tr><td>4. 除細動器</td><td>6回</td><td>(70人)</td></tr><tr><td>5. 閉鎖式保育器</td><td>12回</td><td>(88人)</td></tr><tr><td>6. 診療用高エネルギー放射線発生装置</td><td>2回</td><td>(16人)</td></tr><tr><td>7. 診療用放射線照射装置</td><td>2回</td><td>(11人)</td></tr><tr><td>8. 粒子線照射装置</td><td>2回</td><td>(51人)</td></tr><tr><td>9. その他医療機器 33機器</td><td>64回</td><td>(958人)</td></tr></table>		1. 人工心肺装置・PCPS・IABP	13回	(260人)	2. 人工呼吸器	31回	(441人)	3. 血液浄化装置	15回	(160人)	4. 除細動器	6回	(70人)	5. 閉鎖式保育器	12回	(88人)	6. 診療用高エネルギー放射線発生装置	2回	(16人)	7. 診療用放射線照射装置	2回	(11人)	8. 粒子線照射装置	2回	(51人)	9. その他医療機器 33機器	64回	(958人)													
1. 人工心肺装置・PCPS・IABP	13回	(260人)																																							
2. 人工呼吸器	31回	(441人)																																							
3. 血液浄化装置	15回	(160人)																																							
4. 除細動器	6回	(70人)																																							
5. 閉鎖式保育器	12回	(88人)																																							
6. 診療用高エネルギー放射線発生装置	2回	(16人)																																							
7. 診療用放射線照射装置	2回	(11人)																																							
8. 粒子線照射装置	2回	(51人)																																							
9. その他医療機器 33機器	64回	(958人)																																							
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																									
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <table><tr><td>1. 人工心肺装置・PCPS・IABP</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>10台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>2. 人工呼吸器</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>53台</td><td>(点検率96%)</td></tr><tr><td>3. 血液浄化装置</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>31台</td><td>(点検率96%)</td></tr><tr><td>4. 除細動器</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>45台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>5. 閉鎖式保育器</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>19台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>6. 診療用高エネルギー放射線発生装置</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>2台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>7. 診療用放射線照射装置</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>1台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>8. 粒子線照射装置</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>1台</td><td>(点検率100%)</td></tr></table> <p>※人工呼吸器の未点検2台(4%)については、廃棄予定のため未点検とした。 ※血液浄化装置の未点検1台(4%)については、廃棄予定のため未点検とした。</p>		1. 人工心肺装置・PCPS・IABP	年次点検	保有数	10台	(点検率100%)	2. 人工呼吸器	年次点検	保有数	53台	(点検率96%)	3. 血液浄化装置	年次点検	保有数	31台	(点検率96%)	4. 除細動器	年次点検	保有数	45台	(点検率100%)	5. 閉鎖式保育器	年次点検	保有数	19台	(点検率100%)	6. 診療用高エネルギー放射線発生装置	年次点検	保有数	2台	(点検率100%)	7. 診療用放射線照射装置	年次点検	保有数	1台	(点検率100%)	8. 粒子線照射装置	年次点検	保有数	1台	(点検率100%)
1. 人工心肺装置・PCPS・IABP	年次点検	保有数	10台	(点検率100%)																																					
2. 人工呼吸器	年次点検	保有数	53台	(点検率96%)																																					
3. 血液浄化装置	年次点検	保有数	31台	(点検率96%)																																					
4. 除細動器	年次点検	保有数	45台	(点検率100%)																																					
5. 閉鎖式保育器	年次点検	保有数	19台	(点検率100%)																																					
6. 診療用高エネルギー放射線発生装置	年次点検	保有数	2台	(点検率100%)																																					
7. 診療用放射線照射装置	年次点検	保有数	1台	(点検率100%)																																					
8. 粒子線照射装置	年次点検	保有数	1台	(点検率100%)																																					
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																																									
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内の全ての医療機器は、医療機器管理システムMEDICSON(クラウド)にてMEセンターが台帳登録を行い、医療機器管理センターで一元管理している。</p> <p>厚生労働省及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)等が発信する医療機器に関する「安全性関係情報」をMEDICSON(クラウド)が受信した後、当院の医療機器管理システム端末へ定期的送信される。</p> <p>なお、端末で受信した「安全性関係情報」は、台帳登録された機器の種類、表示件名、発表日、発表元、外部リンク(URL)情報が表示される。担当職員が、その安全情報のURLより、該当する医療機器のシリアルNo.及び使用部署の確認等を行い、通知文書を作成して関係者に周知している。</p>																																									

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者が医療安全管理委員会（リスクマネジメント委員会）に出席し、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括している。 また、リスクマネジメント委員会には、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が出席し、医療安全管理責任者が各々の懸案事項の報告を受けている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 2 名 ）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品安全管理者の指示の下、医薬品情報室が中心となり、医薬品の添付文書の情報のほか、医薬品医療機器総合機構からのメール受信（医薬品医療機器情報配信サービス）、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等からの情報を広く収集し、管理している。また、定期的に「薬剤部からのお知らせ」等を発行・配布するとともに、院内ホームページに掲載し周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認医薬品の使用状況を把握する部門は、つくば臨床医学研究開発機構（T-CReD0）のサイト管理ユニットであり、そのユニットには医薬品安全管理責任者が所属している。また、未承認医薬品に関する審議は、「筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会」で行われる。</p> <p>・担当者の指名の有無（有・無）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・規程の主な内容： （医療事故防止マニュアル 4「インフォームドコンセント（IC）についての基本事項」）</p> <ul style="list-style-type: none">・対象となる医療行為・説明を行う人（関係する看護師、薬剤師、管理栄養士等が説明に加わることを強く推奨する）・説明の相手方・説明の項目・疑義・記録	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無

<ul style="list-style-type: none"> ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテの運用管理規定の策定及び電子化された診療データの管理 ・過去の紙の診療録等の貸出・閲覧の管理及び診療録管理委員会の運営 ・診療録等の開示請求対応（紙及び電子データ） 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従（3）名、専任（1）名、兼任（2）名 <ul style="list-style-type: none"> うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 ・医療事故発生に伴う調査、分析、指導 ・医事紛争支援 ・医療サービスの向上のための企画及び教育 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>当院ではジェネラル・リスク・マネージャー（GRM）として、次の要件を満たしている。</p> <p>(ア) 医師、歯科医師、薬剤師又は看護師の内野いずれかの資格を有している。</p> <p>(イ) 医療安全に関する必要な知識を有している。</p> <p>(ウ) 本院の医療安全部門（臨床医療管理部）に所属している。</p> <p>(エ) 本院の医療安全管理委員会（リスクマネジメント委員会）の構成員に含まれている。</p> <p>(オ) 医療安全対策推進に関する業務に専ら従事している。</p> <p>(カ) 医療施設において6年を超える臨床経験を有している。</p> <p>(キ) 必要な研修、教育及び安全管理業務や医療の質改善業務の実地経験を有している。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（(有)・無） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（(有)・無） <ul style="list-style-type: none"> ・規程の主な内容：① 審査が必要な高難度新規手術の定義 ② 高難度新規手術の申請書式及び申請手順等 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（(有)・無） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（(有)・無） 	
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：未承認薬の臨床使用の申請・審査等（平成29年3月末までに改正予定）
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況

有・無

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・監査委員会の開催状況：年 回
- ・活動の主な内容：
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
- ・委員名簿の公表の有無（有・無）
- ・委員の選定理由の公表の有無（有・無）
- ・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 343 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 497 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
臨床医療管理部及び Morbidity and Mortality 委員会にて検証した事例の報告を受け、審議する。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ） 無
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ） 無
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
患者さんやその家族の方からの疾病に関する医学的な質問、生活上及び入院上の不安など、様々な相談に対応する窓口（患者相談受付）を、以下のとおり設置している。
相談内容としては、医療福祉、在宅移行・転院調整・退院支援、がん、看護、栄養、こころ、苦情、診療費、薬剤、カルテ開示、リハビリ等で医療の質と安全に関する相談窓口を兼ねている。相談に当たり、院内の各部門と密接に連携の上、実施している。

相談日： 月曜日～金曜日（休日は除く）

受付時間： 8時30分～17時00分

設置場所： けやき棟1階11番窓口（入退院センターの隣）

担当者： 医療メディエーター 3名

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 無 ）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（ 有 無 ）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 無 ）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

平成 28 年 11 月 11 日に実施予定

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

1. 管理者向けの研修は、国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に参加予定。
2. 医療安全管理責任者は、国立大学附属病院医療安全管理協議会に参加予定。
(H28. 11. 17・18 開催)
3. 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理責任者等講習会(主催: 一般社団法人 日本病院薬剤師会)を受講済み。(H27. 6. 26、H28. 7. 15)
4. 医療機器安全管理責任者は、医療機器安全管理責任者研修会(主催: 公益社団法人日本臨床工学技士会)に参加予定。(H28. 12. 3 開催)

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
評価機関：公益財団法人日本医療機能評価機構 項目：一般病院 2 及び副機能（精神科病院） 受審日：平成25年8月25日及び26日 認定日：平成26年1月6日 認定期間：平成23年9月25日～平成28年9月24日 ※現在、平成28年8月29日及び30日で更新審査を受審し、評価結果を待っている。 項目：IS09001 2008 評価機関：株式会社BSIグループジャパン 発効日：平成28年3月9日 有効期限日：平成30年9月14日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 広く社会に向けて、病院ホームページ、附属病院概要、病院広報誌にて、本院の診療指標、各診療科の取組みをweb等にて情報発信しています。 また、本院では市民公開講座等を通して陽子線治療やがん治療等の情報を定期的に発信するなど高度医療の啓発活動に努めています。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 院内コンサルテーションマニュアルにより他科の専門医に診察の依頼ができる体制が整っており、複数の診療科が連携して高度な医療を提供できる。	

厚生労働大臣 殿

開設者名 筑波大学長 永田 恭介 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

平成 28 年 9 月 30 日までに、「筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程」を改正し、医療安全管理責任者（副病院長または同等の者）の位置づけを明確にするるとともに、関連する「筑波大学附属病院における医療事故防止のための基本方針」も見直す。
また、医療安全管理責任者（病院長補佐）の発令については、平成 28 年 10 月 1 日付けとする。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

現在、医薬品安全管理責任者は、医薬品安全使用のための業務手順書（禁忌薬の取扱いを含む）の作成とそれに基づく業務の実施を監視している。今後、業務手順書に未承認及び適応外使用の医薬品に関する取扱いを追加する。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

平成 28 年 10 月 1 日付けで、医療を受ける者に対する説明に関する責任者（副病院長または同等の者）を附属病院長が指名する。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

平成 28 年 9 月 30 日までに、「筑波大学附属病院における医療を受ける者に対する説明に関する細則（仮称）」を制定する。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

これまでも医療情報経営戦略部にて診療録の管理をおこなってきているが、平成 28 年 9 月 30 日までに、改めて管理責任者として、医療情報経営戦略部長を配置するために「筑波大学附属病院診療録等管理要項」を改正する。

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

平成28年6月21日付けで、本院の全死亡退院患者の医療内容を調査する Morbidity and Mortality 委員会（平成15年発足）内規に、「委員会は、審議結果を医療安全管理責任者に速やかに報告する」ように、一部改正を実施している（対応済み）。

また、本院は、平成12年9月1日付けで、インシデント・オカレンス報告制度を整備し、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生した際、職員は、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、速やかに医療安全管理部門へ報告するよう義務付けている（対応済み）。

その内、重大な事象については医療安全管理責任者から病院長に速やかに連絡を行うこととしている。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

平成18年4月1日付けで、設置された全学コンプライアンス通報窓口において、医療安全管理の疑義についても対応する（対応済み）。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

医療安全管理部門（臨床医療管理部）において、インシデント・オカレンス報告システムにより、医療に係る安全の確保に資する診療の状況を把握するとともに、毎月、各部門のリスクが高い業務、当月の状況、安全対策上の成果、安全対策の実施状況等を臨床医療管理部へ安全管理確保状況報告書として、報告している。

また、診療の安全に関する研修実施時に、医療従業者に対してアンケートを行い、医療安全に関する意識向上の状況確認をしている（対応済み）。

予定措置の一例としては平成29年3月31日までに、静脈血栓塞栓症対策に係るマニュアルを作成し、実施率のモニタリングを行う。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成29年3月31日までに、「(仮)高難度医療技術評価室」を設置する。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

平成29年3月31日までに、現行の「高難度新規手術検討委員会内規」(平成27年発足)を「(仮)高難度医療技術評価委員会内規」に変更し、規程の整備を行なう。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成 24 年 7 月 23 日付けで、本院の治験審査委員会（以下：IRB 委員会）で、未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等の審議を開始した。平成 28 年 2 月 8 日付けで使用の適否等の審議を IRB から、本院の臨床研究倫理審査委員会へ移管し、実施している。使用の適否を担当する部署は、本院の臨床研究推進・支援センターであったが、平成 27 年 6 月 1 日付けの組織改編により、つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）サイト管理ユニットが担当している。（対応済み）。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

平成 29 年 3 月 31 日までに、「筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会細則」の改正及び「未承認新規医薬品等の使用における手順書（仮称）」を作成する。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

平成 29 年 3 月 31 日までに、「医療安全に係る監査委員会規程（仮称）」を制定し、監査委員会委員を指名する。外部委員については既に 3 名の内諾を得ている。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から行う予定である。

15. 職員研修を実施するための予定措置

平成 29 年 3 月 31 日までに、診療の安全に関する研修において、医療法施行法規則改正に伴う特定機能病院の新承認要件に関する事項を追加し、新要件の周知徹底を図る。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

管理職員研修については下記のとおり実施する。

1. 管理者向けの研修は、国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に参加予定。
2. 医療安全管理責任者は、国立大学附属病院医療安全管理協議会に参加予定。
(H28.11.17・18 開催)
3. 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理責任者等講習会（主催：一般社団法人 日本病院薬剤師会）を受講済み。(H27.6.26、H28.7.15)
4. 医療機器安全管理責任者は、医療機器安全管理責任者研修会（主催：公益社団法人日本臨床工学技士会）に参加予定。(H28.12.3 開催)

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（3）名、専任（1）名、兼任（2）名
 - うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名
 - うち薬剤師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（ ）名
 - うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

平成 29 年度中に、専従の薬剤師配置を行い、それまでの間は、現在も従事している専任（5割以上従事）の薬剤師 1 名にて対応する。